

奄美群島国立公園

公園計画書

令和2年2月26日

環境省

目 次

1 基本方針	1
2 規制計画	10
(1) 保護規制計画及び関連事項	10
ア 特別地域	10
(ア) 特別保護地区	15
(イ) 第1種特別地域	22
(ウ) 第2種特別地域	39
(エ) 第3種特別地域	58
イ 海域公園地区	65
ウ 関連事項	69
(ア) 捕獲等規制動植物及び区域	69
(イ) 普通地域	96
エ 面積内訳	99
3 事業計画	103
(1) 施設計画	103
ア 保護施設計画	103
イ 利用施設計画	105
(ア) 集団施設地区	105
(イ) 単独施設	108
(ウ) 道路	115
a 車道	115
b 歩道	117
4 参考事項	119
(1) 過去の経緯	119

1 基本方針

(1) 保護に関する基本方針

奄美群島国立公園は、特徴の異なる8つの島々で構成されており、固有又は希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林、リアス海岸、砂浜、干潟、海食崖などの多様で自然性の高い海岸や世界的北限に位置するサンゴ礁の海のほか、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形、人と自然のかかわりを感じさせる文化景観など多様性に富んだ景観を有している。このため、公園全体では、「個々の景観要素の維持回復を図ることにより自然環境と景観の多様性及びそこで体験できる自然体験の質（自然体験を通じて得られる利用者の満足感や達成感）を維持向上する」ことを目標とし、それぞれの景観要素については次のとおり保護を図ることとする。

(ア) 亜熱帯照葉樹林

スダジイ等を主とする奄美大島及び徳之島の亜熱帯照葉樹林は、アマミノクロウサギをはじめとする多くの固有又は希少な動植物等で構成される生態系が存在し、これらの生息地・生育地として国際的にもその保護の重要性が高い。

しかしながら、奄美大島及び徳之島では固有又は希少な動植物の捕獲採取や交通事故による減少、外来生物による悪影響が危惧されている。また、奄美大島では主としてパルプ・チップ用材確保のための林業が行われており、生態系保全と森林施業の両立が課題となっている。

このため、当該地域では、亜熱帯照葉樹林の生態系を積極的に管理し「生態系の健全性が維持されて、固有又は希少動植物の絶滅のリスクが低下し生息・生育状況が安定的で、生態系や生物多様性の豊かさが感じられる状態」とすることを目標として次の方針により保護を図ることとする。

a 固有又は希少な動植物の保護

- ・捕獲採取や交通事故といった人為的な要因による固有又は希少な動植物の減少を防止する。
- ・外来生物による固有又は希少な動植物への悪影響を排除・抑制する。
- ・固有又は希少な動植物の生息・生育に著しい支障を及ぼさぬよう生息地・生育地を保全する。

b 森林の保護管理

- ・固有又は希少な動植物の生息・生育する高齢林及び高齢林分を含む森林を厳正に保護する。
- ・森林施業における生態系保全への配慮を徹底する。
- ・過去に伐採された照葉樹二次林や林種転換された林分の高齢照葉樹林への誘導、転換を図る。

c 河川の保護管理

- ・リュウキュウアユをはじめとする水生生物の移動や繁殖活動に配慮して保護管理を行う。
- ・森林と河川を生息地とする両生類の生息に配慮して保護管理を行う。
- ・渓流植物や高い空中湿度を必要とする着生植物の生育や汽水域のマングローブの保護に配慮して保護管理を行う。

d 人の入込みのコントロール

- ・固有又は希少な動植物が多く生息・生育している等の生物多様性保全上特に重要な場所や、利用過剰や利用の集中により自然環境や自然体験の質に悪影響を及ぼしている、又は及ぼすおそれの

ある場所については、必要に応じて人の入込のコントロールを検討する。

e 科学的・順応的な保護管理

- ・森林や固有又は希少な動植物等に関するデータ収集に努め、森林生態系の科学的な保護管理を行う。
- ・森林生態系の保全や希少動植物の種の保存のためのモニタリングを行い、得られた情報に基づいて順応的に保護管理を行う。

(イ) 海岸及び海域

奄美群島の海岸は、砂浜、干潟、海食崖、リアス海岸等多様な自然景観を有しているほか、海鳥やウミガメの繁殖地としても重要な場所となっている。

また、海域においては世界的な北限となるサンゴ礁が見られ、魚類等の生息地となっており、いざり漁り（冬の大潮の夜にリーフ内で行う小魚やタコ等を捕る風習のこと）や浜下れ（一年で最も潮が引く旧暦3月3日に浜に出かけて貝拾い等を楽しむ風習のこと）などが行われ、島民の生活と密接なかわりを保っている。

当該地域では、開発行為による海岸景観の改変、オニヒトデ被害や白化現象によるサンゴの衰退等の懸念事項が存在している。このため、「自然性がよく維持された海岸景観を鑑賞でき、海域では水の透明度が高く様々な生物に彩られた水中景観を楽しむとともに、くらしの中での資源利用を持続的に行うことができる状態」とすることを目標として、次の方針により保護を図ることとする。

a 海岸部における特徴的な地形と自然植生の保護

- ・海食崖やリアス海岸をはじめ、海岸部の地形等の改変を抑制・防止して景観維持を図る。
- ・多様な生物の生息地、渡来地となっている干潟の改変・減少を抑制・防止する。
- ・海岸から後背地に至る自然植生の連続性の維持に配慮して保護管理を行う。
- ・フイリマングース、ノイヌ、ノネコ等の外来生物による自然植生や固有又は希少な植物への悪影響を排除・抑制する。

b 固有又は希少な動植物の保護

- ・ウミガメや海鳥の産卵や繁殖に配慮して保護管理を行う。
- ・採取（人為的要因）による固有又は希少な植物や景観を特徴づける植物の減少を防止する。

c 海域環境の保護と再生

- ・赤土流出や海岸部の破壊等、陸域起因による海域環境への悪影響防止に配慮して保護管理を行う。
- ・魚類等海生生物の生息地としての役割も担うサンゴの保護・再生を図る。
- ・海域景観を構成する動植物や海域環境の浄化の役割を担う生物で商業採取による乱獲のおそれのあるものの保護を図る。

(ウ) その他

本公園には、上記のほか隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形などの自然景観や人と自然のかかわりを示す文化景観や集落景観が含まれる。

自然景観については、その自然的特徴と公園利用の形態に配慮した保護管理を行い、文化景観、集落景観については、人と自然とのかかわりを示す景観の維持や住民生活に配慮して適正な保護を図ることとする。

なお、奄美群島の国際的にも貴重な自然の価値、固有又は希少な動植物の保護、外来生物による悪影響等について、住民や公園利用者を対象として普及啓発を行うこととする。

(2) 保護規制計画の方針

本公園は、島ごとに景観の特性が異なり多様な自然景観を有することが特徴となっているため、公園の保護についても島ごとの景観特性に合わせて行っていく必要がある。このため、以下のとおり島ごとに保護規制計画の方針を定める。

(ア) 奄美大島

本区域は、アマミノクロウサギをはじめとする固有で希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林、マングローブ、リアス海岸や笠利湾の海岸景観、鳥類や海生生物が見られる干潟、サンゴ礁及び海浜といった多様な景観が見られる。

i) 奄美大島中南部及び北部に見られる固有で希少な野生動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林は、それらの生息地・生育地保全を行う。奄美大島の風致景観維持や生物多様性保全上最も重要な中南部山地については、特に重要な地域は厳正な保護を図る。

亜熱帯照葉樹林の多くは過去に伐採された二次林であり、また局所的にスギ等の植林がなされている。これらについては、必要に応じて原生的な亜熱帯照葉樹林への再生を図るほか、森林施業に際しては、伐期、伐区、伐採方法の設定や保存林の確保等により生態系保全や固有又は希少な動植物の生息・生育環境保全への配慮を行う。

ii) 国内2番目の面積を誇り、優占種が沖縄と異なる住用マングローブについては、その特異な景観と海生生物等の生息地・生育地を厳正に保護する。

iii) 奄美大島本島と加計呂麻島にまたがる大島海峡のリアス海岸については、視点場及び道路沿線からの風致維持を図るとともに、サンゴの良好な生息海域である加計呂麻島地先海域の一部は海域景観の保護を図る。

また、請島、ハミヤ島及び加計呂麻島風崎については鳥類や固有動植物の保護を図る。

iv) 奄美大島北部の笠利湾については、視点場からの風致維持を図り、湾内の手花部干潟についても生物の生息地・生育地保全を図る。

iv) サンゴ礁と良好な海岸を有する笠利半島東海岸、大浜、宮古崎及びヒエン浜については、風致維持を図る。なお、サンゴの良好な生息海域である笠利半島東海岸の一部及び大浜摺子崎は海域景観の保護を図るとともに、海域景観の主要な構成要素をなす種や魚類等海生生物の生息地としての役割を持つ種の保護を図る。

(イ) 喜界島

本区域は、島の成り立ちを示す段丘地形と島に暮らす人々の土地利用が作り出した景観が特徴的である。

- i) 百之台及び周辺地域については、視点場からの景観維持及び森林の保護のため段丘斜面を厳正に保護するほか、周辺の島の成り立ちと島民生活が織りなす風景を維持する。
- ii) 島の周囲を覆う隆起裾礁の景観が顕著なトンビ崎、志戸桶海岸及び荒木海岸の地形や地被等の保全に留意して風致維持を図る。

(ウ) 徳之島

本区域は、アマミノクロウサギをはじめとする固有で希少な動植物の生息地・生育地である亜熱帯照葉樹林、ガジュマル、タブ、アマミアラカシ等で構成される低地林、海食崖等多様な海岸景観が見られる。

- i) 北部及び中南部の山地帯に見られる固有で希少な動植物の生息・生育する亜熱帯照葉樹林は、それらの生息地・生育地保全を行う。特に重要な地域は厳正な保護を図る。亜熱帯照葉樹林の多くは過去に伐採された二次林であり、また局所的にスギ等の植林がなされている。これらについては、必要に応じて原生的な亜熱帯照葉樹林への再生を図る。
- ii) 義名山のガジュマルやアマミアラカシ等で構成された低地高齡林は、南西諸島に発達する隆起サンゴ礁上の森林植生として貴重であるため、厳正に保護を図る。また、カムィヤキの森のリュウキュウマツやスタジイを主とした二次林についても良好な自然体験の場として風致維持を図る。
- iii) 花崗岩が露出する崎原海岸（ムシロ瀬）、犬の門蓋及び犬田布岬の海食崖は、徳之島の海岸の中でも特異で雄大な景観を有している。このため、厳正に保護を図る。

また、喜念浜、畦海岸及び金見崎については、海岸の地形・地被等の保全に留意して風致維持を図る。さらに、鹿浦川・阿権川については、断崖景観及び固有植物の生息地等の保全に留意し、風致の維持を図る。

(エ) 沖永良部島

本区域は、琉球石灰岩のカルスト地形や海食崖をはじめとする海岸景観が特徴である。

- i) 琉球石灰岩による海岸地形が特徴的な田皆岬及び国頭岬・フーチャ周辺の海岸は、地形的特徴や地被の保護を図る。また、必要に応じて周辺部の風致維持を図る。
- ii) 屋子母から大津勘にかけての海岸部は、海岸の地形・地被等の保全に留意して風致維持を図る。
- iii) 鍾乳洞やドリーネが見られる大山山腹部は、これらカルスト地形の保全を図る。
- iv) 島内に残された数少ない森林である大山山頂部は、森林景観の維持を図る。

(才) 与論島

本区域は、沖合約1kmに及ぶ広大な礁湖の景観が最大の特徴である。このため、当該礁湖の海域景観を隣接する海岸部と併せて海域全体の風致の維持を図るとともに、海域景観の主要な構成要素をなす種や魚類等海生生物の生息地としての役割を持つ種の保護を図る。

(3) 利用に関する基本方針

奄美群島国立公園は、固有又は希少な動植物が生息・生育する亜熱帯照葉樹林、リアス海岸、砂浜、干潟、海食崖などの多様で自然性の高い海岸や世界的北限に位置するサンゴ礁の海のほか、隆起段丘、鍾乳洞やカルスト地形、人と自然のかかわりを感じさせる文化景観など多様性に富んだ景観を有しており、島ごとに個性が異なる点が特徴となっている。また、自然資源や人と自然のかかわりを示す文化資源は国立公園内だけでなく公園外にも多く存在しており、観光地としての潜在的 possibility を秘めている。

しかしながら、観光施設等において課題も多く、その資源の掘り起こしや磨き上げにも努力の余地を残している。今後、知名度が向上し受け入れ体制整備の促進が図られれば、大幅に来訪者が増加する可能性も否定できない。

このようなことから、「多様で貴重な自然資源や人と自然のかかわりを示す文化資源という地域の特徴を活かした自然体験を通して、来訪者に満足感を与え、自然や人と自然のかかわりに関する興味を喚起する」ことを目標として、次の方針により適正な利用を推進する。

(ア) 各島の個性を活かした利用の推進

固有又は希少な動植物等が構成する自然をゆっくりと堪能できて生態系の豊かさを感じられる利用や、地域の人々の営みの歴史や暮らしを垣間見ることで人と自然のかかわりを感じられる利用など、それぞれの島の持つ個性を活かした利用を推進し、来訪者に地域ならではの自然体験を提供する。また、利用者及び一般国民に対して、積極的な情報の発信に努める。

(イ) 国立公園の外の地域との連携

それぞれの島には、国立公園の内外を問わず島の特徴を示す興味地点が存在する。来訪者の「旅」や「観光」という行為全体に対する満足感は、国立公園内の自然体験だけで完結するものではなく、国立公園外での体験も含めて総合的に感じるものだと考えられる。また、奄美群島の豊かで多様な自然と文化に触れることにより、来訪者はより高い満足感を得ることができると考えられる。このため、国立公園内で島の持つ個性を活かした質の高い自然体験の提供や来訪者の満足感の向上を目指すとともに、国立公園外の地域との連携も意識して施設整備その他の施策を推進する。

(ウ) 自然環境の保全と地域の持続的な発展の両立

国立公園の利用は、地域の観光振興という側面から地域の社会経済の発展に貢献することができる。一方、過剰な公園利用や特定の場所での利用の集中は、本公園の自然環境に負の影響を及ぼしたり、自然体験の質の低下を引き起こし、来訪者の満足感を損なう危険性を秘めている。

このため、自然環境や利用の状況に応じて誰もが気軽に利用できるエリアと環境負荷を抑制する少人数利用や質の高い利用を前提にしたエリア等をゾーニングし、エリアに応じた利用の推進、施設整備や利用ルールの設定、利用規制等を行って自然環境の保全と地域の持続的な発展の両立を図る。

(エ) 地域住民による利用と地域の風習やしきたりへの配慮

奄美群島では、住民が伝統的な風習で海辺を訪れたり、リーフや川で魚介類やエビ類を探るなどといった風景が見られ、生活の中での自然とのかかわりが今も残されている。また、夕日を眺めながら一時の憩いの時間を海辺で過ごしたり、日々の疲れを癒やすために家族で森林や海辺を訪れることもある。こうした時間や経験は、住民に生活の豊かさや郷土愛を感じさせる大きな要素となっていると考えられる。また、近年は地域環境学習の必要性やニーズの高まりも感じられる。

国立公園やその周辺部は、地域住民の生活の場でもある。また、地域には昔から守られてきたしきたりや風習が存在することもあり、来訪者がこれらを冒すことは避けなければならない。

国立公園の利用を推進するにあたっては、住民による国立公園の利用をも考慮して住民と自然とのかかわりの維持・回復に資するよう行っていくとともに、来訪者が住民の生活や地域のしきたり、風習を冒さぬよう配慮する必要がある。

<本公園の主たる利用形態>

(ア) 奄美大島

登山（湯湾岳）、海水浴（北部海岸等）、カヌー・カヤック（住用マングローブ、大島海峡）、森林内探勝（金作原）、野生動物観察（森林内道路）、景観探勝（大島海峡、笠利湾）、人文研究（秋名集落）、ドライブ（各所）、海中遊覧（大島海峡）、ダイビング（笠利湾、大島海峡等）

(イ) 喜界島

海岸探勝（荒木海岸）、景観探勝（百之台）、人文研究（阿伝集落）、ドライブ（各所）

(ウ) 徳之島

登山（天城岳）、海水浴（畦海岸等）、森林内探勝（カムィヤキの森等）、野生動物観察（森林内道路）、景観探勝（犬田布岬、犬の門蓋等）、人文研究（カムィヤキの森）、ドライブ（各所）、ダイビング（北部海岸等）

(エ) 沖永良部島

海水浴（沖泊海岸等）、景観探勝（田皆岬、フーチャ）、鍾乳洞探勝（昇竜洞）、ドライブ（各所）

(オ) 与論島

海水浴（大金久海岸等）、カヤック（皆田海岸）、ドライブ（各所）、海中遊覧（大金久海岸）

(4) 利用施設計画の方針

利用者が奄美群島の地形や生物等の自然環境の多様性・固有性や、伝統的な人と自然とのかかわりを感じることができるようにそれぞれ次のとおり適正な利用を推進することとし、それに必要な利用施設計画を配置する。

(ア) 奄美大島

- i) 奄美群島中最も利用者が多く、かつ利用資源も多岐にわたり、場合によっては大幅な利用者増加も想定される本地域では、入り込みによる環境負荷の観点も踏まえながら、自然環境情報や利用体験の提供を図る。
- ii) 利用者の拠点となる奄美空港及び名瀬市街地の周辺に位置する区域については、奄美空港及び名瀬市街を拠点とした利用ルートを設定し、最初に訪れて奄美の森に触れるとともに、自然そのものや注意事項その他の情報を入手できる施設や、奄美の海の自然や人と海とのかかわりに関する情報を入手でき、シュノーケリングや漁りなどの体験も可能な施設など必要な利用施設整備を図る。
- iii) 一般利用者の来訪が想定される北部地域と南部地域の景観探勝拠点については、視点場の整備を図る。
- iv) 必要に応じて、自然環境への影響に配慮しつつ亜熱帯照葉樹林の生態系や地域の人々の営みと自然とのかかわりを感じることができる歩道等の施設整備を行う。また、自然環境への悪影響を防止・抑制するための利用施設の整備を行う。

(イ) 喜界島

- i) 島の成り立ちを示す段丘地形と島に暮らす人々の土地利用が作り出した景観が大きな特徴である本地域においては、視点場の整備、集落と視点場を結ぶ古道の歩道としての活用、集落内探勝による人文研究利用の促進を図る。
- ii) 海岸の隆起サンゴ礁原と自然植生を堪能できる利用施設の整備を図る。

(ウ) 徳之島

- i) 海岸部に点在する利用拠点の周遊が一般的な利用だと想定される本地域では、これら利用拠点の視点場等の整備を図る。
- ii) また、必要に応じて、自然環境への影響に配慮しつつ固有な動植物等で構成される亜熱帯照葉樹林の生態系や地域の歴史を学び感じができる歩道等の施設の整備や、自然環境への悪影響を防止・抑制するための利用施設の整備を行う。

(エ) 沖永良部島

- i) 海岸部に点在する利用拠点の周遊が一般的な利用だと想定される本地域では、これら利用拠点の視点場等の整備を図る。
- ii) 本地域の最大の特徴である鍾乳洞については、一般利用者を想定したものについては、歩道等必要な施設の整備を図り、ガイドツアー等による利用を想定したものについては、必要最小限の施設整備にとどめる。

(才) 与論島

- i) 奄美群島内でも傑出した海域景観を有する本地域では、大金久海岸に利用施設を整備して多数の利用者を誘導することにより、他の海岸の利用圧を低下させ静かな海域景観を堪能できるよう配慮する。
- ii) 大金久海岸以外の海岸部では、利用施設は必要最小限にとどめて自然海岸の風致を堪能できるようにする。

2 規制計画

(1) 保護規制計画及び関連事項

ア 特別地域

次の区域を特別地域とする。

(表1：特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
鹿児島県	<p>奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202林班から 204林班まで 及び 206林班から 217林班までの全部並びに 205 林班の一部</p> <p>奄美市笠利町 大字宇宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須 野、大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用 の各一部</p> <p>奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、 大字摺勝、大字西仲間、大字東仲間、大字見里、大 字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部</p> <p>奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、 大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬、大字 西仲勝及び大字根瀬部の各一部</p>	<p>12,884</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td><td>2,441</td></tr> <tr> <td>公</td><td>5,369</td></tr> <tr> <td>私</td><td>4,302</td></tr> <tr> <td>不</td><td>772</td></tr> </table>	国	2,441	公	5,369	私	4,302	不	772
国	2,441									
公	5,369									
私	4,302									
不	772									
大島郡大和村内	国有林鹿児島森林管理署 230林班の全部	5,128								
大島郡大和村	<p>大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字 国直、大字志戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名 音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>22</td></tr> <tr> <td>公</td><td>1,506</td></tr> <tr> <td>私</td><td>3,298</td></tr> <tr> <td>不</td><td>302</td></tr> </table>	国	22	公	1,506	私	3,298	不	302
国	22									
公	1,506									
私	3,298									
不	302									
大島郡宇検村内	<p>国有林鹿児島森林管理署 226林班、227林班及び 230 林班の全部並びに 228林班及び 229林班の各一部</p> <p>大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部</p>	<p>4,158</p> <table border="1"> <tr> <td>国</td><td>678</td></tr> <tr> <td>公</td><td>1,748</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1,598</td></tr> <tr> <td>不</td><td>134</td></tr> </table>	国	678	公	1,748	私	1,598	不	134
国	678									
公	1,748									
私	1,598									
不	134									

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	<p>大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 218 林班から 224 林班までの全部</p> <p>大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>9,086</td></tr> <tr> <td>公</td><td>1,610</td></tr> <tr> <td>私</td><td>730</td></tr> <tr> <td>不</td><td>6,061</td></tr> <tr> <td></td><td>685</td></tr> </table>	国	9,086	公	1,610	私	730	不	6,061		685
国	9,086											
公	1,610											
私	730											
不	6,061											
	685											
	<p>大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>2,461</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1,043</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1,296</td></tr> <tr> <td></td><td>122</td></tr> </table>	国	2,461	公	0	私	1,043	不	1,296		122
国	2,461											
公	0											
私	1,043											
不	1,296											
	122											
	奄美大島小計	<table> <tr> <td>国</td><td>33,717</td></tr> <tr> <td>公</td><td>4,751</td></tr> <tr> <td>私</td><td>10,396</td></tr> <tr> <td>不</td><td>16,555</td></tr> <tr> <td></td><td>2,015</td></tr> </table>	国	33,717	公	4,751	私	10,396	不	16,555		2,015
国	33,717											
公	4,751											
私	10,396											
不	16,555											
	2,015											
	<p>大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字小野津、大字嘉鈍、大字花良治、大字佐手久、大字志戸桶及び大字中里の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>352</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不</td><td>203</td></tr> <tr> <td></td><td>148</td></tr> </table>	国	352	公	0	私	1	不	203		148
国	352											
公	0											
私	1											
不	203											
	148											

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	喜界島小計	352
鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班まで、240 林班から 242 林班まで及び 255 林班から 260 林班までの全部並びに 239 林班及び 254 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字金見、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部	国 0
		公 1
		私 203
		不 148
鹿児島県	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班、241 林班及び 243 林班から 248 林班までの全部並びに 235 林班、236 林班、238 林班及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字大津川、大字兼久、大字瀬滝、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	3,164
		国 1,427
		公 223
		私 1,301
鹿児島県	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字犬田布、大字喜念、大字木之香、大字小島、大字崎原、大字佐弁及び大字八重竿の各一部	2,259
		国 1,559
		公 55
		私 491
鹿児島県	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字犬田布、大字喜念、大字木之香、大字小島、大字崎原、大字佐弁及び大字八重竿の各一部	381
		国 188
		公 16
		私 55
		不 122

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	徳之島小計	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>5,804</td></tr> <tr><td>公</td><td>3,174</td></tr> <tr><td>私</td><td>294</td></tr> <tr><td>不</td><td>1,847</td></tr> <tr><td></td><td>489</td></tr> </table>	国	5,804	公	3,174	私	294	不	1,847		489
国	5,804											
公	3,174											
私	294											
不	1,847											
	489											
大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>52</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>9</td></tr> <tr><td>不</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>42</td></tr> </table>	国	52	公	0	私	9	不	1		42	
国	52											
公	0											
私	9											
不	1											
	42											
大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、大字下平川、大字新城、大字住吉、大字瀬利覚、大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>580</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>175</td></tr> <tr><td>不</td><td>116</td></tr> <tr><td></td><td>289</td></tr> </table>	国	580	公	0	私	175	不	116		289	
国	580											
公	0											
私	175											
不	116											
	289											
沖永良部島小計	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>632</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>184</td></tr> <tr><td>不</td><td>117</td></tr> <tr><td></td><td>331</td></tr> </table>	国	632	公	0	私	184	不	117		331	
国	632											
公	0											
私	184											
不	117											
	331											
大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>121</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>19</td></tr> <tr><td>不</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>90</td></tr> </table>	国	121	公	0	私	19	不	12		90	
国	121											
公	0											
私	19											
不	12											
	90											
与論島小計	<table border="1"> <tr><td>国</td><td>121</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>19</td></tr> <tr><td>不</td><td>12</td></tr> <tr><td></td><td>90</td></tr> </table>	国	121	公	0	私	19	不	12		90	
国	121											
公	0											
私	19											
不	12											
	90											
これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁の各一部を含む。												

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	合 計	40,626
	国	7,925
	公	10,894
	私	18,734
	不	3,073

(ア) 特別保護地区

次の区域を特別保護地区とする。

(表2 : 特別保護地区総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
鹿児島県	奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班、203 林班及び 213 林班の各一部 奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字川内、大字城、大字摺勝、 大字役勝及び大字山間の各一部 奄美市名瀬 大字知名瀬の一部	2,453 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>480</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>946</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>958</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>69</td> </tr> </table>	国	480	公	946	私	958	不	69
国	480									
公	946									
私	958									
不	69									
	大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡大和村 大字思勝及び大字名音の各一部	407 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>306</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>9</td> </tr> </table>	国	22	公	306	私	70	不	9
国	22									
公	306									
私	70									
不	9									
	大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全部 大島郡宇検村 大字湯湾の一部	153 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>4</td> </tr> </table>	国	146	公	0	私	3	不	4
国	146									
公	0									
私	3									
不	4									
	大島郡瀬戸内町 大字阿木名及び大字嘉徳の各一部	793 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>551</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>93</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>0</td> </tr> </table>	国	551	公	149	私	93	不	0
国	551									
公	149									
私	93									
不	0									
	奄美大島小計	3,806 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>1,199</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>1,401</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>1,124</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>82</td> </tr> </table>	国	1,199	公	1,401	私	1,124	不	82
国	1,199									
公	1,401									
私	1,124									
不	82									

都道府県名	区 域	面積 (ha)
鹿児島県	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 240 林班及び 260 林班の全部並びに 231 林班から 233 林班まで、242 林班及び 257 林班から 259 林班までの各一部 大島郡徳之島町 大字山の一部	781 国 712 公 0 私 62 不 7
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 243 林班の全部並びに 234 林班、235 林班及び 244 林班から 246 林班までの各一部	661 国 661 公 0 私 0 不 0
	徳之島小計	1,442 国 1,373 公 0 私 62 不 7
	合 計	5,248 国 2,572 公 1,401 私 1,186 不 89

(表3：特別保護地区内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)						
大川、川内川 及び金久田 川上流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班及び 203 林班の各一部 鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字摺勝の各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字知名懶の一部	大川、川内川及び金久田川上流部でスダジイ等を主とする 80 年生以上の高齢照葉樹林を中心とする原生的地区で奄美国有の動植物の生息地・生育地となつてゐる。また、一部地域は利用者が訪れる利用拠点の一つとなつてゐる。 固有で希少な動植物の重要な生息地・生育地であり、高齢照葉樹林を厳正に保護するとともに、若齡林については、高齢照葉樹林への誘導を図る。また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽減のための措置を図る。	<table border="1"> <tr> <td>656</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>258</td> <td>263</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>不</td> </tr> </table>	656	125	258	263	10	不
656	125								
258	263								
10	不								
住用川及び 川内川中流 部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 213 林班の一 部 鹿児島県奄美市住用町 大字神屋及び大字川内の各一部 鹿児島郡大島郡大和村 大字思勝の一部	住用川中流部から川内川中流部にまたがる地区で、スダジイ等を主とする 80 年生以上の高齢照葉樹林がまとまって存在し山岳溪流と併せて原生的な森林景観を有する。 アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミミトゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエルやアマミシカワガエルなど固有動物、溪流植物や着生植物などが多く見られる奄美大島中南部地域の核心をなす地区であり、厳正に保護する。	<table border="1"> <tr> <td>1,219</td> <td>1,55</td> </tr> <tr> <td>967</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>不</td> </tr> </table>	1,219	1,55	967	96	1	不
1,219	1,55								
967	96								
1	不								

名称	区域	城	地区の概要	面積 (ha)
湯湾岳	鹿児島県大島郡大和村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班の全 部 鹿児島県大島郡大和村 大字名音の一部 鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 230 林班的全 部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	100 年生以上の高齢照葉樹林と山頂付近の風衝低木林を主と する地区で、奄美大島の中でも植物や昆虫などで固有種が多く、 住用川及び川内川中流部にまたがる地区と並ぶ中南部地域の核 心地区である。また、登山者等も訪れる場所となつていて。固 有で希少な動植物の保護と公園利用との間の軋轢を回避・抑制 するよう、厳正に保護を図る。	274 国 168 公 22 私 71 不 13	
役勝川中流 部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部	役勝川下流から中流にかけて両岸にまたがって存在する 50～ 80 年生程度の比較的高齢な照葉樹林を中心とする地区である。 国道 58 号の沿線景観を形成するとともにオオトラッグミ等固 有動物の生息が確認されている。 また、中部地域と南部地域の中間に位置するため、野生生物 のコリドーとしての役割も期待される。 道路からの景観維持及び野生動物の生息地保全に留意して保 護を図る。	588 国 0 公 0 私 586 不 2	

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
住用マング ロープ	鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字役勝及び大字山間の各一部	住用川及び役勝川の河口に位置するメヒルギを主とするマングローブ群落が発達する地区で、当該公園のなかでも特異な景観を有し、カヌー等の体験利用の場にもなっている。 汽水性ハゼ亞目魚類が豊富で極めて高い魚類相となっているうえ、リュウキュウアエ仔稚魚の生息環境としても重要であり、特異な景観と水生生物の生息地の厳正な保護を図る。	77 [0 5 16 56]
鳥ヶ峰、肥後 山一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字嘉徳の一部	役勝川右岸から肥後山、鳥ヶ峰及び金川岳一帯に跨る地域で、60～80年生以上の比較的高齢な照葉樹林を主とする地区である。 アマミノクロウサギ、オオトラツグミやオオツトンガエル等固有動物の生息も確認されているうえ中部地域では見られない植物も見られるなど、奄美大島の固有性を保護するうえで重要性が高く厳正に保護を図る。 なお、若齡林については、高輪照葉樹林への誘導を図る。	760 [751 0 9 0]
油井岳北部	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿木名の一部	60～80年生以上の比較的高齢の照葉樹林を主とする地区で、当該地周辺では数少ないまとまりのある高齢林である。 アマミノクロウサギや、オオトラツグミ、オットンガエル等の固有動物の生息地であり、厳正に保護を図る。	232 [0 149 83 0]

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
天城岳及び 三方通岳	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班までの各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字山の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班及び 235 林班の各一部	100 年生以上の高齢照葉樹林を多く含み、徳之島北部の森林地域の保全上核心となる地区で、まとまった面積のオキナワウラジロガシ群落も見られるほかアマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミ等固有動植物の生息地・生育地であり、厳正に保護を図る。	582 [国 513 公 0 私 62 不 7]
井之川岳、丹 巣山	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 240 林班及び 260 林班の全部並びに 242 林班及び 257 林班から 259 林班までの各一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 243 林班の 全部並びに 244 林班から 246 林班まで の各一部	100 年生以上の高齢照葉樹林を多く含む地区で、井之川岳山頂部を含む緩傾斜の風衝低木林と丹発山山麓部のオキナワウラジロガシ群落が特徴的である。 アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミ等固有動植物の生息地・生育地であり、徳之島森林地域の核心部として厳正に保護するとともに、若齡林や人工林については、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。	860 [国 860 公 0 私 0 不 0]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
			5,248
		国	2,572
		公	1,401
		私	1,186
		不	89
	合 計		

(イ) 第1種特別地域

次の区域を第1種特別地域とする。

(表4：第1種特別地域総括表)

都道府県 名	区 域	面積 (ha)					
鹿児島県	<p>奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 206 林班から 212 林班まで、216 林班及び 217 林班の全部並びに 202 林班から 205 林班まで及び 213 林班の各一部</p> <p>奄美市住用町 大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大字役勝、大字山間及び大字和瀬の各一部</p> <p>奄美市名瀬 大字朝戸、大字金久町、大字小宿及び大字知名瀬の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>3,562</td> </tr> <tr> <td>国 1,610</td> </tr> <tr> <td>公 1,827</td> </tr> <tr> <td>私 65</td> </tr> <tr> <td>不 60</td> </tr> </table>	3,562	国 1,610	公 1,827	私 65	不 60
3,562							
国 1,610							
公 1,827							
私 65							
不 60							
		965					
	<p>大島郡大和村 大字大棚、大字津名久、大字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国 0</td> </tr> <tr> <td>公 110</td> </tr> <tr> <td>私 836</td> </tr> <tr> <td>不 19</td> </tr> </table>	0	国 0	公 110	私 836	不 19
0							
国 0							
公 110							
私 836							
不 19							
		1,940					
	<p>大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 229 林班の一部</p> <p>大島郡宇検村 大字湯湾の一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>111</td> </tr> <tr> <td>国 111</td> </tr> <tr> <td>公 1,009</td> </tr> <tr> <td>私 751</td> </tr> <tr> <td>不 69</td> </tr> </table>	111	国 111	公 1,009	私 751	不 69
111							
国 111							
公 1,009							
私 751							
不 69							
		1,610					
	<p>大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 218 林班から 224 林班までの全部</p> <p>大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字網野子、大字勝浦、大字嘉徳及び大字篠川の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>1,059</td> </tr> <tr> <td>国 1,059</td> </tr> <tr> <td>公 66</td> </tr> <tr> <td>私 470</td> </tr> <tr> <td>不 15</td> </tr> </table>	1,059	国 1,059	公 66	私 470	不 15
1,059							
国 1,059							
公 66							
私 470							
不 15							

都道府県 名	区 域	面積 (ha)
	大島郡龍郷町 大字円及び大字龍郷の各一部	39 国 0 公 32 私 5 不 2
	奄美大島小計	8,116 国 2,780 公 3,044 私 2,127 不 165
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字荒木、大字浦原、大字小野津、大字 嘉鈍、大字花良治、大字志戸桶及び大字中里の各一部	260 国 0 公 1 私 151 不 108
	喜界島小計	260 国 0 公 1 私 151 不 108
	大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 232 林班、242 林班及び 254 林班から 257 林班までの各一部 大島郡徳之島町 大字亀津、大字白井及び大字手々の各一部	296 国 271 公 10 私 3 不 12

都道府県 名	区 域	面積 (ha)								
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 247 林班及び 248 林班の全部並びに 234 林班、236 林班、244 林班から 246 林班まで及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字兼久、大字松原及び大字与名間の各一部	609 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>529</td></tr> <tr> <td>公</td><td>13</td></tr> <tr> <td>私</td><td>44</td></tr> <tr> <td>不</td><td>23</td></tr> </table>	国	529	公	13	私	44	不	23
国	529									
公	13									
私	44									
不	23									
	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字伊仙、大字犬田布、大字小島及び大字崎原の各一部	229 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>149</td></tr> <tr> <td>公</td><td>12</td></tr> <tr> <td>私</td><td>11</td></tr> <tr> <td>不</td><td>57</td></tr> </table>	国	149	公	12	私	11	不	57
国	149									
公	12									
私	11									
不	57									
	徳之島小計 大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	1,134 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>949</td></tr> <tr> <td>公</td><td>35</td></tr> <tr> <td>私</td><td>58</td></tr> <tr> <td>不</td><td>92</td></tr> </table>	国	949	公	35	私	58	不	92
国	949									
公	35									
私	58									
不	92									
	大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	52 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>9</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不</td><td>42</td></tr> </table>	国	0	公	9	私	1	不	42
国	0									
公	9									
私	1									
不	42									
		23 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>23</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	0	不	23
国	0									
公	0									
私	0									
不	23									

都道府県 名	区 域	面積 (ha)										
	沖永良部島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>75</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>9</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1</td></tr> <tr> <td></td><td>65</td></tr> </table>	国	75	公	0	私	9	不	1		65
国	75											
公	0											
私	9											
不	1											
	65											
	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>30</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1</td></tr> <tr> <td></td><td>29</td></tr> </table>	国	30	公	0	私	0	不	1		29
国	30											
公	0											
私	0											
不	1											
	29											
	与論島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>30</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1</td></tr> <tr> <td></td><td>29</td></tr> </table>	国	30	公	0	私	0	不	1		29
国	30											
公	0											
私	0											
不	1											
	29											
これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁の各一部を含む。												
	合 計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>9,615</td></tr> <tr> <td>公</td><td>3,729</td></tr> <tr> <td>私</td><td>3,089</td></tr> <tr> <td>不</td><td>2,338</td></tr> <tr> <td></td><td>459</td></tr> </table>	国	9,615	公	3,729	私	3,089	不	2,338		459
国	9,615											
公	3,729											
私	3,089											
不	2,338											
	459											

(表5：第1種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)										
長雲峠	鹿児島県大島郡龍郷町 大字円及び大字龍郷の各一部	奄美自然観察の森を中心とした地区で、奄美大島北部におけるアマミノクロウサギやルリカケス、アマミシカワガエル等の重要な生息地となっている。また、自然観察や風景探勝の利用拠点なっている。 固有動植物の生息地・生育地であり、良好な自然体験の場として風致を維持する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> </tr> </table>	国	39	公	0	私	32	不	5		2
国	39												
公	0												
私	32												
不	5												
	2												
金作原	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 202 林班から 204 林班までの各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字金久町、大字小宿及び大字知名瀬の各一部	60~80 年生以上の比較的高齢の照葉樹林を主とする地区で、特に河川沿いは隣接する大川、川内川及び金久田川上流部特別保護地区とあいまって良好な風致を有する。また、一部地域は利用者が訪れる利用拠点の一つとなっている。 高齢照葉樹林の風致の維持を図るとともに、若齡林及び人工林は高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽減のための措置を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>530</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>314</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> </tr> </table>	国	530	公	210	私	314	不	0		6
国	530												
公	210												
私	314												
不	0												
	6												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
川内川上流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 208 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町 大字川内の一部 鹿児島県大島郡大和村 大字津名久及び大字湯湾釜の各一部	リュウキュウマツの混じる照葉樹二次林で、局地的に高齢林が残されている。アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息も確認されており、住用川及び川内川にまたがる核心地域と大川、川内川及び金久田川上流部をつなぐヨリドーとして重要であり、風致の維持を図る。	376 — 70 231 73 2
川内川流域	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 206 林班及び 207 林班の全部	川内川流域に位置し、大川、川内川及び金久田川上流部並びに住用川及び川内川中流部特別保護地区に隣接する地区で、高齢照葉樹林が広がり、一部にスダジイをはじめとした照葉樹の二次林に、スギ林が混じる林分が含まれる。アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息が確認されるなど、周辺の特別保護地区と併せて一一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地であり、十分な風致の維持を図る。	203 — 203 0 0 0

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
住用川中流部	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 210 林班から 212 林班までの全部 鹿児島県大島郡大和村 大字大棚、大字名音及び大字大浜 の各一部	住用川の中流部で、スダジイ等を主とする高齢照葉樹林 がまとまって存在し、隣接する住用川及び川内川中流部特別保護地区とともに奄美大島中南部地域の核心をなす地区である。 アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエルやアマミイシカラガエルなど固有動物、溪流植物や着生植物などが多く見られ、公園利用の方も含め十分な風致の維持を図るとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。	1,307 486 42 762 17
湯湾岳山麓	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 213 林班の一部 鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 229 林班の一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	湯湾岳山麓からヤクガチャヨボンシ岳に至る尾根を含む河川上流部の一帯で、50 年生未満と 50~80 年生の照葉樹林を主体とする。アマミノクロウサギやアマミトゲネズミ、オオトラツグミ等の固有動物が生息し、隣接する湯湾岳並びに住用川及び川内川中流部特別保護地区とともに奄美大島中南部地域の核心をなす地区を形成している。また、住用川中流部と湯湾岳、役勝川中流部の核心地域をつなぐヨリドーとなつており非常に重要性が高く、公園利用の方も含めて十分な風致の維持を図るとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。	2,107 136 1,143 755 73

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
城及び和瀬	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 205 林班の 一部 鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字和瀬の各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸の一部	若齢照葉樹林を主とするリュウキュウマツが混じる二次 林であるが、アマミノクロウサギやオオトラツグミの生息 地となっている。 国有動物の生息地であり、風致を維持するとともに、若 齢林や人工林の高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。	260 [国 126 私 116 不 7 11]
三太郎峠	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 209 林班の 全部 鹿児島県奄美市住用町 大字神屋の一部	三太郎峠周辺の比較的高齢の照葉樹林と若齢照葉樹林が 混在する地区で、アマミノクロウサギやケナガネズミ等の 生息地となっており、夜の動物観察等の利用が多い。 国有動物の生息地であり、良好な自然体験の場として風 致を維持するとともに、若齢林の高齢照葉樹林への誘導に 努める。	390 [国 56 公 303 私 23 不 8]
役勝川下流 部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝及び大字山間の各一部	役勝川下流部の両岸にまたがるリュウキュウマツが混じ る二次林で、道路沿線の風致維持及び中部地域と南部地域 をつなぐコリドーとしての役割が期待される。 道路沿線の風致維持及び野生動物の生息地保全に留意す る。	138 [国 0 公 123 私 7 不 8]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
興福地川流域	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 216 林班の全部	役勝川支流興福地川下流部にあり、二次林主体の林分で、アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミやカエル類の生息地となっている。 固有動物の生息地であり、風致を維持するとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。また、奄美大島中部と南部の鳥ヶ峰一帯をつなぐコリドーとしての役割が期待される。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>204</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>0</td> </tr> </table>	国	204	公	0	私	0	不	0
国	204										
公	0										
私	0										
不	0										
鳥ヶ峰、金川岳一帯	鹿児島県奄美市住用町 大字市及び大字山間の各一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字嘉徳の一部	山間集落後背地から金川岳周辺まで飛び石状に連なる地区で、若齢の二次林を主体とする。 中部地域では見られない植物も見られるなど、奄美大島の固有性を保護するうえで隣接する特別保護地区とあいまって非常に重要性が高く隣接する特別保護地区の厳正保護と併せた十分な風致維持が必要である。若齢林については、高齢照葉樹林への誘導に努める。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>536</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>19</td> </tr> </table>	国	0	公	536	私	19	不	19
国	0										
公	536										
私	19										
不	19										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)												
肥後山	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部	<p>スダジイをはじめとした照葉樹二次林であり、一部に60年生以上の高齢林を含む。アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、カエル類やオオトラツグミ等の固有で希少な動植物が比較的多く確認されていることから、生物多様性の保全上重要性が高い。これら希少な動植物の生息・生育地の保全を図り、周囲に隣接する特別保護地区及び第1種特別地域と一体的に、優れた風致を厳正に保護する。</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>0</td><td>148</td></tr> <tr> <td>公</td><td>148</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	国	0	148	公	148	0	私	0	0	不	0	0
国	0	148													
公	148	0													
私	0	0													
不	0	0													
嘉徳	鹿児島県大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 224 林班の 全部	<p>高齢林の混じる照葉樹二次林で、アマミノクロウサギやカエル類の生息地となっている。 国有動物の生息地であり、風致を維持するとともに、若齢林の高齢林への誘導に努める。</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>110</td><td>110</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	国	110	110	公	0	0	私	0	0	不	0	0
国	110	110													
公	0	0													
私	0	0													
不	0	0													

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)						
役勝川上流 部及び油井 岳東部	鹿児島県奄美市住用町内 国有林鹿児島森林管理署 217 林班の 全部 鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町内 国有林鹿児島森林管理署 218 林班か ら 223 林班までの全部 鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字綱野子、大字勝浦、 大字嘉徳及び大字築川の各一部	60~80 年生以上の高齢照葉樹林が混じる若齡林を主体と する地区で、アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミ トゲネズミ、オオトラツグミ、オットンガエル等の固有動 物が生息し、役勝川にはリュウキュウアユが遡上するなど 奄美大島の固有性を保護するうえで重要性が高い。 油井岳北部特別保護地区や役勝川中流部特別保護地区と 中南部の他地域をつなぐコリドーとしても重要であり、風 致の維持が必要である。 残存する高齢林の保護を図るとともに若齡林や人工林の 高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1,730</td> </tr> <tr> <td>1,179</td> </tr> <tr> <td>56</td> </tr> <tr> <td>476</td> </tr> <tr> <td>19</td> </tr> <tr> <td>不</td> </tr> </table>	1,730	1,179	56	476	19	不
1,730									
1,179									
56									
476									
19									
不									
トンビ崎	鹿児島県大島郡喜界町 大字小野津及び大字志戸桶の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裙礁）の海岸で、荒涼とした岩場の海 岸景観が特徴的である。後背地には海岸の自然植生が残さ れており、これら地形と植生に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>38</td> </tr> <tr> <td>0</td> </tr> <tr> <td>0</td> </tr> <tr> <td>4</td> </tr> <tr> <td>34</td> </tr> <tr> <td>不</td> </tr> </table>	38	0	0	4	34	不
38									
0									
0									
4									
34									
不									

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)										
百之台	鹿児島県大島郡喜界町 大字阿伝、大字浦原、大字嘉餽及び 大字花良治の各一部	隆起珊瑚礁段丘で形成された島の最高地点から段丘斜面 で、アコウ、ガジュマル、ハマイヌビワ、タブノキなどの 森林となっている。当該地からの展望は段丘斜面、平地の 耕作地、防風林に囲まれた集落及び隆起珊瑚礁海岸を一望 することができ島の地形形成や営みを理解することができます るもので、本公園の代表的な風致の一つとなっている。 これらに留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>1</td></tr> <tr> <td>私</td><td>143</td></tr> <tr> <td>不</td><td>44</td></tr> <tr> <td colspan="2">188</td></tr> </table>	国	0	公	1	私	143	不	44	188	
国	0												
公	1												
私	143												
不	44												
188													
荒木海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字荒木及び大字中里の各一部	隆起珊瑚礁（隆起岩礁）の海岸で、隆起珊瑚礁海岸上及 び後背地には海岸の自然植生が残されており、本公園の中 でも他の島で見ることができない喜界島特有の海岸景観を 有している。 これら地形と植生に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>4</td></tr> <tr> <td>不</td><td>30</td></tr> <tr> <td colspan="2">34</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	4	不	30	34	
国	0												
公	0												
私	4												
不	30												
34													
ムシロ瀬	鹿児島県大島郡徳之島町 大字手々の一部 鹿児島県大島郡天城町 大字与名間の一部	花崗岩が露出した海岸で、本公園でも特異な景観を有し ている。 地形と海岸植生の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>12</td></tr> <tr> <td>私</td><td>3</td></tr> <tr> <td>不</td><td>17</td></tr> <tr> <td colspan="2">32</td></tr> </table>	国	0	公	12	私	3	不	17	32	
国	0												
公	12												
私	3												
不	17												
32													

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
天城岳山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 232 林班の 一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 234 林班の 一部	天城岳の山麓に位置し、高齢照葉樹林を主体とする徳之島北部の森林地域の保全上重要な地区である。アマミノクロウサギやトクノシマトゲネズミをはじめ固有動植物が生息・生育しており、隣接する天城岳及び三方通岳特別保護地区と併せて一体的に保全する必要がある。 国有動植物の生息地・生育地であり、十分な風致の維持を図る。	70 70 0 0 0 0 不
寝姿山	鹿児島県大島郡天城町 大字松原及び大字与名間の各一部	比較的林齡の高い照葉樹林に覆われており、隣接する特別保護地区とともに天城岳から連続する稜線の眺望景観が特徴的で周辺にはアマミノクロウサギも生息している。森林と眺望景観の保全に留意して風致の維持を図る。	29 0 0 28 1 不
大城山	鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 236 林班の 一部	高齢照葉樹林と若齢照葉樹林が混在する地区で、アマミノクロウサギの生息も確認されている。国有動物の生息地保全に留意して風致の維持を図る。	105 105 0 0 0 不

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
犬の門蓋	鹿児島県大島郡天城町 大字兼久の一部	隆起した琉球石灰岩が浸食されてできた海食崖とさきのこ 岩などの奇岩が特徴的な地区である。 駐車場や歩道などの観点場からの海岸景観と海岸植生の 保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>1</td></tr> <tr> <td>私</td><td>15</td></tr> <tr> <td>不</td><td>14</td></tr> </table> 30	国	0	公	1	私	15	不	14
国	0										
公	1										
私	15										
不	14										
井之川岳・ 丹発山山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 242 林班 及び 257 林班の一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字亀津の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 244 林班の 一部	井之川岳及び丹発山の山麓に位置し、高齢照葉樹林を主 体とする林分と、かつて、リュウキュウマツの人工林が点 在していたが、マツ枯れによりスダジイを中心とした亜熱帶 照葉樹林に遷移した林分が広がる。アマミノクロウサギや トクノシマトゲネズミをはじめ固有動植物が生息・生育し ており、隣接する井之川岳、丹発山特別保護地区と併せて 一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地の保全及び森林景観に留意 して、十分な風致の維持を図るとともに、若齡林や人工林 の高齢照葉樹林への再生・誘導に努める。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>180</td></tr> <tr> <td>公</td><td>10</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>3</td></tr> </table> 193	国	180	公	10	私	0	不	3
国	180										
公	10										
私	0										
不	3										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)												
大田布岳及 び三京	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 254 林班 から 256 林班までの各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字白井の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 247 林班及 び 248 林班の全部並びに 245 林班、 246 林班及び 249 林班の各一部 鹿児島県大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及 び 251 林班の各一部	100 年以上の高齢照葉樹林を含む照葉樹二次林主体の森 林で、オキナワウラジロガシ林が見られるほか、アマミノ クロウサギやケナガネズミの生息が確認されている。 国有動植物の生息地・生育地の保全に留意して風致の維 持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>595</td> <td>国</td> <td>594</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>私</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不</td> <td>0</td> </tr> </table>	595	国	594		公	0		私	1		不	0
595	国	594													
	公	0													
	私	1													
	不	0													
大田布岬	鹿児島県大島郡伊仙町 大字大田布、大字小島及び大字崎 原の各一部	隆起した琉球石灰岩が浸食されてできた海食崖が特徵 で、本公園唯一のスケールの大きな断崖景観を有する。 大田布岬及び小原地区の視点場からの断崖景観の保全に 留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>67</td> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>公</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>私</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不</td> <td>55</td> </tr> </table>	67	国	0		公	1		私	11		不	55
67	国	0													
	公	1													
	私	11													
	不	55													

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
義名山	鹿児島県大島郡伊仙町 大字伊仙の一部	低地の琉球石灰岩地に残されたガジュマル、アマミアラカシ及びタブ等の巨木が見られる学術的にも貴重な森林である。低地の自然林としては本公園の中でも代表的で、保護の重要性が高い。 低地の貴重な自然林の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>11</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>2</td></tr> </table>	国	0	公	11	私	0	不	2
国	0										
公	11										
私	0										
不	2										
国頭岬	鹿児島県大島郡和泊町 大字国頭及び大字西原の各一部	隆起珊瑚礁の岩場を主とする海岸で、岩場や砂浜の植生や礁池の海岸景観が特徴的である。特にフーチヤの隆起珊瑚海岸で見られる潮の吹き上げ現象は特殊景観を呈しており、これらは保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>9</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1</td></tr> <tr> <td>不</td><td>42</td></tr> </table>	国	0	公	9	私	1	不	42
国	0										
公	9										
私	1										
不	42										
田皆岬及び 沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	田皆岬は、琉球石灰岩の海食崖の優れた断崖景観があり、沖泊海岸は海食崖下の砂浜、植生、礁湖が特徴的な地区で沖永良部島唯一の景勝地である。 田皆岬からの断崖景観と沖泊海岸の海岸景観の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>23</td></tr> </table>	国	0	公	0	私	0	不	23
国	0										
公	0										
私	0										
不	23										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
与論海岸	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び 大字麦屋の各一部	<p>海域を中心とする与論島地域の中で、礁湖と併せて当該地区の海岸景観の核心をなす地区で本公園を代表する海岸景観の一つと言える。</p> <p>砂浜を中心とする海岸と琉球石灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海滨植生で構成される海岸景観は島内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となっている。海岸及び植生の自然性及びその連続性の保全に留意して風致の維持を図る。</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td></td> </tr> </table>	国	0	公	0	私	1	不	29	30	
国	0												
公	0												
私	1												
不	29												
30													
		<p>合 計</p>	<table border="1"> <tr> <td>国</td> <td>9,615</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>3,729</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>3,089</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>2,338</td> </tr> <tr> <td></td> <td>459</td> </tr> </table>	国	9,615	公	3,729	私	3,089	不	2,338		459
国	9,615												
公	3,729												
私	3,089												
不	2,338												
	459												

(ウ) 第2種特別地域

次の地域を第2種特別地域とする。

(表6：第2種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)					
鹿児島県	<p>奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 214 林班及び 215 林班の全部 並びに 204 林班の一部</p> <p>奄美市笠利町 大字宇宿、大字笠利、大字喜瀬、大字佐仁、大字須野、 大字外金久、大字手花部、大字屋仁及び大字用の各一部</p> <p>奄美市住用町 大字石原、大字市、大字神屋、大字川内、大字城、大 字西仲間、大字東仲間、大字見里、大字役勝、大字山 間及び大字和瀬の各一部</p> <p>奄美市名瀬 大字朝戸、大字芦花部、大字伊津部町、大字金久町、 大字小宿、大字小湊、大字大熊、大字知名瀬及び大字 西仲勝の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>6,514</td> </tr> <tr> <td>国 351</td> </tr> <tr> <td>公 2,428</td> </tr> <tr> <td>私 3,179</td> </tr> <tr> <td>不 556</td> </tr> </table>	6,514	国 351	公 2,428	私 3,179	不 556
6,514							
国 351							
公 2,428							
私 3,179							
不 556							
大島郡大和村	<p>大字今里、大字大金久、大字大棚、大字思勝、大字志 戸勘、大字津名久、大字戸円、大字名音、大字大和浜 及び大字湯湾釜の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>3,699</td> </tr> <tr> <td>国 0</td> </tr> <tr> <td>公 1,089</td> </tr> <tr> <td>私 2,356</td> </tr> <tr> <td>不 254</td> </tr> </table>	3,699	国 0	公 1,089	私 2,356	不 254
3,699							
国 0							
公 1,089							
私 2,356							
不 254							
大島郡宇検村内	<p>国有林鹿児島森林管理署 226 林班及び 227 林班の全部 並びに 228 林班及び 229 林班の各一部</p>	<table border="1"> <tr> <td>2,065</td> </tr> <tr> <td>国 421</td> </tr> <tr> <td>公 739</td> </tr> <tr> <td>私 844</td> </tr> <tr> <td>不 61</td> </tr> </table>	2,065	国 421	公 739	私 844	不 61
2,065							
国 421							
公 739							
私 844							
不 61							
大島郡宇検村	<p>大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部</p>						

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	<p>大島郡瀬戸内町 大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字阿室釜、大字池地、大字生間、大字押角、大字勝浦、大字勝能、大字嘉鉄、大字嘉徳、大字久慈、大字管鈍、大字久根津、大字花天、大字花富、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字清水、大字瀬相、大字節子、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西阿室、大字西古見、大字俵、大字三浦、大字油井及び大字与路の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>6,683</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>515</td></tr> <tr> <td>不</td><td>5,498</td></tr> <tr> <td></td><td>670</td></tr> </table>	国	6,683	公	0	私	515	不	5,498		670
国	6,683											
公	0											
私	515											
不	5,498											
	670											
	<p>大島郡龍郷町 大字秋名、大字芦徳、大字安木屋場、大字幾里、大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>2,422</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>1,011</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1,291</td></tr> <tr> <td></td><td>120</td></tr> </table>	国	2,422	公	0	私	1,011	不	1,291		120
国	2,422											
公	0											
私	1,011											
不	1,291											
	120											
	<p>奄美大島小計</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>21,383</td></tr> <tr> <td>公</td><td>772</td></tr> <tr> <td>私</td><td>5,782</td></tr> <tr> <td>不</td><td>13,168</td></tr> <tr> <td></td><td>1,661</td></tr> </table>	国	21,383	公	772	私	5,782	不	13,168		1,661
国	21,383											
公	772											
私	5,782											
不	13,168											
	1,661											
	<p>大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全部並びに 231 林班から 233 林班まで、239 林班、242 林班、254 林班から 256 林班まで、258 林班及び 259 林班の各一部 大島郡徳之島町 大字井之川、大字亀津、大字亀徳、大字花徳、大字山、大字下久志、大字白井、大字手々、大字轟木及び大字母間の各一部</p>	<table> <tr> <td>国</td><td>1,936</td></tr> <tr> <td>公</td><td>444</td></tr> <tr> <td>私</td><td>210</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1,200</td></tr> <tr> <td></td><td>82</td></tr> </table>	国	1,936	公	444	私	210	不	1,200		82
国	1,936											
公	444											
私	210											
不	1,200											
	82											

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
	大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全部並びに 235 林班、238 林班、246 林班及び 249 林班の各一部 大島郡天城町 大字天城、大字兼久、大字当部、大字西阿木名、大字松原及び大字与名間の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>907</td></tr> <tr> <td>公</td><td>369</td></tr> <tr> <td>私</td><td>42</td></tr> <tr> <td>不</td><td>421</td></tr> <tr> <td></td><td>75</td></tr> </table>	国	907	公	369	私	42	不	421		75
国	907											
公	369											
私	42											
不	421											
	75											
	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 250 林班及び 251 林班の各一部 大島郡伊仙町 大字阿權、大字阿三、大字伊仙、大字糸木名、大字喜念、大字木之香、大字佐弁及び大字八重竿の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>138</td></tr> <tr> <td>公</td><td>39</td></tr> <tr> <td>私</td><td>2</td></tr> <tr> <td>不</td><td>43</td></tr> <tr> <td></td><td>54</td></tr> </table>	国	138	公	39	私	2	不	43		54
国	138											
公	39											
私	2											
不	43											
	54											
	徳之島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>2,981</td></tr> <tr> <td>公</td><td>852</td></tr> <tr> <td>私</td><td>254</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1,664</td></tr> <tr> <td></td><td>211</td></tr> </table>	国	2,981	公	852	私	254	不	1,664		211
国	2,981											
公	852											
私	254											
不	1,664											
	211											
	大島郡知名町 大字大津勘、大字上城、大字上平川、大字下城、大字下平川、大字新城、大字住吉、大字田皆、大字徳時及び大字屋子母の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>232</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>175</td></tr> <tr> <td>不</td><td>7</td></tr> <tr> <td></td><td>50</td></tr> </table>	国	232	公	0	私	175	不	7		50
国	232											
公	0											
私	175											
不	7											
	50											
	沖永良部島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>232</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>175</td></tr> <tr> <td>不</td><td>7</td></tr> <tr> <td></td><td>50</td></tr> </table>	国	232	公	0	私	175	不	7		50
国	232											
公	0											
私	175											
不	7											
	50											
	これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁の各一部を含む。											

都道府県名	区 域	面積 (ha)
	合 計	24, 596
	国	1, 624
	公	6, 211
	私	14, 839
	不	1, 922

(表7：第2種特別地域内訳表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
笠利半島東海岸	鹿児島県奄美市笠利町大字宇宿、大字笠利、大字佐仁、大字須野及び大字用の各一部並びにこれら の地先岩礁	笠利崎から大瀬海岸まで続く砂浜を中心とした海岸で、裾礁が連続し海水浴客等が訪れる。海岸、海浜植生及び観点場からの礁池景観に留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地やアシサシ等海鳥の繁殖地の保全にも留意する。	213 国 0 公 12 私 71 不 130
笠利湾	鹿児島県奄美市笠利町大字喜瀬、大字外金久、大字手花部及び大字屋仁の各一部並びに大字喜瀬の地先岩礁（立神）鹿児島県大島郡龍郷町大字芦徳の一部	奄美自然観察の森からの展望対象となっている海岸部と手花部干潟で形成される。視点場からの展望、海岸及び海岸植生に留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地やアシサシ等海鳥の繁殖地の保全にも留意する。手花部干潟は、汽水性の希少貝類が多く、シオマネキ類も複数種が見られ、干潟の生物観察に適した場所である。水生生物の生息及びマンゴロープ群落の保全に留意して風致の維持を図る。	273 国 0 公 89 私 93 不 91

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
奄美大島北 部山地	鹿児島県奄美市名瀬 大字芦花部及び大字大熊の各一部並び に大字芦花部の地先岩礁 鹿児島県大島郡龍郷町 大字秋名、大字安木屋場、大字幾里、 大字浦、大字円、大字大勝、大字嘉渡、 大字久場、大字瀬留及び大字龍郷の各 一部並びに大字秋名の地先岩礁	秋名川水系及び長雲岬周辺を主とする地区で、リュウキュウ マツの割合の高い照葉樹二次林である。また、安木場海岸及び 武運崎付近の海岸も含む。付近一帯の森林は、奄美大島北部の アマミノクロウサギの主要な生息地として重要である。 視点場からの展望景観及びアマミノクロウサギ等固有動植 物の生息・生育に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>2,856</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>1,120</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>1,585</td> </tr> <tr> <td></td> <td>151</td> </tr> </table>	2,856	0	国	公	私	1,120	不	1,585		151
2,856	0												
国	公												
私	1,120												
不	1,585												
	151												
金作原	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿及び大字知名瀬の各一部	利用拠点の一つである金作原原生林に至るルート沿線にあ たる地区で、主として若齢の照葉樹二次林となっているが、オ オトラツグミ等固有動物の生息も確認されている。 利用ルート沿線及び尾根筋や河川沿いの保全に留意して風 致の維持を図る。 また、公園利用についても必要に応じて自然環境への負荷軽 減のための措置を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>292</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>126</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>152</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td> </tr> </table>	292	0	国	公	私	126	不	152		14
292	0												
国	公												
私	126												
不	152												
	14												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大川及び金 久田川	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 204 林班の一部 鹿児島県奄美市住用町 大字城及び大字和瀬の各一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字伊津部町、大字金久町 及び大字小宿の各一部	大川及び金久田川水系に位置し、照葉樹二次林を主体とする が局地的にオキナワウラジロガシ林も見られる。アマミノクロ ウサギやオオトラツグミの生息地になつており、尾根筋や河川 沿いの保全に留意して風致の維持を図る。	1336 129 624 553 30
和瀬及び西 仲勝	鹿児島県奄美市住用町 大字和瀬の一部 鹿児島県奄美市名瀬 大字朝戸、大字小瀬及び大字西仲勝の各一部	城及び和瀬第 1 種特別地域に隣接し、国道 58 号の東側に位 置する。照葉樹二次林やリュウキュウマツ林を主として果樹園 等の耕作地も含まれる。中南部地域のアマミノクロウサギ、オ オトラツグミやカエル類の生息の東端の一部となつており、こ れらの生息や国道 58 号からの沿線景観に留意して風致の維持 を図る。	518 0 98 337 83

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)										
住用川及び 川内川	鹿児島県奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字川内、大字 西仲間、大字東仲間、大字見里及び大 字役勝の各一部 鹿児島県大島郡大和村 大字大棚、大字思勝、大字津名久、大 字名音、大字大和浜及び大字湯湾釜の 各一部	住用川中流部及び川内川水系にまたがる広大な地区で、主と して照葉樹二次林からなる。アマミノクロウサギ、ケナガネズ ミ、アミトゲネズミ、オオトラツグミ及びアマミシカワガ エルの主要な生息地として重要性が高く、夜の動物観察等の利 用もなされている。 当該公園の核心を形成する地域の一部として尾根筋や河川 沿いの保全に留意して十分な風致の維持を図るとともに、国有 動物の交通事故の防止等にも留意する。	<table border="1"> <tr> <td>2,702</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>私</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>1,382</td> <td>98</td> </tr> </table>	2,702	0	国	公	公	私	私	不	1,382	98
2,702	0												
国	公												
公	私												
私	不												
1,382	98												
河内川上流 部	鹿児島県奄美市住用町 大字役勝の一部	役勝川中流部特別保護地区並びに湯湾岳山麓及び河内川上 流部第1種特別地域に隣接する河内川上流部を主とする地区 である。 照葉樹二次林を主体とするが、河内川上流部はアミノクロ ウサギやアミトゲネズミ、ケナガネズミ等の主要な生息地で あり、周辺の特別保護地区及び第1種特別地域と併せて一體的 に保全する必要がある。 国有動物の生息地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意し て十分な風致の維持を図るとともに、国道58号沿線の風致を 維持する。	<table border="1"> <tr> <td>430</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>私</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>224</td> <td>4</td> </tr> </table>	430	0	国	公	公	私	私	不	224	4
430	0												
国	公												
公	私												
私	不												
224	4												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
住用川下流部	鹿児島県奄美市住用町大字石原、大字神屋及び大字西仲間の各一部	住用川下流部の低水敷で、リュウキュウアユの生息河川として重要である。水生生物の生息に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>9</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>9</td></tr> </table>	国	9	公	0	私	0	不	9		
国	9												
公	0												
私	0												
不	9												
役勝川下流部	鹿児島県奄美市住用町大字役勝及び大字山間の各一部	役勝川中下流部の低水敷で、リュウキュウアユの生息河川として重要である。水生生物の生息に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>12</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>1</td></tr> <tr> <td></td><td>11</td></tr> </table>	国	12	公	0	私	0	不	1		11
国	12												
公	0												
私	0												
不	1												
	11												
滝ノ鼻山	鹿児島県奄美市内 国有林鹿児島森林管理署 214 林班及び 215 林班の全部 鹿児島県奄美市住用町大字石原、大字神屋及び大字見里の各一部並びに地先岩礁	旧国道 58 号から東側に位置する照葉樹二次林を主とする地区である。海岸付近にはリュウキュウマツ林や海岸林が見られる。アマミノクロウサギ、アマミトゲネズミ、ケナガネズミやカエル類の生息地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、旧国道 58 号沿線の風致を維持する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>427</td></tr> <tr> <td>公</td><td>222</td></tr> <tr> <td>私</td><td>32</td></tr> <tr> <td>不</td><td>156</td></tr> <tr> <td></td><td>17</td></tr> </table>	国	427	公	222	私	32	不	156		17
国	427												
公	222												
私	32												
不	156												
	17												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)						
小川岳	鹿児島県大島郡大和村 大字大金久、大字大棚、大字戸内及び 大字名音の各一部	<p>住用川の源流部に位置し、南は湯湾大棚線、西は名音線を境 界とする地区でリュキュウマツ林や耕作地の混じる照葉樹 二次林を主とする。アマミイシカワガエルやアマミノクロウサ ギ等の固有動植物が見られ、原生的な森林も局地的に残されて いるうえ、既存の利用施設があることから森林の適正な利用推 進を図る拠点地区として期待される。</p> <p>固有動植物の生息地・生育地であり、尾根筋や河川沿いの保 全に留意して森林利用の拠点として風致の維持を図る。</p>	<table border="1"> <tr> <td>1,128</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>264</td> <td>710</td> </tr> <tr> <td>154</td> <td>不</td> </tr> </table>	1,128	0	264	710	154	不
1,128	0								
264	710								
154	不								
今里	鹿児島県大島郡大和村 大字今里の一部及び地先岩礁（立神）	<p>今里集落西側にそびえるリュキュウマツや海岸二次林で 覆われた雄大な断崖と、集落沖合の岩礁（立神）である。 集落及び県道79号からの断崖景観と岩礁景観に留意して風 致の維持を図る。</p>	<table border="1"> <tr> <td>136</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>17</td> </tr> </table>	136	0	8	111	17	17
136	0								
8	111								
17	17								

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
湯湾岳山麓	鹿児島県大島郡大和村 大字今里、大字志戸勘及び大字名音の各一部 鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 229 林班の一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字芦検、大字田検及び大字湯湾の各一部	湯湾岳の北部から西部にかけての山麓部の一帯で、名音川流域、湯湾川中流部及び湯湾岳から北西に延びる尾根を含む地区である。照葉樹二次林を主とし、アマミノクロウサギをはじめ固有動植物の生息・生育が多く確認されており、湯湾岳特別保護地区等の核心地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意して十分な風致の維持を図るとともに、湯湾大棚線沿線の風致を維持する。	1,638 66 204 1,291 77
河内川西部	鹿児島県大島郡宇検村内 国有林鹿児島森林管理署 226 林班及び 227 林班の全部並びに 228 林班の一部 鹿児島県大島郡宇検村 大字湯湾の一部	河内川左岸側の一帯で、上流部から下流部までを含む。照葉樹二次林を主とし、アマミノクロウサギの分布の西端に近く、上流部はアマミシカワガエルやオットンガエル等の重要な生息地となっている。 固有動物の生息地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、県道 85 号沿線の風致を維持する。	1,323 355 738 191 39

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
役勝川上流部及び油井岳一帯	鹿児島県奄美市住用町大字役勝の一部 鹿児島県大島郡瀬戸内町大字阿木名、大字阿鉄、大字網野子、大字勝浦、大字久根津、大字小名瀬、大字古仁屋、大字篠川及び大字油井の各一部	鳥ヶ峰及び金川岳一帯第2種特別地域の西側に位置し、国道58号を境界とする地区で、役勝川中流部特別保護地区、油井岳北部特別保護地区並びに役勝川上流部及び油井岳東部第1種特別地域を取り囲む照葉樹二次林を主とする。アマミノクロウサギやケナガネズミ、オオトラツグミ、カエル類など多くの動物が確認されており、周辺の特別保護地区及び第1種特別地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、国道58号及び県道612号沿線の風致を維持する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>1,862</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>私</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>68</td> <td>1,680</td> </tr> </table>	1,862	0	国	公	公	私	私	不	68	1,680
1,862	0												
国	公												
公	私												
私	不												
68	1,680												
鳥ヶ峰及び金川岳一帯	鹿児島県奄美市住用町大字市、大字役勝及び大字山間の各一部並びに大字市地先岩礁 鹿児島県大島郡瀬戸内町大字網野子、大字嘉徳及び大字節子の各一部並びに大字嘉徳及び大字節子の地先岩礁	役勝川中下流部右岸から鳥ヶ峰、金川岳及び嘉徳集落一体を囲む地区で、西は国道58号を境界とする。 若齢の照葉樹二次林を主とするが、一部に80年生以上の高齢林を含む。アマミノクロウサギ、ケナガネズミ、アマミトゲネズミ、カエル類やオオトラツグミも確認されており、周辺の特別保護地区及び第1種特別地域と一体的に保全する必要がある。 固有動植物の生息地・生育地であり、尾根筋や河川沿いの保全に留意して風致の維持を図るとともに、国道58号沿線の風致を維持する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>2,471</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td> <td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>私</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>不</td> </tr> <tr> <td>101</td> <td>1,693</td> </tr> </table>	2,471	0	国	公	公	私	私	不	101	1,693
2,471	0												
国	公												
公	私												
私	不												
101	1,693												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
大島海峡	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字阿鉄、大字阿室釜、大字生間、大字押角、大字勝能、大字嘉鉄、大字久慈、大字管鉈、大字久根津、大字花天、大字古志、大字小名瀬、大字古仁屋、大字薩川、大字実久、大字篠川、大字芝、大字諸數、大字諸鉈、大字清水、大字瀬相、大字蘇刈、大字武名、大字手安、大字渡連、大字西古見、大字俵、大字三浦及び大字油井の各一部並びにこれらの地先岩礁	大島海峡を挟んで奄美大島本島と加計呂麻島にまたがる地区で、リアス海岸景観が特徴となっている。 奄美大島本島及び加計呂麻島に点在する展望地点からの展望及び沿岸道路や海上からの眺望に留意して風致の維持を図る。 また、アジサシ等海鳥の繁殖地や固有植物の生育地の保全にも留意する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>3,009</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>2,307</td> </tr> <tr> <td></td> <td>460</td> </tr> </table>	国	3,009	公	0	私	242	不	2,307		460
国	3,009												
公	0												
私	242												
不	2,307												
	460												
加計呂麻島 風崎	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字花富及び大字西阿室の各一部並びに大字西阿室の地先岩礁	加計呂麻島の南西端に位置し、請島水道に大きく突きだした半島景観が特徴となっている。 海上からの眺望及びアマミヤマシギ等固有動植物の生息地・生育地の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>357</td> </tr> <tr> <td>公</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>不</td> <td>282</td> </tr> <tr> <td></td> <td>65</td> </tr> </table>	国	357	公	0	私	10	不	282		65
国	357												
公	0												
私	10												
不	282												
	65												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)												
ハミヤ島	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字与路の一部及び地先岩礁	与路島の東海上に浮かぶ無人島で、アナドリ及びオオミズナギドリの繁殖地の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>14</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td><td>14</td></tr> <tr> <td>不</td><td></td><td></td></tr> </table>	国	14	0	公	0	0	私	0	14	不		
国	14	0													
公	0	0													
私	0	14													
不															
請島大山	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字池地の一部及び地先岩礁	請島西部の大山一帯で、比較的高齢の照葉樹林を主とする地区である。 ウケジママルバネクワガタをはじめ固有動植物の生息地・生育地として重要で、これらの生息地・生育地の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>377</td><td>0</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>349</td><td>28</td></tr> <tr> <td>不</td><td></td><td></td></tr> </table>	国	377	0	公	0	0	私	349	28	不		
国	377	0													
公	0	0													
私	349	28													
不															

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)												
徳之島北部 山地	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 231 林班から 233 林班の各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字花徳、大字山、大字手々及び大 字轟木の各一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 235 林班の一 部 鹿児島県大島郡天城町 大字松原及び大字与名間の各一部	天城岳及び三方通岳特別保護地区の周囲を用む地区で、主と して照葉樹二次林となつており、徳之島北部のアマミノクロウ サギほか固有動物の生息域として重要で、これら生息地の保 全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>992</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>844</td> <td>844</td> </tr> <tr> <td>49</td> <td>49</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td> <td>公</td> <td>私</td> <td>不</td> </tr> </table>	992	99	0	0	844	844	49	49	国	公	私	不
992	99														
0	0														
844	844														
49	49														
国	公	私	不												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
徳之島中部 山地及び山麓部	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全 部並びに 239 林班、242 林班、256 林班、 258 林班及び 259 林班の各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字井之川、大字亀津、大字亀徳、大 字花徳、大字下久志、大字壱木及び 字母間の各一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 241 林班の全 部並びに 238 林班 244 林班及び 246 林 班の各一部 鹿児島県大島郡天城町 大字天城、大字兼久、大字当部及び 大字西阿木名の各一部	井之川岳・丹發山特別保護地区及び第 1 種特別地域を囲む地 区で、照葉樹二次林を主とし、一部にリュウキュウマツ林も見 られるが、近年の松枯れにより照葉樹に遷移しているほか、井 之川岳南東部には農園が存在する。美名田山付近には高齢照葉 樹林が広がり、北部と中部をつなぐコリドーとしての役割も期 待される。アマミノクロウサギの中部生息域を含むほかケナガ ネズミやトクノシマトゲネズミの生息も確認されており、固有 動物の生息地の保全に留意して風致の維持を図る。	1,668 [国 574 公 223 私 767 不 104]]

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)										
大田布岳山麓	鹿児島県大島郡徳之島町内 国有林鹿児島森林管理署 254 林班及び 255 林班の各一部 鹿児島県大島郡徳之島町 大字白井の一部 鹿児島県大島郡天城町内 国有林鹿児島森林管理署 249 林班の一部	犬田布岳山麓部の一帯で、リュウキュウマツ林と照葉樹二次林が混在する。ケナガネズミの生息が確認されており、犬田布岳山頂部から三京に至る核心地域と一体的に保全する必要がある。 固有動物の生息地の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>227</td> <td>179</td> </tr> <tr> <td>国</td><td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>私</td> </tr> <tr> <td>私</td><td>不</td> </tr> <tr> <td>10</td><td>9</td> </tr> </table>	227	179	国	公	公	私	私	不	10	9
227	179												
国	公												
公	私												
私	不												
10	9												
阿権川及び鹿浦川	鹿児島県大島郡伊仙町 大字阿権、大字阿三及び大字木之香 の各一部	阿権川及び鹿浦川沿いの崖地と河口部付近の断崖地からなり、河川断崖や海岸崖地に自然植生が見られる。 断崖景観及び固有動植物の生息地・生育地の保全に留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地の保全にも留意する。	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>65</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国</td><td>公</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>私</td> </tr> <tr> <td>0</td><td>不</td> </tr> <tr> <td>37</td><td>28</td> </tr> </table>	65	0	国	公	公	私	0	不	37	28
65	0												
国	公												
公	私												
0	不												
37	28												

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
義名山	鹿児島県大島郡伊仙町 大字伊仙の一部	義名山第1種特別地域に隣接する照葉樹二次林で、当該地域と併せて一体的に保全する必要がある。 森林の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>9</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td><td>2</td> </tr> <tr> <td>不</td><td>5</td> </tr> </table>	国	9	公	0	私	2	不	5
国	9										
公	0										
私	2										
不	5										
喜念浜	鹿児島県大島郡伊仙町 大字喜念及び大字佐弁の各一部	外海、礁縁、礁池、砂浜、砂丘という一連の地形が見られ、闘牛が散歩する風景も加わって徳之島らしさが感じられる地区である。 砂丘の保全に留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地の保全にも留意する。	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>20</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>不</td><td>16</td> </tr> </table>	国	20	公	0	私	0	不	16
国	20										
公	0										
私	0										
不	16										
田皆岬及び 沖泊海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字下城、大字新城及び大字田皆の各一部	田皆岬は、琉球石灰岩の海食崖の優れた断崖景観があり、沖泊海岸は海食崖下の砂浜、植生、礁池が特徴的な地区で沖永良部島随一の景勝地である。 特に海食崖上の植生や田皆岬や沖泊海岸の園地からの海岸及び断崖景観の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1"> <tr> <td>国</td><td>30</td> </tr> <tr> <td>公</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>私</td><td>0</td> </tr> <tr> <td>不</td><td>25</td> </tr> </table>	国	30	公	0	私	0	不	25
国	30										
公	0										
私	0										
不	25										

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大山山頂部	鹿児島県大島郡知名町 大字上城、大字上平川、大字下城、大字下平川、大字住吉及び大字田皆の各一部	非石灰岩地に成立する照葉樹二次林とリュウキュウマツ林となつており、ごく部分的に自然植生を含む。森林の維持に留意して風致の維持を図る。	173 0 170 1 2
大津勘及び屋子母海岸	鹿児島県大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字徳時及び大字屋子母の各一部	サンゴ礁を有する砂浜の海岸で、ビーチロックが特徴的である。後背地の植生を含め海浜全体の風致の維持を図る。	29 0 5 1 23
		合 計	24,596 1,624 6,211 14,839 1,922

(エ) 第3種特別地域

次の区域を第3種特別地域とする。

(表8：第3種特別地域総括表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	奄美市名瀬 大字小宿、大字知名瀬及び大字根瀬部の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>355</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>168</td></tr> <tr><td>不</td><td>100</td></tr> <tr><td></td><td>87</td></tr> </table>	国	355	公	0	私	168	不	100		87
国	355											
公	0											
私	168											
不	100											
	87											
	大島郡大和村 大字国直、大字戸円及び大字名音の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>57</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>1</td></tr> <tr><td>不</td><td>36</td></tr> <tr><td></td><td>20</td></tr> </table>	国	57	公	0	私	1	不	36		20
国	57											
公	0											
私	1											
不	36											
	20											
	奄美大島小計	<table> <tr><td>国</td><td>412</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>169</td></tr> <tr><td>不</td><td>136</td></tr> <tr><td></td><td>107</td></tr> </table>	国	412	公	0	私	169	不	136		107
国	412											
公	0											
私	169											
不	136											
	107											
	大島郡喜界町 大字荒木、大字佐手久、大字志戸桶及び大字中里の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>52</td></tr> <tr><td></td><td>40</td></tr> </table>	国	92	公	0	私	0	不	52		40
国	92											
公	0											
私	0											
不	52											
	40											
	喜界島小計	<table> <tr><td>国</td><td>92</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>52</td></tr> <tr><td></td><td>40</td></tr> </table>	国	92	公	0	私	0	不	52		40
国	92											
公	0											
私	0											
不	52											
	40											

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	大島郡徳之島町 大字金見、大字山及び大字手々の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>151</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>3</td></tr> <tr><td>不</td><td>36</td></tr> <tr><td></td><td>112</td></tr> </table>	国	151	公	0	私	3	不	36		112
国	151											
公	0											
私	3											
不	36											
	112											
	大島郡天城町 大字大津川、大字兼久及び大字瀬滝の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>82</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>26</td></tr> <tr><td></td><td>56</td></tr> </table>	国	82	公	0	私	0	不	26		56
国	82											
公	0											
私	0											
不	26											
	56											
	大島郡伊仙町 大字犬田布の一部	<table> <tr><td>国</td><td>14</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>2</td></tr> <tr><td>不</td><td>1</td></tr> <tr><td></td><td>11</td></tr> </table>	国	14	公	0	私	2	不	1		11
国	14											
公	0											
私	2											
不	1											
	11											
	徳之島小計	<table> <tr><td>国</td><td>247</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>5</td></tr> <tr><td>不</td><td>63</td></tr> <tr><td></td><td>179</td></tr> </table>	国	247	公	0	私	5	不	63		179
国	247											
公	0											
私	5											
不	63											
	179											
	大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字瀬利覚及び大字徳時の各一部	<table> <tr><td>国</td><td>325</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>109</td></tr> <tr><td></td><td>216</td></tr> </table>	国	325	公	0	私	0	不	109		216
国	325											
公	0											
私	0											
不	109											
	216											

都道府県名	区 域	面積 (ha)								
	沖永良部島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>325</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>109</td></tr> <tr><td>不</td><td>216</td></tr> </table>	国	325	公	0	私	109	不	216
国	325									
公	0									
私	109									
不	216									
鹿児島県	大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>91</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>19</td></tr> <tr><td>不</td><td>11</td></tr> </table>	国	91	公	0	私	19	不	11
国	91									
公	0									
私	19									
不	11									
	与論島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>91</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>19</td></tr> <tr><td>不</td><td>11</td></tr> </table>	国	91	公	0	私	19	不	11
国	91									
公	0									
私	19									
不	11									
	これらの地域については地先海岸、地先島嶼及び地先岩礁の各一部を含む。									
	合 計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>1,167</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>193</td></tr> <tr><td>不</td><td>371</td></tr> </table>	国	1,167	公	0	私	193	不	371
国	1,167									
公	0									
私	193									
不	371									
		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>603</td></tr> <tr><td>公</td><td></td></tr> <tr><td>私</td><td></td></tr> <tr><td>不</td><td></td></tr> </table>	国	603	公		私		不	
国	603									
公										
私										
不										

(表9：第3種特別地域内訳表)

名称	区域	地区の概要	面積 (ha)
大浜	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿及び大字知名瀬の各一部	名瀬西部に位置し、主要な海水浴場を含む。公園利用の拠点として風致の維持を図る。	205 国 0 公 118 私 33 不 54
宮古崎	鹿児島県奄美市名瀬 大字根瀬部の一部及び地先岩礁 鹿児島県大島郡大和村 大字国直の一部	思勝湾東側に位置し、ササ原やタイワンヤマツツジが特徴となっているほか、海岸断崖植生も見られる。 海岸植生の保全に留意して風致の維持を図る。	190 国 0 公 51 私 100 不 39
ヒエン浜	鹿児島県大島郡大和村 大字戸円及び大字名音の各一部並びに 大字戸円の地先岩礁	広大な礁湖と海浜植生が特徴的な地区で、これらの保全に留意して風致の維持を図る。	17 国 0 公 0 私 3 不 14

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
志戸桶海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字佐手久及び大字志戸桶の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裙礁）の海岸で、荒涼とした岩場の海岸 景観が特徴的な地区で、この景観の保全に留意して風致の維持を図る。	74 0 国 公 私 不 39 35
荒木海岸	鹿児島県大島郡喜界町 大字荒木及び大字中里の各一部	隆起珊瑚礁（隆起裙礁）の海岸で、隆起珊瑚礁海岸上及び 後背地に海岸の自然植生が残されており、これら地形と植生 に留意して風致の維持を図る。	18 0 国 公 私 不 13 5
金見崎	鹿児島県大島郡徳之島町 大字金見、大字山及び大字手々の各 一部	隆起珊瑚礁の岩場や砂浜が見られる海岸を主とし、ソテツ 群落が特徴的な地区である。隆起珊瑚礁植生や砂丘植生を含 む海岸景観及びソテツ群落景観の保全に留意して風致の維持 を図るとともに、ウミガメの産卵地やアジサシ等海鳥の繁殖 地の保全にも留意する。	64 0 国 公 私 不 3 2 59

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
畦海岸	鹿児島県大島郡徳之島町 大字山の一部	砂浜と枝サンゴが特色である礁池を主とする地区で、後背地は耕作地が多い。 砂浜及び礁池の景観の保全に留意して風致の維持を図るとともに、ウミガメの産卵地の保全にも留意する。	87 0 国 公 0 私 不 34 53
犬の門蓋	鹿児島県大島郡天城町 大字大津川、大字兼久及び大字瀬瀬 の各一部	犬の門蓋海食崖の崖上部及び隣接する海岸で構成され、犬の門蓋海食崖と一体となつて断崖景観を形成する。視点場から海岸景観及び自然植生の保全に留意して風致の維持を図る。	82 0 国 公 26 私 不 56
犬田布岬	鹿児島県大島郡伊仙町 大字犬田布の一部	犬田布岬海食崖の崖上部にあたり、断崖景観を展望する視点場となる地区である。断崖景観を構成する第1種特別地域と併せて一体的な風致の維持を図る。	14 0 国 公 2 私 不 1 11

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)								
大山	鹿児島県大島郡知名町 大字大津勘、大字住吉、大字瀬利覚及 び大字徳時の各一部	ドリーネと鍾乳洞が特徴的な地区で、本公園の代表的なカ ルスト地形景観の一ひとつなっている。これらの保全に留意し て風致の維持を図る。	<table border="1"><tr><td>国</td><td>325</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>0</td></tr><tr><td>不</td><td>216</td></tr></table>	国	325	公	0	私	0	不	216
国	325										
公	0										
私	0										
不	216										
与論海岸	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大 字麦屋の各一部	砂浜を中心とする海岸の後背地にあたり、一部に利用上重要 な海浜を含む。海浜の自然植生や自然性の高い海岸の連続性 の保全に留意して風致の維持を図る。	<table border="1"><tr><td>国</td><td>91</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>19</td></tr><tr><td>不</td><td>11</td></tr></table>	国	91	公	0	私	19	不	11
国	91										
公	0										
私	19										
不	11										
合			<table border="1"><tr><td>国</td><td>1,167</td></tr><tr><td>公</td><td>0</td></tr><tr><td>私</td><td>193</td></tr><tr><td>不</td><td>371</td></tr></table>	国	1,167	公	0	私	193	不	371
国	1,167										
公	0										
私	193										
不	371										
			<table border="1"><tr><td>国</td><td>603</td></tr></table>	国	603						
国	603										

イ 海域公園地区

海域公園地区を次のとおりとする。

(表 10 : 海域公園地区表)

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
笠利半島東 海岸	鹿児島県奄美市笠利町 大字用地先	<p>用集落の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面ではミドリイシ属が優占しているが、アオサンゴなども見られ種数も多い。潮流が早く土砂流出等内陸からの影響は受けにくい。礁池内は、平成 10 年の白化現象により優占していた枝状ミドリイシ群落は壊滅したが、塊状ハマサンゴ、キクメイシ類、ミドリイシ属の小群体や卓状ミドリイシも見られる。</p> <p>現在は、自化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区として海域景観の維持を図る。</p>	65
摺子崎	鹿児島県奄美市名瀬 大字小宿地先	<p>摺子崎の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面では平成 10 年の白化現象による影響はあるものの回復傾向にあり、ミドリイシ属が優占している。礁池内ではマイクロアトルを形成するハマサンゴやハナガササンゴの小群体等を見ることができる。</p> <p>現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区として海域景観の維持を図る。</p>	79

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
大島海峡 1号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字実久及び大字芝地先	潮通しが良く外洋性のサンゴの生息が見られる。 平成 13 年のオニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けた が、ミドリイシ属の小群体が散見され回復途上にある。サンゴの 生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区として 海域景観の維持・再生を図る。	26
大島海峡 2号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字芝地先	潮通しが良く外洋性のサンゴの生息が見られる。 平成 14 年のオニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けた が、ミドリイシ属の小群体が散見され回復傾向が現れ始めた。サ ンゴの生息環境として良好な場所であることから、海域公園地区 として海域景観の維持・再生を図る。	20
大島海峡 3号	鹿児島県大島郡瀬戸内町 大字武名及び大字三浦地先	大島海峡の内部に位置し、外洋性と内湾性のサンゴが見られ る。塊状及び枝状ハマサンゴ群落やハマシコロサンゴ群落、ミド リイシ属のほか、ナショウキサンゴやリュウキュウソバナなど が良好な状態で残されており、海域公園地区として海域景観の維 持を図る。	23

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
与論島礁湖	鹿児島県大島郡与論町 大字茶花、大字那間、大字古里及び大字麦屋地先	<p>品覆海岸から赤崎までの堡礁内一帯の地区（与論海岸海域公園地区1・2・3号を除く）で、海岸部や与論海岸海域公園地区と併せて海域がその魅力である本公園与論島地域の核心をなし、本公園を代表する景観の一つである。</p> <p>海岸から見た当該地区の海域景観、砂浜を主とする海岸と琉球石灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海浜植生で構成される景観は島内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となつており、海岸部から見た海域景観の保全に留意して風致の維持を図る。</p> <p>また、海中については、与論海岸海域公園地区1・2・3号を含む礁湖内を一つの区域として、かつての美しい海域景観の再生を図っていくこととする。</p>	746
与論海岸 1号	鹿児島県大島郡与論町 大字那間及び大字古里地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けた。しかし、種多様性はまだ残されており回復途上にある。</p> <p>本地区南側は潮通しがよく、礁湖の中ではサンゴの生息状態がよい。</p> <p>大型のハマサンゴ属などのほか、スズメダイ類やニザダイ類などの魚類が見られる。礁湖全域の保全再生に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	96

名称	区 域	地区の概要	面積 (ha)
与論海岸 2号	鹿児島県大島郡与論町 大字那間地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受け、現在は海草が優占しており、ウミガメ等の餌場となる場所もある。</p> <p>サンゴ群集においては、ユビエダハマサンゴや塊状ハマサンゴが優占し、一部にはロッポウハナガササンゴ等も観察される。礁湖内全域に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	5
与論海岸 3号	鹿児島県大島郡与論町 大字麦屋地先	<p>堡礁内は全体に白砂の海底でかつては枝状ミドリイシ群落が見られたが、平成10年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けたが、種多様性はまだ残されており回復途上にある。本地區北側は潮通しがよく、礁湖内の中では稚サンゴの加入率が高い。</p> <p>塊状ハマサンゴや枝状のユビエダハマサンゴが優占し、スズメダイ類などの魚類が見られる。礁湖全域の保全再生に留意しつつ必要に応じてサンゴをはじめとする海域の再生を図っていくものとする。</p>	64
合 計			1,124

ウ 関連事項

(ア) 捕獲等規制動物及び区域

海城公園地区において、捕獲若しくは殺傷又は採取する動物及びその区域を次のとおりとする

(表 12 : 捕獲等規制動物及び区域表)

海域公園地区名	区域	区域の概要	面積 (ha)	捕獲等規制動物
笠利半島東海岸 海域公園地区	奄美市笠利町 大字用地先	用集落の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面ではミドリイシ 属が優占しているが、アオサンゴなども見られ種数も多い。潮流が 早く土砂流出等内陸からの影響は受けにくい。礁池内は、平成 10 年 の白化現象により優占していた枝状ミドリイシ群集は壊滅したが、 塊状ハマサンゴ、キクメイシ類、ミドリイシ属の小群体や卓状ミド リイシも見られる。 現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境 として良好な場所である。	65	表 12 別表のと おり
摺子崎海域公園 地区	奄美市名瀬 大字小宿地先	摺子崎の地先海域の礁池内及び礁斜面で、礁斜面では平成 10 年の 白化現象による影響はあるものの回復傾向にあり、卓状ミドリイシ が優占している。礁池内ではマイクロアートールを形成するハマサン ゴやハナガササンゴの小群体等を見ることができる。 現在は、白化現象等による影響を受けているがサンゴの生息環境 として良好な場所である。	79	表 12 別表のと おり

名称	区域	区域の概要		面積 (ha)	捕獲等規制 動植物
大島海峡 1 号、 2 号及び 3 号海 域公園地区	大島郡瀬戸内町 大字美久、大字芝、 大字武名及び大字三 浦の各地先	大島海峡の外縁部から内部に散在する海域公園地区群で、外洋性 と内湾性のサンゴが見られる。一部は平成 13 年及び平成 14 年のオ ニヒトデ大量発生により壊滅的打撃を受けたが、回復傾向が見られ る。塊状及び枝状ハマサンゴ群集やハマシコロサンゴ群集、卓状ミ ドリイシのほか、ナンヨウキサンゴやリュウキュウイソハナなどが 良好な状態で残されており、サンゴの生息環境として良好な場所で ある。		69	表 12 別表のと おり
与論島礁湖海域 公園地区	大島郡与論町 大字茶花、大字那聞、 大字古里及び大字麦 屋の各地先	品覆海岸から赤崎までの堡礁内一帯の地区（与論海岸海域公園地 区 1・2・3 号を除く）で、海岸部や与論海岸海域公園地区と併せ て海域がその魅力である本公園与論島地域の核心をなし、本公園を 代表する景観の一つである。 海岸から見た当該地区の海域景観、砂浜を主とする海岸と琉球石 灰岩の岩礁及び隆起珊瑚礁植生等の海浜植生で構成される景観は島 内部の農村景観と隔絶された貴重な自然景観となっており、海中に ついては、与論海岸海域公園地区 1・2・3 号を含む礁湖内を一つ の区域として、かつての美しい海域景観の再生を図っていくことと する。		746	表 12 別表のと おり

名称	区域	区域の概要		面積 (ha)	捕獲等規制 動植物
与論海岸 1 号、 2 号及び 3 号海 域公園地区	大島郡与論町 大字那間、大字古里 及び大字麦屋の各地 先	堡礁内に散在する海域公園地区群で、平成 10 年の大規模な白化現象などで大きな被害を受けたが、種多様性はまだ残されており回復途上にある。また、ロッポウハナガサンゴが優占する特異なサンゴ群集も見られ礁湖内でも珍しい海域を含む。 礁湖内海域の動植物の生息地・生育地の核として保全・再生を図る。		165	表 12 別表のと おり

(表 12 別表：捕獲等規制動植物表)

対象捕獲等規制区域名	捕獲等規制動植物名
笠利半島東海岸公園地区	<p>◆ 魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (イハラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアソコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チヨヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガントテンイシヨウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバシヨウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カシムリヨウジ)、<i>Histrio histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalus</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquecinctus</i> (ヤライイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライイシモチ)、<i>Fowleria isostigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (マトシボリ)、<i>Apogon unicolor</i> (ハナイシモチ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon frenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウワイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトシジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularis</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カヌミハタタテダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チヨウハシ)、<i>Chaetodon singularis</i> (シマハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウヨウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウヨウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチヨウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イツテシヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チヨウハシ)、<i>Chaetodon punctatofasciatus</i> (シチセントヨウウオ)、<i>Chaetodon argenteatus</i> (カガミヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon</i></p>

<i>vagabundus</i> (フライチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon lunulatus</i> (ミスジチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon lineolatus</i> (ニセフライチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon ornatissimus</i> (ハナグロチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon rafflesii</i> (スダレチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon auripes</i> (アケボノチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon kleinii</i> (ミゾレチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon daedalma</i> (エウゼン)、 <i>Pomacanthus citrinellus</i> (ゴマチョウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon xanthurus</i> (アミメチヨウチヨウウオ)、 <i>Chaetodon citrinellus</i> (サザナミヤッコ)、 <i>Pomacanthus imperator</i> (タテジマキンチャクダイ)、 <i>Chaetodontoplus mesoleucus</i> (チリメンチャクダイ)、 <i>Apolenichthys trimaculatus</i> (シテンヤッコ)、 <i>Pygoplites diacanthus</i> (ニシキヤッコ)、 <i>Centropyge heraldi</i> (ヘラルドコガネヤッコ)、 <i>Centropyge tibicen</i> (アブラヤッコ)、 <i>Centropyge bicolor</i> (ツメワケヤッコ)、 <i>Centropyge vrolikii</i> (ナメラヤッコ)、 <i>Genicanthus lamarck</i> (タテジマヤッコ)、 <i>Amphiprion periderion</i> (ハナビラクマノミ)、 <i>Amphiprion frenatus</i> (ハマクマノミ)、 <i>Amphiprion ocellaris</i> (カクレクマノミ)、 <i>Amphiprion clarkii</i> (クマノミ)、 <i>Chromis flavomaculatus</i> (ホシヌズメダイ)、 <i>Chromis chrysurus</i> (アマミヌズメダイ)、 <i>Amphiprion frenatus</i> (ハマクマノミ)、 <i>Chromis xanthurus</i> (モソヌズメダイ)、 <i>Chromis albicauda</i> (コガネヌズメダイ)、 <i>Dascyllus trimaculatus</i> (ミツボシクロスズメダイ)、 <i>Dascyllus reticulatus</i> (フタスジリュウキュウスズメダイ)、 <i>Dascyllus aruanus</i> (ミスジリュウキュウスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon lacrymatus</i> (フレホシスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon dickii</i> (イシガキスズメダイ)、 <i>Pomachromis richardsoni</i> (オキナワスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon imparipennis</i> (イワサキスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon leucozonus</i> (ハクセンスズメダイ)、 <i>Abudefdup notatus</i> (イソスズメダイ)、 <i>Abudefdup septemfasciatus</i> (シセソスズメダイ)、 <i>Chrysiptera rex</i> (レモンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera cyanea</i> (ルリスズメダイ)、 <i>Chrysiptera unimacula</i> (イチモンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera bicellata</i> (スジズメダイ)、 <i>Chrysiptera brownriggii</i> (ミヤコキセンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera glauca</i> (ネズスズメダイ)、 <i>Amblyglyphidodon curacao</i> (クカラオスズメダイ)、 <i>Neoglyphidodon melas</i> (クロスズメダイ)、 <i>Neoglyphidodon nigroris</i> (ヒレナガスズメダイ)、 <i>Pomacentrus coelensis</i> (ソラスズメダイ)、 <i>Pomacentrus moluccensis</i> (ネッタイスズメダイ)、 <i>Stegastes nigricans</i> (クロソラスズメダイ)、 <i>Goniistius zonatus</i> (タカノハダイ)、 <i>Goniistius zebra</i>

(ミギマキ)、 <i>Pseudodax moluccanus</i> (ブダイベラ)、 <i>Choerodon fasciatus</i> (シチセンベラ)、 <i>Bodianus oxycephalus</i> (キツネダイ)、 <i>Bodianus bilunulatus</i> (キツネベラ)、 <i>Anamps geographicus</i> (ムシベラ)、 <i>Anamps meleagrides</i> (ホクトベラ)、 <i>Anamps twistii</i> (ホシススキベラ)、 <i>Anamps caeruleopunctatus</i> (ブチススキベラ)、 <i>Cheilio inermis</i> (カマスペラ)、 <i>Gomphosus varius</i> (クギベラ)、 <i>Hemigymnus melapterus</i> (タレクチベラ)、 <i>Hemigymnus fasciatus</i> (シマタレクチベラ)、 <i>Labroides bicolor</i> (ソメワケベラ)、 <i>Labroides dimidiatus</i> (ホンソメワケベラ)、 <i>Pteragogus aurigarius</i> (オハグロベラ)、 <i>Stethojulis maculata</i> (スミツキカミナリベラ)、 <i>Stethojulis trilineata</i> (オニベラ)、 <i>Stethojulis strigiventer</i> (ハラスジベラ)、 <i>Stethojulis bandanensis</i> (アカオビベラ)、 <i>Stethojulis interrupta terina</i> (カミナリベラ)、 <i>Macropharyngodon meleagris</i> (ノドグロベラ)、 <i>Thalassoma jansenii</i> (ヤンセソニシキベラ)、 <i>Thalassoma hardwicke</i> (セナスジベラ)、 <i>Thalassoma amblycephalum</i> (コガシラベラ)、 <i>Thalassoma quinquevittatum</i> (ハコベラ)、 <i>Thalassoma purpureum</i> (キヌベラ)、 <i>Thalassoma lutescens</i> (ヤマヅキベラ)、 <i>Thalassoma lunare</i> (オトメベラ)、 <i>Thalassoma cupido</i> (ニシキベラ)、 <i>Halichoeres hortulanus</i> (トカラベラ)、 <i>Halichoeres scapularis</i> (セイテンベラ)、 <i>Halichoeres trimaculatus</i> (ミツボシキユウセソ)、 <i>Halichoeres tenuispinis</i> (ホンベラ)、 <i>Halichoeres melanochir</i> (ムナテンベラ)、 <i>Halichoeres marginatus</i> (カノユコベラ)、 <i>Halichoeres orientalis</i> (ツキベラ)、 <i>Halichoeres marginatus</i> (アカニジベラ)、 <i>Halichoeres nebulosus</i> (イナズマベラ)、 <i>Pseudocoris yamashiroi</i> (ヤマシロベラ)、 <i>Coris gaimard</i> (ツユベラ)、 <i>Coris picta</i> (ムスマベラ)、 <i>Hologymnosus annulatus</i> (ナメラベラ)、 <i>Cirrhitabrus cyanopleura</i> (クロヘリイヒキベラ)、 <i>Epibulus insidiator</i> (ギチベラ)、 <i>Pseudocheilinus hexataenia</i> (ニセモチノウオ)、 <i>Cheilinus chlorourus</i> (アカテンモチノウオ)、 <i>Cheilinus trilobatus</i> (ミツハモチノウオ)、 <i>Oxycheilinus unifasciatus</i> (ヒトスジモチノウオ)、 <i>Oxycheilinus bimaculatus</i> (タコベラ)、 <i>Novaculichthys taeniourus</i> (オビテンスモドキ)、 <i>Zanclus cornutus</i> (ツノダシ)、 <i>Zebrasoma veliferum</i> (ヒレナガハギ)、 <i>Zebrasoma flavescens</i> (キイロハギ)、 <i>Paracanththurus hepatus</i> (ナショウハギ)、 <i>Acanthurus triostegus</i> (シマハギ)、 <i>Acanthurus nigricans</i> (メガネクロハギ)、 <i>Acanthurus olivaceus</i> (モモンツキハギ)、 <i>Bostrychus sinensis</i> (ジヤノメハゼ)、 <i>Xenisththus clarus</i> (ヤナギハゼ)、 <i>Oplopomus oplopomus</i> (ケショウハゼ)、 <i>Gobiopsis arenaria</i> (イサゴハゼ)、

<p><i>Callogobius okinawae</i> (オキナワハゼ)、<i>Callogobius hasseltii</i> (オキナワハゼ)、<i>Callogobius tanegasimae</i> (タネ ハゼ)、<i>Asterropteryx semipunctata</i> (ホシハゼ)、<i>Gnatholepis cauerensis</i> (カタボシオオモソハゼ)、<i>Gnatholepis anjerensis</i> (オオモンハゼ)、<i>Amblygobius hectori</i> (キンセンハゼ)、<i>Amblygobius phalaena</i> (サラサハゼ)、 <i>Gobiodon okinawae</i> (キロサンゴハゼ)、<i>Gobiodon rivulatus</i> (タスジコバンハゼ)、<i>Gobiodon quinquestrigatus</i> (フタイロサンゴハゼ)、<i>Gobiodon oculolineatus</i> (タマドリコバンハゼ)、<i>Gobiodon unicolor</i> (タジコバンハゼ)、 <i>Bryaninops natans</i> (アカメハゼ)、<i>Pleuroscyia mossambica</i> (セボシウミタケハゼ)、<i>Pleuroscyia muscara</i> (ツ ミタケハゼ)、<i>Macrodontogobius wilburi</i> (マダラハゼ)、<i>Tridentiger trigonocephalus</i> (アカオビシマハゼ)、 <i>Bathygobius petrophilus</i> (シジミハゼ)、<i>Bathygobius fuscus</i> (クモハゼ)、<i>Bathygobius coalitus</i> (クロヤハズ ハゼ)、<i>Bathygobius cocomensis</i> (スジクモハゼ)、<i>Bathygobius cyclopterus</i> (ヤハズハゼ)、<i>Bathygobius cotticeps</i> (クサビハゼ)、<i>Rhinogobius giurinus</i> (ゴ克拉クハゼ)、<i>Cabillus tongarevae</i> (ヨリメハゼ)、<i>Favonigobius gymnauchen</i> (ヒメハゼ)、<i>Istigobius ornatus</i> (カザリハゼ)、<i>Istigobius campbelli</i> (クワハゼ)、<i>Cryptocentrus sericus</i> (フタボンタカノハゼ)、<i>Vanderhorstia phaeosticta</i> (ヤツシハゼ)、<i>Ctenogobius croceus</i> (ホホス ジシノビハゼ)、<i>Ctenogobius pomastictus</i> (シノビハゼ)、<i>Amblyeleotris diagonalis</i> (ハチワキダテハゼ)、<i>Amblyeleotris steinitzi</i> (ヒメダテハゼ)、<i>Paragobiodon lacunicolus</i> (ハシダルマハゼ)、<i>Paragobiodon modestus</i> (ヨゴレダルマハゼ)、<i>Paragobiodon melanosomus</i> (クロダルマハゼ)、<i>Paragobiodon xanthosomus</i> (アカネ ルマハゼ)、<i>Paragobiodon echinocephalus</i> (ダルマハゼ)、<i>Valenciennea longipinnis</i> (サザナミハゼ)、 <i>Valenciennea puellaris</i> (オトメハゼ)、<i>Valenciennea striata</i> (アカハチハゼ)、<i>Fusigobius duospilus</i> (セホシサンカク ハゼ)、<i>Fusigobius gracilis</i> (セスジサンカクハゼ)、<i>Fusigobius neophytus</i> (サンカクハゼ)、<i>Priolepis borea</i> (ミ サキスジハゼ)、<i>Priolepis semidoliata</i> (イレズミハゼ)、<i>Priolepis inhaca</i> (アミメベンケイハゼ)、<i>Priolepis cincta</i> (ベニケイハゼ)、<i>Eviota nigritrnis</i> (ツメワケイソハゼ)、<i>Eviota prasites</i> (アオイソハゼ)、<i>Eviota shimadai</i> (ハナグロイソハゼ)、<i>Eviota toshiyuki</i> (ミドリハゼ)、<i>Eviota prasina</i> (ナショウミドリハゼ)、<i>Eviota smaragdus</i> (クロホシイソハゼ)、<i>Eviota melasma</i> (アカホシイソハゼ)、<i>Eviota korechika</i> (シボリイソハゼ)、<i>Eviota</i></p>
--

<p><i>queenslandica</i> (ホシレイソハゼ)、<i>Eviota japonica</i> (ミナミイソハゼ)、<i>Eviota abax</i> (イソハゼ)、<i>Parioglossus dotui</i> (サツキハゼ)、<i>Ptereleotris hanae</i> (ハナハゼ)、<i>Ptereleotris evides</i> (クロユリハゼ)、<i>Cirripectes polyzona</i> (ミノカエルウオ)、<i>Istiblennius enosimae</i> (カエルウオ)、<i>Blenniella caudolineata</i> (アオテンギンボ)、<i>Salarias fasciatus</i> (ヤエヤマギンボ)、<i>Ecsenius bicolor</i> (フタイロカエルウオ)、<i>Ecsenius yaeyamaensis</i> (イシガキカエルウオ)、<i>Meiacanthus attrodorsalis</i> (オウゴンニジギンボ)、<i>Meiacanthus grammistes</i> (ヒゲニジギンボ)、<i>Meiacanthus kamoharai</i> (カモハラギンボ)、<i>Pterois lunulata</i> (ミノカサゴ)、<i>Balistapus undulatus</i> (クマドリ)、<i>Pseudobalistes flavimarginatus</i> (キヘリモンガラ)、<i>Rhinecanthus aculeatus</i> (ムラサメモンガラ)、<i>Xanthichthys mento</i> (ナメモンガラ)、<i>Oxymonacanthus longirostris</i> (テングカラハギ)</p>	<p>◆ 棘皮動物 <i>Certonardoa semiregularis</i> (アカヒトデ)、<i>Toxopneustes pileolus</i> (ラッハピュニ)、<i>Colobocentrotus mertensii</i> (ジンガサウニ)、<i>Heterocentrotus mammillatus</i> (ハイブウニ)</p> <p>◆ 刺胞動物 <i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミヅタ科) 全種、<i>Xeniidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミトサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属) 全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisididae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ムチヤギ科) 全種、<i>Primnoidae</i> (オオキンヤギ科) 全種、<i>Isididae</i> (トクササンゴ科) 全種、<i>Veretillidae</i> (ウミサボテン科) 全種、<i>Echinoptilidae</i> (トゲウミサボテン科) 全種、<i>Kophobellennidae</i> (コンボウウミサボテン科) 全種、<i>Funiculinidae</i> (ムチウミサボテン科) 全種、<i>Virgulariidae</i> (ヤナギウミエラ科) 全種、<i>Pteroeididae</i> (トゲウミエラ科) 全種、<i>Discosomatidae</i> (イソギンチャクモドキ科) 全種、<i>Actiniidae</i> (ウメボシイソギンチャク)</p>
--	---

<p>科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thaliassianthidae (ケトイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophelliidae (イソフェリア科) 全種、Hormathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タジマイソギンチャク科) 全種、Stylocoeniella (ムカシサソゴ属) 全種、Pocillopora (ハナヤサイサンゴ属) 全種、Seriatopora (トゲサンゴ属) 全種、Stylophora (ショウガサンゴ属) 全種、Acropora (ミドリイシ属) 全種、Astreopora (アナサンゴ属) 全種、Montipora (コモンサンゴ属) 全種、Alveopora (アワサンゴ属) 全種、Goniopora (ハナガササンゴ属) 全種、Porites (ハマサンゴ属) 全種、Coscimarea (ヤスリサンゴ属) 全種、Psammocora (アミメサンゴ属) 全種、Coeloseris (ヨロンキクメイシ属) 全種、Leptoseris (センベイサンゴ属) 全種、Pachyseris (リュウモンサンゴ属) 全種、Pavona (シコロサンゴ属) 全種、Gardineroseris (ヒラフキサンゴ属) 全種、Ctenactis (トゲクサビライシ属) 全種、Cycloseris (マンジュウイシ属) 全種、Fungia (クサビライシ属) 全種、Herpolitha (キエウリイシ属) 全種、Lithophyllon (カワラサンゴ属) 全種、Podabacia (ヤエヤマカララサンゴ属) 全種、Polyphyllia (シナマコ属) 全種、Sandalolitha (ヘルメットイシ属) 全種、Galaxea (アザミサンゴ属) 全種、Echinophyllia (キッカサンゴ属) 全種、Mycedium (ヴスカミサンゴ属) 全種、Oxypora (アナキッカサンゴ属) 全種、Physophyllia (ウミバラ属) 全種、Acanthastrea (オオトゲキクメイシ属) 全種、Australomussa (ヒラサンゴ属) 全種、Blastomussa (タバサンゴ属) 全種、Cynarina (コハナガタサンゴ属) 全種、Lobophyllia (ハナガタサンゴ属) 全種、Micromussa (コオオトゲキクメイシ属) 全種、Symphyllia (ダイノウサンゴ属) 全種、Hydnophora (イボサンゴ属) 全種、Merulina (サザナミサンゴ属) 全種、Scapophyllia (オオサザナミサンゴ属) 全種、Barabattoia (バラバットサンゴ属) 全種、Cyphastrea (トゲキクメイシ属) 全種、Favia (キクメイシ属) 全種、Favites (カメノコキクメイシ属) 全種、Echinopora (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、Goniastrea (コカメノコキクメイシ属) 全種、Leptastrea (ハリサンゴ属) 全種、Leptoria (ナガレサンゴ属) 全種、Montastrea (マルキクメイシ属) 全種、Oulastrea (キクメイシモドキ属) 全種、Oulophyllia (オオナガレサンゴ属) 全種、Platygyra (ノウサンゴ属) 全種、Plesiastrea (コマルキクメイシ属) 全種、Euphyllia (ナガレハナサンゴ属)</p>
--

摺子崎海域公園地区	<p>◆魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンベイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (アハラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアンコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チゴヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガントテンイシヨウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバシヨウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カシムリヨウジ)、<i>Histrio histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalis</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquefasciatus</i> (ヤラマトイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライシモチ)、<i>Fowleria isostigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (マトシンボリ)、<i>Cheilodipterus variabilis</i> (マタタキ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon frenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトテンジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularius</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カヌミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウヨウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウヨウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミツキチヨウヨウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イッテンシヨウヨウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チヨウハシ)、<i>Chaetodon</i></p>
-----------	--

<p><i>punctatofasciatus</i> (シチセントチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon argentatus</i> (カガミチヨウウオ)、<i>Chaetodon vagabundus</i> (フウライチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon lunulatus</i> (ミスジチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon lineolatus</i> (ニセフウライチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon ornatus</i> (ハナグロチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon ulietensis</i> (スダレチヨウチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon melanotus</i> (アケボノチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon rafflesii</i> (アミチヨウチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon auripes</i> (チヨウチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon kleinii</i> (ミゾレチヨウチヨウチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon xanthurus</i> (アミメチヨウチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon citrinellus</i> (ゴマチヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon daedalma</i> (ユゼン)、<i>Pomacanthus semicirculatus</i> (サザナミヤッコ)、<i>Pomacanthus imperator</i> (タテジマキンチャクダイ)、<i>Chaetodontoplus mesoleucus</i> (チリメンヤッコ)、<i>Apolemichthys trimaculatus</i> (三テンヤッコ)、<i>Pygoplites dracanthus</i> (ニシキヤッコ)、<i>Centropyge heraldi</i> (ヘラルドコガネヤッコ)、<i>Genicanthus tibicens</i> (アブランヤッコ)、<i>Centropyge bicolor</i> (ソメワケヤッコ)、<i>Centropyge vrolikii</i> (ナメラヤッコ)、<i>Centropyge lamarck</i> (タテジマヤッコ)、<i>Amphiprion perideraion</i> (ハナビラクマノミ)、<i>Amphiprion frenatus</i> (ハマクマノミ)、<i>Amphiprion ocellaris</i> (カタラクマノミ)、<i>Amphiprion clarkii</i> (クマノミ)、<i>Chromis flavomaculatus</i> (ホシヌズメダイ)、<i>Chromis chrysourus</i> (アマミスズメダイ)、<i>Chromis viridis</i> (デバヌスズメダイ)、<i>Chromis xanthurus</i> (モンスズメダイ)、<i>Chromis albicauda</i> (コガネスズメダイ)、<i>Dascyllus trimaculatus</i> (ミツボシクロスズメダイ)、<i>Dascyllus reticulatus</i> (フタヌジリュウキュウスズメダイ)、<i>Dascyllus aruanus</i> (ミスジリュウキュウスズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon lacrymatus</i> (レリホシスズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon dickii</i> (イシガキスズメダイ)、<i>Pomachromis richardsoni</i> (オキナワスズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon imparipennis</i> (イワサキスズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon leucozonus</i> (ハクセンスズメダイ)、<i>Abudedefduf notatus</i> (イソスズメダイ)、<i>Abudedefduf septemfasciatus</i> (シチセナスズメダイ)、<i>Chrysiptera rex</i> (レモソスズメダイ)、<i>Chrysiptera cyanea</i> (ルリスズメダイ)、<i>Chrysiptera unimaculata</i> (イチモンスズメダイ)、<i>Chrysiptera bicellata</i> (スジブチスズメダイ)、<i>Chrysiptera brownriggii</i> (ミヤコキセンスズメダイ)、<i>Chrysiptera glauca</i> (ネズスズメダイ)、<i>Amblyglyphidodon curacao</i> (クラカオスズメダイ)、<i>Neoglyphidodon melas</i> (クロスズメダイ)、<i>Neoglyphidodon nigroris</i> (ヒレナガスズメダイ)、<i>Pomacentrus coelestis</i> (ソラスズメダイ)、<i>Pomacentrus moluccensis</i> (ネッタ</p>
--

	<p>イスズメダイ)、<i>Stegastes nigricans</i>(クロソラスズメダイ)、<i>Goniistius zonatus</i>(タカノハダイ)、<i>Goniistius zebra</i>(ミギマキ)、<i>Pseudodax moluccanus</i>(ブダイベラ)、<i>Choerodon fasciatus</i>(シチセンベラ)、<i>Bodianus oxycephalus</i>(キツネダイ)、<i>Bodianus bilunatus</i>(キツネベラ)、<i>Anampses geographicus</i>(ムシベラ)、<i>Anampses meleagrides</i>(ホクトベラ)、<i>Anampses twistii</i>(ホシススキベラ)、<i>Anampses caeruleopunctatus</i>(ブチススキベラ)、<i>Cheilio inermis</i>(カマスベラ)、<i>Gomphosus varius</i>(クギベラ)、<i>Hemigymnus melapterus</i>(タレクチベラ)、<i>Hemigymnus fasciatus</i>(シマタレクチベラ)、<i>Labroides bicolor</i>(ツメワケベラ)、<i>Labroides dimidiatus</i>(ホンソメワケベラ)、<i>Pteragogus aurigarius</i>(オハグロベラ)、<i>Stethojulis maculata</i>(スミツキカミナリベラ)、<i>Stethojulis trilineata</i>(オニベラ)、<i>Stethojulis strigiventer</i>(ハラスジベラ)、<i>Stethojulis bandanensis</i>(アカオビベラ)、<i>Stethojulis interrupta terina</i>(カミナリベラ)、<i>Macropharyngodon meleagris</i>(ノドグロベラ)、<i>Thalassoma jansenii</i>(ヤンセンニシキベラ)、<i>Thalassoma hardwicke</i>(セナスジベラ)、<i>Thalassoma amblycephalum</i>(コガシラベラ)、<i>Thalassoma quinquevittatum</i>(ハユベラ)、<i>Thalassoma purpureum</i>(キヌベラ)、<i>Thalassoma lutescens</i>(ヤマブキベラ)、<i>Thalassoma lunare</i>(オトメベラ)、<i>Thalassoma cupido</i>(ニシキベラ)、<i>Halichoeres hortulanus</i>(トカラベラ)、<i>Halichoeres scapularis</i>(セイテンベラ)、<i>Halichoeres trimaculatus</i>(ミツボシキュウセン)、<i>Halichoeres tenuispinis</i>(ホンベラ)、<i>Halichoeres melanochir</i>(ムナデシベラ)、<i>Halichoeres marginatus</i>(カノコベラ)、<i>Halichoeres orientalis</i>(ツキベラ)、<i>Halichoeres margaritaceus</i>(アカニジベラ)、<i>Halichoeres nebulosus</i>(アナズマベラ)、<i>Pseudocoris yamashiroi</i>(ヤマシロベラ)、<i>Coris gaimard</i>(ツユベラ)、<i>Coris picta</i>(ムスメベラ)、<i>Hologymnosus annulatus</i>(ナメラベラ)、<i>Cirrhitabrus cyanopleura</i>(クロヘリイトイキベラ)、<i>Epibulus insidiator</i>(ギチベラ)、<i>Pseudocheilinus hexataenia</i>(ニセモチノウオ)、<i>Cheilinus chlorourus</i>(アカテンモチノウオ)、<i>Cheilinus trilobatus</i>(ミツバモチノウオ)、<i>Oxycheilinus unifasciatus</i>(ヒトスジモチノウオ)、<i>Oxycheilinus bimaculatus</i>(タユベラ)、<i>Novaculichthys taeniourus</i>(オビテンスマドキ)、<i>Zanclus cornutus</i>(ツノダシ)、<i>Zebrasoma veliferum</i>(ヒレナガハギ)、<i>Zebrasoma flavescens</i>(キイロハギ)、<i>Paracanththurus hepatus</i>(ナショウハギ)、<i>Acanthurus triostegus</i>(シマハギ)、<i>Acanthurus nigricans</i>(メガネクロハギ)、<i>Acanthurus olivaceus</i>(モンツキハギ)、<i>Bostrychus sinensis</i>(ジヤノメハゼ)、</p>
--	--

Xenisththus clarus (ヤナギハゼ)、 <i>Oplopomus oplopomus</i> (ケショウハゼ)、 <i>Gobiopsis arenaria</i> (イサゴハゼ)、 <i>Callogobius okinawae</i> (ナメラハゼ)、 <i>Callogobius hasseltii</i> (オキナワハゼ)、 <i>Callogobius tanegasimae</i> (タネハゼ)、 <i>Asterropteryx semipunctata</i> (ホシナハゼ)、 <i>Gnatholepis cauerensis</i> (カタボシオオモンハゼ)、 <i>Gnatholepis anjerensis</i> (オオモンハゼ)、 <i>Amblygobius hectori</i> (キシセソハゼ)、 <i>Amblygobius phalaena</i> (サラサハゼ)、 <i>Gobiodon okinawae</i> (キイロサソゴハゼ)、 <i>Gobiodon rivulatus</i> (タヌジコバシソハゼ)、 <i>Gobiodon quinquestrigatus</i> (フタイロサンゴハゼ)、 <i>Gobiodon oculolineatus</i> (クマドリコバシソハゼ)、 <i>Gobiodon unicolor</i> (ムジコバシソハゼ)、 <i>Bryaninops natans</i> (アカメハゼ)、 <i>Pleuroscyra mossambica</i> (セボシウミタケハゼ)、 <i>Pleuroscyra muscara</i> (ウミタケハゼ)、 <i>Macrodontogobius wilburi</i> (マダラハゼ)、 <i>Tridentiger trigonocephalus</i> (アカオビシマハゼ)、 <i>Bathygobius petrophilus</i> (シジミハゼ)、 <i>Bathygobius fuscus</i> (クモハゼ)、 <i>Bathygobius coalitus</i> (クロヤハズハゼ)、 <i>Bathygobius cocosensis</i> (スジクモハゼ)、 <i>Bathygobius cyclopterus</i> (ヤハズハゼ)、 <i>Bathygobius cotticeps</i> (クサビハゼ)、 <i>Rhinogobius giurinus</i> (ゴクリハゼ)、 <i>Cabillus tongarevae</i> (ヨリメハゼ)、 <i>Favonigobius gymnauchen</i> (ヒメハゼ)、 <i>Istigobius ornatus</i> (カザリハゼ)、 <i>Istigobius campbelli</i> (ツツワハゼ)、 <i>Cryptocentrus sericus</i> (フタホシタカノハゼ)、 <i>Vanderhorstia phaeosticta</i> (ヤツシソハゼ)、 <i>Ctenogobius croceus</i> (ホホスジシノビハゼ)、 <i>Ctenogobius pomastictus</i> (シノビハゼ)、 <i>Amblyeleotris diagonalis</i> (ハチマキダテハゼ)、 <i>Amblyeleotris steinitzi</i> (ヒメダテハゼ)、 <i>Paragobiodon lacunicolus</i> (ハエンダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon modestus</i> (ヨゴレダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon melanosomus</i> (クロダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon xanthosomus</i> (アカネダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon echinocephalus</i> (ダルマハゼ)、 <i>Valenciennea longipinnis</i> (サザナミハゼ)、 <i>Valenciennea pueraria</i> (オトメハゼ)、 <i>Valenciennea strigata</i> (アカハチハゼ)、 <i>Fusigobius duospilus</i> (セホシサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius humeralis</i> (カタボシサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius neophytus</i> (サンカクハゼ)、 <i>Priolepis borea</i> (ミサキスジハゼ)、 <i>Priolepis semidoliata</i> (イレズミハゼ)、 <i>Priolepis inhaca</i> (アミメンケイハゼ)、 <i>Priolepis cincta</i> (ベンケイハゼ)、 <i>Eviota nigriventris</i> (ソメワケイソハゼ)、 <i>Eviota prasites</i> (アオイソハゼ)、 <i>Eviota shimadai</i> (ハナグロイソハゼ)、 <i>Eviota toshiyuki</i> (ミドリハゼ)、 <i>Eviota prasina</i> (ナシヨウミドリハゼ)、 <i>Eviota smaragdus</i>

<p>(クロホシソノハゼ)、<i>Eviota melasma</i> (アカホシソノハゼ)、<i>Eviota korechika</i> (シボリイソノハゼ)、<i>Eviota queenslandica</i> (ホシヒレイソノハゼ)、<i>Eviota japonica</i> (ミナミイソノハゼ)、<i>Eviota abax</i> (イソノハゼ)、<i>Parioglossus dotui</i> (サツキノハゼ)、<i>Ptereleotris evides</i> (クロユリノハゼ)、<i>Cirripectes polyzona</i> (ミノカエルウオ)、<i>Istiblennius enosimae</i> (カエルウオ)、<i>Blenniella caudolineata</i> (アオテングンボ)、<i>Salarias fasciatus</i> (ヤエヤマギンボ)、<i>Ecsenius bicolor</i> (フタイロカエルウオ)、<i>Ecsenius yaeyamaensis</i> (イシガキカエルウオ)、<i>Meiacanthus atrodorsalis</i> (オウゴンニジギンボ)、<i>Meiacanthus grammistes</i> (ヒゲニジギンボ)、<i>Meiacanthus kamoharai</i> (カモハラギンボ)、<i>Pterois lunulata</i> (ミノカサゴ)、<i>Balistapus undulatus</i> (クマドリ)、<i>Pseudobalistes flavimarginatus</i> (キヘリモンガラ)、<i>Rhinecanthus aculeatus</i> (ムラサメモンガラ)、<i>Xanthichthys mento</i> (ナメモンガラ)、<i>Oxymonacanthus longirostris</i> (テングカラワハギ)</p>	<p>◆棘皮動物 <i>Certomardoa semiregularis</i> (アカヒトテ)、<i>Toxopneustes pileolus</i> (ヲッパウニ)、<i>Colobocentrotus mertensii</i> (ジンガサウニ)、<i>Heterocentrotus mammillatus</i> (ハイブウニ)</p>	<p>◆刺胞動物 <i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミヅタ科) 全種、<i>Xenidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミミツサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミツサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツツサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属) 全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Meliithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisidae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ムチヤギ科) 全種、<i>Primnoidae</i> (オオキンヤギ科) 全種、<i>Isididae</i> (トクササンゴ科) 全種、<i>Veretillidae</i> (ウミサボテン科) 全種、<i>Echinoptilidae</i> (トゲウミサボテン科) 全種、<i>Kophobelemnidae</i> (コンボウミサボテン科) 全種、<i>Funiculinidae</i> (ムチウミサボテン科) 全種、<i>Virgulariidae</i> (ヤナギウミエラ科) 全種、<i>Pteroeididae</i> (ト</p>
---	--	---

<p>ゲウミエラ科 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケトイツイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymantidae (ニチリソイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophelliidae (ソフェリア科) 全種、Hormathiidae (クビカザリソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナガナワソイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、Stylocoeniella (ムカシサンゴ属) 全種、Pocillopora (ハナヤサイサンゴ属) 全種、Seriatopora (トゲサンゴ属) 全種、Stylophora (ショウガサンゴ属) 全種、Acropora (ミドリイシ属) 全種、Astreopora (アナサンゴ属) 全種、Montipora (コモンサンゴ属) 全種、Alveopora (アワサンゴ属) 全種、Goniopora (ハナガササンゴ属) 全種、Porites (ハマサンゴ属) 全種、Coscinarea (ヤスリサンゴ属) 全種、Psammocora (アミメサンゴ属) 全種、Coeloseris (ヨロンキクメイシ属) 全種、Leptoseris (センベイサンゴ属) 全種、Pachyseris (リュウモンサンゴ属) 全種、Pavona (シコロサンゴ属) 全種、Gardineroseris (ヒラフキサンゴ属) 全種、Ctenactis (トゲクサビライシ属) 全種、Cycloseris (マソジエウイシ属) 全種、Fungia (クサビライシ属) 全種、Herpolitha (キユウリイシ属) 全種、Lithophyllum (カララサンゴ属) 全種、Podabacia (ヤエヤマカララサンゴ属) 全種、Polyphyllia (イシナマコ属) 全種、Sandalolitha (ヘルメットイシ属) 全種、Galaxea (アザミサンゴ属) 全種、Echinophyllia (キッカサンゴ属) 全種、Mycedium (ウスカミサンゴ属) 全種、Oxypora (アナキッカサンゴ属) 全種、Physophyllia (ウミバラ属) 全種、Acanthastrea (オオトゲキクメイシ属) 全種、Australomussa (ヒラサンゴ属) 全種、Blastomussa (タバサンゴ属) 全種、Cynarina (コハナガタサンゴ属) 全種、Lobophyllia (ハナガタサンゴ属) 全種、Micromussa (コオオトゲキクメイシ属) 全種、Symphyllia (ダイノウサンゴ属) 全種、Hydnophora (イボサンゴ属) 全種、Merulina (サザナミサンゴ属) 全種、Scapophyllia (オオサザナミサンゴ属) 全種、Barabattoia (バラバットサンゴ属) 全種、Cyphastrea (トゲキクメイシ属) 全種、Favia (キクメイシ属) 全種、Favites (カメノコキクメイシ属) 全種、Echinopora (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、Goniastrea (コカメノコキクメイシ属) 全種、Leptastrea (レリサンゴ属) 全種、Leptoria (ナガレサンゴ属) 全種、Montastrea (マルキクメイシ属) 全種、Oulastrea (キクメイシモドキ属) 全種、Oulophyllia (オオナガレサンゴ属) 全種、</p>
--

公園地区	<p><i>Platygyra</i> (ノウサンゴ属) 全種、<i>Plesiastrea</i> (コマルキクメイシ属) 全種、<i>Euphyllia</i> (ナガレハナサンゴ属) 全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種</p> <p>◆魚類</p> <p><i>Rhinomuraena quaesita</i> (ハナヒゲウツボ)、<i>Plotosus japonicus</i> (ゴンズイ)、<i>Hippocampus histrix</i> (イハラタツ)、<i>Antennarius striatus</i> (カエルアンコウ)、<i>Choeroichthys sculptus</i> (チゴヨウジ)、<i>Hippichthys (Parasyngnathus) penicillus</i> (ガントテンイショウウジ)、<i>Doryrhamphus (Doryrhamphus) excisus excisus</i> (ヒバショウウジ)、<i>Micrognathus andersonii</i> (カシムリヨウジ)、<i>Histro histrio</i> (ハナオコゼ)、<i>Pseudanthias squamipinnis</i> (キンギョハナダイ)、<i>Pseudanthias elongatus</i> (ナガハナダイ)、<i>Pseudanthias pascalus</i> (ハナゴイ)、<i>Cheilodipterus quinquelineatus</i> (ヤライイシモチ)、<i>Cheilodipterus macrodon</i> (リュウキュウヤライイシモチ)、<i>Fowleria isotigma</i> (ナハマトイシモチ)、<i>Fowleria variegata</i> (シボリ)、<i>Apogonichthys ocellatus</i> (シボリ)、<i>Apogon unicolor</i> (ハナイシモチ)、<i>Apogon exostigma</i> (ユカタイシモチ)、<i>Apogon frenatus</i> (ヒトスジイシモチ)、<i>Apogon indicus</i> (リュウキュウイシモチ)、<i>Apogon coccineus</i> (コミナトシジクダイ)、<i>Apogon novemfasciatus</i> (タスジイシモチ)、<i>Apogon nigrofasciatus</i> (ミナミフトスジイシモチ)、<i>Apogon properuptus</i> (キンセンイシモチ)、<i>Apogon doederleini</i> (オオスジイシモチ)、<i>Apogon endekataenia</i> (コスジイシモチ)、<i>Apogon notatus</i> (クロホシイシモチ)、<i>Nectamia bandanensis</i> (バンダイシモチ)、<i>Gymnapogon japonicus</i> (クダリボウズギス)、<i>Microcanthus strigatus</i> (カゴカキダイ)、<i>Heniochus varius</i> (ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i> (ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i> (オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularis</i> (シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i> (ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i> (フエヤッコダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i> (カヌミハタタテダイ)、<i>Chaetodon trifascialis</i> (ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i> (スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i> (トゲチョウウチヨウウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i> (セグロチョウウチヨウウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i> (ウミヅキチヨウウチヨウウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i> (イツテ</p>
------	---

<p>ンチヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon speculum</i> (トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i> (チヨウハシ)、<i>Chaetodon punctatusciatus</i> (シチセントショウウオ)、<i>Chaetodon argentatus</i> (カガミミチヨウウオ)、<i>Chaetodon vagabundus</i> (フウライチヨウウオ)、<i>Chaetodon lunulatus</i> (ミスジチヨウウオ)、<i>Chaetodon lineolatus</i> (ニセフウライチヨウウオ)、<i>Chaetodon ornatissimus</i> (ハナグロチヨウウオ)、<i>Chaetodon ulietensis</i> (スダレチヨウウオ)、<i>Chaetodon melanotus</i> (アケボノチヨウウオ)、<i>Chaetodon rafflesii</i> (アミチヨウウオ)、<i>Chaetodon auripes</i> (チヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon kleinii</i> (ミゾレチヨウチヨウウオ)、<i>Chaetodon xanthurus</i> (アミメチヨウウオ)、<i>Chaetodon citrinellus</i> (ゴマチョウウオ)、<i>Chaetodon daedalma</i> (ユウゼン)、<i>Pomacanthus semicirculatus</i> (サザナミヤシコ)、<i>Pomacanthus imperator</i> (タテジマキンチャクダイ)、<i>Chaetodontoplus mesoleucus</i> (チリメンヤシコ)、<i>Apolemichthys trimaculatus</i> (三テンヤシコ)、<i>Pygoplites diacanthus</i> (ニシキヤシコ)、<i>Centropyge heraldi</i> (ヘラルドコガネヤシコ)、<i>Centropyge tibicens</i> (アブラヤシコ)、<i>Centropyge bicolor</i> (ツメワケヤシコ)、<i>Centropyge vrolikii</i> (ナメラヤシコ)、<i>Genicanthus lamarck</i> (タテジマヤシコ)、<i>Amphiprion periderion</i> (ハナビラクマノミ)、<i>Amphiprion ocellaris</i> (カクレクマノミ)、<i>Chromis viridis</i> (デバスマズメダイ)、<i>Chromis albicauda</i> (ユガネスズメダイ)、<i>Dascyllus reticulatus</i> (タスジリュウキュウスズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon dickii</i> (イシガキスズメダイ)、<i>Pomachromis richardsoni</i> (オキナワスマズメダイ)、<i>Plectroglyphidodon imparipennis</i> (イワサキスズメダイ)、<i>Chrysiptera rex</i> (レモンズズメダイ)、<i>Chrysiptera cyanea</i> (レリスズメダイ)、<i>Chrysiptera unimaculata</i> (イチモンズズメダイ)、<i>Chrysiptera biocellata</i> (スジブチスズメダイ)、<i>Chrysiptera brownriggii</i> (ミヤコキセンスズメダイ)、<i>Chrysiptera glauca</i> (ホズスズメダイ)、<i>Pomacentrus coelostis</i> (ソラスズメダイ)、<i>Pomacentrus moluccensis</i> (ネッタイズメダイ)、<i>Goniistius zonatus</i> (タカノハダイ)、<i>Goniistius zebra</i> (ミギマキ)、<i>Pseudodax moluccanus</i> (ブダイベラ)、<i>Choerodon fasciatus</i> (シチセントベラ)、<i>Anampseseographicus</i> (ムシベラ)、<i>Anampseseleagrides</i> (ホクトベラ)、<i>Anampsese twistii</i> (ホシススキベラ)、<i>Anampseseaeruleopunctatus</i> (ブチススキベラ)、<i>Gomphosus varius</i> (クギベラ)、<i>Hemigymnus fasciatus</i> (シマタレクチベラ)、<i>Labroides bicolor</i> (ツメワケベラ)、<i>Labroides dimidiatus</i> (ホンソメワケベラ)、<i>Pteragogus aurigarius</i> (オハグロベラ)、<i>Stethojulis maculata</i> (スミツキカ</p>
--

	<p>ミナリベラ)、<i>Stethojulis trilineata</i> (オニベラ)、<i>Stethojulis strigiventer</i> (ハラスジベラ)、<i>Stethojulis bandanensis</i> (アカオビベラ)、<i>Stethojulis interrupta terina</i> (カミナリベラ)、<i>Macropharyngodon meleagris</i> (ノドグロベラ)、<i>Thalassoma jansenii</i> (ヤンセンニシキベラ)、<i>Thalassoma hardwicke</i> (セナスジベラ)、<i>Thalassoma ambycephalum</i> (コガシラベラ)、<i>Thalassoma quinquevittatum</i> (ハコベラ)、<i>Thalassoma purpureum</i> (キヌベラ)、<i>Thalassoma lutescens</i> (ヤマブキベラ)、<i>Thalassoma lunare</i> (オトメベラ)、<i>Thalassoma cupido</i> (ニシキベラ)、<i>Halichoeres hortulanus</i> (トカラベラ)、<i>Halichoeres scapularis</i> (セイテンベラ)、<i>Halichoeres trimaculatus</i> (ミツボシキユウセン)、<i>Halichoeres tenuispinis</i> (ホンベラ)、<i>Halichoeres melanochir</i> (ムナテンベラ)、<i>Halichoeres marginatus</i> (カノコベラ)、<i>Halichoeres orientalis</i> (ツキベラ)、<i>Halichoeres margaritaceus</i> (アカニジベラ)、<i>Halichoeres nebulosus</i> (イナズマベラ)、<i>Pseudocoris yamashiroi</i> (ヤマシロベラ)、<i>Coris picta</i> (ムスメベラ)、<i>Cirrhilabrus cyanopleura</i> (クロヘリイトヒキベラ)、<i>Pseudocoris yamashiroi</i> (ヤマシロチベラ)、<i>Pseudocheilinus hexataenia</i>(ニセモチノウオ)、<i>Cheilinus trilobatus</i>(ミツバモチノウオ)、<i>Oxycheilinus bimaculatus</i> (タコベラ)、<i>Novaculichthys taeniourus</i> (オビテンヌモドキ)、<i>Zanclus cornutus</i> (ツノダラ)、<i>Zebrasoma veliferum</i> (ヒレナガハギ)、<i>Zebrasoma flavescens</i> (キロハギ)、<i>Paracanththurus hepatus</i> (ナンヨウウハギ)、<i>Acanthurus nigricans</i> (メガネクロハギ)、<i>Acanthurus olivaceus</i> (モンツキハギ)、<i>Bostrychus sinensis</i>(ジャノメハゼ)、<i>Xenisthmus clarus</i>(ヤナギハゼ)、<i>Oplopomus oplopomus</i>(ケショウハゼ)、<i>Gobiopsis arenaria</i> (イサゴハゼ)、<i>Callogobius okinawae</i> (ナメラハゼ)、<i>Callogobius hasseltii</i> (オキナワハゼ)、<i>Callogobius tanegasimae</i> (タネハゼ)、<i>Asterropteryx semipunctata</i> (ホシハゼ)、<i>Gnatholepis cauerensis</i> (カタボシオオモソハゼ)、<i>Gnatholepis anjerensis</i> (オオモソハゼ)、<i>Amblygobius hectori</i> (キンセンハゼ)、<i>Amblygobius phalaena</i> (サラサハゼ)、<i>Gobiodon okinawae</i> (キロサンゴハゼ)、<i>Gobiodon rivulatus</i> (タスジコバンハゼ)、<i>Gobiodon quinquestrigatus</i> (フタイロサンゴハゼ)、<i>Gobiodon oculolineatus</i> (クマドリコバンハゼ)、<i>Gobiodon unicolor</i> (ムジコバンハゼ)、<i>Bryaniops natans</i> (アカメハゼ)、<i>Pleuroscyra mossambica</i> (セボシウミタケハゼ)、<i>Pleuroscyra muscara</i> (ウミタケハゼ)、<i>Macrodonogobius wilburi</i> (マダラハゼ)、<i>Tridentiger trigonocephalus</i> (アカオビシマハゼ)、<i>Bathygobius petrophilus</i> (シジミハゼ)、<i>Bathygobius fuscus</i></p>
--	--

(クモハゼ)、 <i>Bathygobius coalitus</i> (クロヤハズハゼ)、 <i>Bathygobius cocosensis</i> (スジクモハゼ)、 <i>Bathygobius cyclopterus</i> (ヤハズハゼ)、 <i>Bathygobius cotticeps</i> (クサビハゼ)、 <i>Rhinogobius giurinus</i> (ゴクリカハゼ)、 <i>Cabillus tongarevae</i> (ヨリメハゼ)、 <i>Favonigobius gymnauchen</i> (ヒメハゼ)、 <i>Istigobius ornatus</i> (カザリハゼ)、 <i>Istigobius campbelli</i> (クツワハゼ)、 <i>Cryptocentrus sericus</i> (フタホシタカノハハゼ)、 <i>Vanderhorstia phaeosticta</i> (ヤツシハゼ)、 <i>Ctenogobius crocinus</i> (ホホスジシノビハゼ)、 <i>Ctenogobius pomastictus</i> (シノビハゼ)、 <i>Amblyeleotris diagonalis</i> (ハチマキダテハゼ)、 <i>Amblyeleotris steinitzi</i> (ヒメダテハゼ)、 <i>Paragobiodon lacunicolus</i> (ハシナダダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon modestus</i> (ヨゴレダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon melanosomus</i> (クロダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon xanthosomus</i> (アカネダルマハゼ)、 <i>Paragobiodon echinocephalus</i> (ダルマハゼ)、 <i>Valenciennea longipinnis</i> (サザナミハゼ)、 <i>Valenciennea puellaris</i> (オトメハゼ)、 <i>Valenciennea strigata</i> (アカハチハゼ)、 <i>Fusigobius inframaculatus</i> (ハタタテサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius humeralis</i> (カタボシサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius duospilus</i> (セホシサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius gracilis</i> (セスジサンカクハゼ)、 <i>Fusigobius neophytus</i> (サンカクハゼ)、 <i>Priolepis borea</i> (ミサキスジハゼ)、 <i>Priolepis semidolata</i> (イレズミハゼ)、 <i>Priolepis inaca</i> (アミメベンケイハゼ)、 <i>Priolepis cincta</i> (ベニケイハゼ)、 <i>Eviota nigriventralis</i> (ソメワケイソハゼ)、 <i>Eviota prasites</i> (アオイソハゼ)、 <i>Eviota shimadai</i> (ハナグロイソハゼ)、 <i>Eviota toshiyuki</i> (ミドリハゼ)、 <i>Eviota prasina</i> (ナンヨウミドリハゼ)、 <i>Eviota smaragdus</i> (クロホシイソハゼ)、 <i>Eviota melasma</i> (アカホシイソハゼ)、 <i>Eviota korechika</i> (シボリイソハゼ)、 <i>Eviota queenslandica</i> (ホシヒレイソハゼ)、 <i>Eviota japonica</i> (ミナミイソハゼ)、 <i>Eviota abax</i> (イソハゼ)、 <i>Parioglossus dotui</i> (サツキハゼ)、 <i>Ptereleotris hanae</i> (ハナハゼ)、 <i>Ptereleotris evides</i> (クロユリハゼ)、 <i>Cirripectes polyzona</i> (ミノカエルウオ)、 <i>Istiblennius enosimae</i> (カエルウオ)、 <i>Blenniella caudolineata</i> (アオテングンボ)、 <i>Salaria fasciatus</i> (ヤエヤマギンボ)、 <i>Ecsenius bicolor</i> (フタイロカエルウオ)、 <i>Ecsenius yaeyamaensis</i> (イシガキカエルウオ)、 <i>Meiacanthus atrodorsalis</i> (オウゴンニジギンボ)、 <i>Meiacanthus grammistes</i> (ヒゲニジギンボ)、 <i>Meiacanthus kamoharai</i> (カモハラギンボ)、 <i>Ostracion cubicum</i> (ミナミハコフグ)、 <i>Lactoria cornuta</i> (コソゴウフグ)、 <i>Arothron nigropunctatus</i> (コクテンフグ)、 <i>Canthigaster valentini</i> (シマキンチャクフグ)、 <i>Chilomycterus reticulatus</i> (シガキフグ)

<p>◆ 棘皮動物</p> <p><i>Certonardoa semiregularis</i> (アカヒトデ)、<i>Toxopneustes pileolus</i> (ラッハビュニ)、<i>Colobocentrotus mertensii</i> (ジンガサウニ)、<i>Heterocentrotus mammillatus</i> (ハイブウニ)</p>	<p>◆ 刺胞動物</p> <p><i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミヅタ科) 全種、<i>Xenidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミトサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属) 全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisidae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ムチヤギ科) 全種、<i>Primnoidae</i> (オオキンチャクモドキ科) 全種、<i>Isididae</i> (トクササンゴ科) 全種、<i>Veretillidae</i> (ウミサボテン科) 全種、<i>Echinoptilidae</i> (トゲウミサボテン科) 全種、<i>Kophobelemniidae</i> (コンボウミサボテン科) 全種、<i>Funiculinidae</i> (ムチウミサボテン科) 全種、<i>Virgulariidae</i> (ヤナギウミエラ科) 全種、<i>Pteroeidiidae</i> (トゲウミエラ科) 全種、<i>Discosomatidae</i> (イソギンチャクモドキ科) 全種、<i>Actiniidae</i> (ウメボシイソギンチャク科) 全種、<i>Boloceroididae</i> (オヨギイソギンチャク科) 全種、<i>Thalassianthidae</i> (ケイトウイソギンチャク科) 全種、<i>Actinodendronidae</i> (ハナブサイソギンチャク科) 全種、<i>Phymantidae</i> (ニチリソイソギンチャク科) 全種、<i>Stichodactylidae</i> (ハタゴイソギンチャク科) 全種、<i>Sagartiidae</i> (ナゲナワインチャク科) 全種、<i>Isophelliidae</i> (イソフェリア科) 全種、<i>Diadumenidae</i> (タテジマイソギンチャク科) 全種、<i>Styloceniella</i> (ムカシサンゴ属) 全種、<i>Pocillopora</i> (ハナヤサイサンゴ属) 全種、<i>Seriatopora</i> (トゲサンゴ属) 全種、<i>Stylophora</i> (ショウガサンゴ属) 全種、<i>Acropora</i> (ミドリイシ属) 全種、<i>Astreopora</i> (アナサンゴ属) 全種、<i>Montipora</i> (コモンサンゴ属) 全種、<i>Alveopora</i> (アワサンゴ属) 全種、<i>Goniopora</i> (ハナガサンゴ属) 全種、<i>Porites</i> (ハマサンゴ属) 全種、<i>Coscinarea</i> (ヤスリサンゴ属) 全種、<i>Psammocora</i> (アミメサンゴ属) 全種、<i>Coeloseris</i> (ヨロンキクメイシ属) 全種、<i>Leptoseris</i> (センベイサンゴ属) 全種、<i>Pachyseris</i></p>
--	--

	<p>(リュウモンサンゴ属)全種、<i>Pavona</i> (シコロサンゴ属)全種、<i>Gardineroseris</i> (ヒラフキサンゴ属)全種、<i>Ctenactis</i> (トゲクサビライシ属)全種、<i>Cycloseris</i> (マントジュウイシ属)全種、<i>Fungia</i> (クサビライシ属)全種、<i>Herpolitha</i> (キュウリイシ属)全種、<i>Lithophyllum</i> (カワラサンゴ属)全種、<i>Podabacia</i> (ヤエヤマカララサンゴ属)全種、<i>Polyphyllia</i> (シナマコ属)全種、<i>Sandalolitha</i> (ヘルメットイシ属)全種、<i>Galaxea</i> (アザミサンゴ属)全種、<i>Echinophyllia</i> (キッカサンゴ属)全種、<i>Mycedium</i> (ウスカミサンゴ属)全種、<i>Oxypora</i> (アナキッカサンゴ属)全種、<i>Physophyllia</i> (ウミバラ属)全種、<i>Acanthastrea</i> (オオトゲキクメイシ属)全種、<i>Australomussa</i> (ヒラサンゴ属)全種、<i>Blastomussa</i> (タバサンゴ属)全種、<i>Cynarina</i> (コハナガタサンゴ属)全種、<i>Lobophyllia</i> (ハナガタサンゴ属)全種、<i>Micromussa</i> (コオオトゲキクメイシ属)全種、<i>Sympyllia</i> (ダイノウサンゴ属)全種、<i>Hydnophora</i> (イボサンゴ属)全種、<i>Merulina</i> (サザナミサンゴ属)全種、<i>Scapophyllia</i> (オオサザナミサンゴ属)全種、<i>Barabattoia</i> (ハラバットサンゴ属)全種、<i>Cyphastrea</i> (トゲキクメイシ属)全種、<i>Favia</i> (キクメイシ属)全種、<i>Favites</i> (カメノコキクメイシ属)全種、<i>Echinopora</i> (リュウキュウキッカサンゴ属)全種、<i>Goniastrea</i> (コカメノコキクメイシ属)全種、<i>Leptastrea</i> (レリサンゴ属)全種、<i>Leptoria</i> (ナガレサンゴ属)全種、<i>Montastrea</i> (マルキメイシ属)全種、<i>Oulastrea</i> (キクメイシモドキ属)全種、<i>Oulophyllia</i> (オオナガレサンゴ属)全種、<i>Platygyra</i> (ノウサンゴ属)全種、<i>Plesiastrea</i> (コマルキクメイシ属)全種、<i>Euphyllia</i> (ナガレハナサンゴ属)全種、<i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属)全種、<i>Turbinaria</i> (スリバチサンゴ属)全種、<i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科)全種、<i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科)全種、<i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科)全種</p>
与論島礁湖海城公園地区	<p>◆刺胞動物</p> <p><i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属)全種、<i>Tubipora</i> (クダササンゴ属)全種、<i>Clavulariidae</i> (クミヅタ科)全種、<i>Xeniidae</i> (ヴミアザミ科)全種、<i>Alcyoniidae</i> (ヴミトサカ科)全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科)全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科)全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属)全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科)全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科)全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科)全種、<i>Parisididae</i> (トクサモドキ科)全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科)全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科)全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科)全種、<i>Ellisellidae</i> (ム</p>

<p>チヤギ科) 全種、Primnoidae (オオキンチャギ科) 全種、Isidae (トクササンゴ科) 全種、Veretillidae (ウミサボテン科) 全種、Echinoptilidae (ムチウミサボテン科) 全種、Kophobelemnidae (コンボウウミサボテン科) 全種、Funiculinidae (トゲウミエラ科) 全種、Discosomatidae (イソギンチャクモドキ科) 全種、Actiniidae (ウメボシイソギンチャク科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thalassianthidae (ケイトウイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymantidae (ニチリンイソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophelliidae (イソフェリア科) 全種、Hormathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タテジマイソギンチャク科) 全種、Stylocoeniella (ムカシサンゴ属) 全種、<i>Pocillopora</i> (ハナヤサイサンゴ属) 全種、<i>Seriatopora</i> (トゲサンゴ属) 全種、<i>Stylophora</i> (ショウガサンゴ属) 全種、<i>Alveopora</i> (アワサンゴ属) 全種、<i>Goniopora</i> (ハナガササンゴ属) 全種、<i>Porites</i> (ハマサンゴ属) 全種、<i>Coscinarea</i> (ヤスリサンゴ属) 全種、<i>Psammocora</i> (アミメサンゴ属) 全種、<i>Coeloseris</i> (ヨロンキクメイシ属) 全種、<i>Leptoseris</i> (センベイサンゴ属) 全種、<i>Pachyseris</i> (リュウモンサンゴ属) 全種、<i>Pavona</i> (シコロサンゴ属) 全種、<i>Gardineroseris</i> (ヒラフキサンゴ属) 全種、<i>Ctenactis</i> (トゲクサビライシ属) 全種、<i>Cycloseris</i> (マンジュウイシ属) 全種、<i>Fungia</i> (クサビライシ属) 全種、<i>Herpolitha</i> (キュウリイシ属) 全種、<i>Lithophyllum</i> (カララサンゴ属) 全種、<i>Podabacia</i> (ヤエヤマカララサンゴ属) 全種、<i>Polyphyllia</i> (イシナマコ属) 全種、<i>Sandolitha</i> (ヘルメットイシ属) 全種、<i>Galaxea</i> (アザミサンゴ属) 全種、<i>Echinophyllia</i> (キッカサンゴ属) 全種、<i>Mycedium</i> (ヴスカミサンゴ属) 全種、<i>Oxypora</i> (アナキッカサンゴ属) 全種、<i>Physophyllia</i> (ウミノバラ属) 全種、<i>Acanthastrea</i> (オオトゲキメイシ属) 全種、<i>Australomussa</i> (ヒラサンゴ属) 全種、<i>Blastomussa</i> (タバサンゴ属) 全種、<i>Cynarina</i> (コハナガタサンゴ属) 全種、<i>Lobophyllia</i> (ハナガタサンゴ属) 全種、<i>Micromussa</i> (コオオトゲキメイシ属) 全種、<i>Sympphyllia</i> (ダイノウサンゴ属) 全種、<i>Hydnophora</i> (イボサンゴ属) 全種、<i>Merulina</i> (サザナミサンゴ属) 全種、<i>Scapophyllia</i> (オオサザナミサンゴ属) 全種、<i>Barabattoia</i> (ベラバットサンゴ属) 全種、<i>Cyphastrea</i> (トゲキメイシ属) 全種、<i>Favia</i> (キクメイ</p>

	<p>シ属) 全種、<i>Favites</i>(カメノコキクメイシ属) 全種、<i>Echinopora</i>(リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、<i>Goniastrea</i>(コカメノコキクメイシ属) 全種、<i>Leptastrea</i>(ハリサンゴ属) 全種、<i>Leptoria</i>(ナガレサンゴ属) 全種、<i>Montastrea</i>(マルキクメイシ属) 全種、<i>Oulastrea</i>(キクメイシモドキ属) 全種、<i>Oulophyllia</i>(オオナガレサンゴ属) 全種、<i>Platygyra</i>(ノウサンゴ属) 全種、<i>Plesiastrea</i>(コマルキクメイシ属) 全種、<i>Euphyllia</i>(ナガレサンゴ属) 全種、<i>Plerogyra</i>(ミズタマサンゴ属) 全種、<i>Turbimaria</i>(スリバチサンゴ属) 全種、<i>Zoanthidae</i>(スナギンチャク科) 全種、<i>Antipathidae</i>(ウミカラマツ科) 全種、<i>Cerianthidae</i>(ハナギンチャク科) 全種</p>
与論海岸1号、2号及び3号海域 公園地区	<p>◆魚類</p> <p><i>Plotosus japonicus</i>(ゴンブイ)、<i>Syngnathidae</i>(ヨウジウオ科) 全種、<i>Apogonidae</i>(テンジクダイ科) 全種、<i>Heniochus varius</i>(ツノハタタテダイ)、<i>Heniochus chrysostomus</i>(ミナミハタタテダイ)、<i>Heniochus monoceros</i>(オニハタタテダイ)、<i>Heniochus singularis</i>(シマハタタテダイ)、<i>Heniochus acuminatus</i>(ハタタテダイ)、<i>Forcipiger flavissimus</i>(フエヤココダイ)、<i>Hemitaurichthys polylepis</i>(カヌミハタタテダイ)、<i>Chaetodon trifascialis</i>(ヤリカタギ)、<i>Chaetodon plebeius</i>(スミツキトノサマダイ)、<i>Chaetodon auriga</i>(トゲチヨウオ)、<i>Chaetodon ephippium</i>(セグロチヨウオウオ)、<i>Chaetodon bennetti</i>(ウミヅキチヨウオウオ)、<i>Chaetodon unimaculatus</i>(イッテンチヨウオウオ)、<i>Chaetodon speculum</i>(トノサマダイ)、<i>Chaetodon lunula</i>(チヨウハン)、<i>Chaetodon punctatofasciatus</i>(シチゼンチヨウオウオ)、<i>Chaetodon argentatus</i>(カガミチヨウオウオ)、<i>Chaetodon vagabundus</i>(フライチヨウオウオ)、<i>Chaetodon lunulatus</i>(ミスジチヨウオウオ)、<i>Chaetodon lineolatus</i>(ニセフウライチヨウオウオ)、<i>Chaetodon ornatus</i>(ハナグロチヨウオウオ)、<i>Chaetodon ulietensis</i>(スダレチヨウオウオ)、<i>Chaetodon melannotus</i>(アケボノチヨウオウオ)、<i>Chaetodon rafflesii</i>(アミチヨウオウオ)、<i>Chaetodon kleinii</i>(ミヅレチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon xanthurus</i>(アミメチヨウオウオ)、<i>Chaetodon citrinellus</i>(オマチヨウチヨウオ)、<i>Chaetodon daedalma</i>(ユウゼン)、<i>Pomacanthidae</i>(キンチャクダイ科) 全種、<i>Amphiprion periderion</i>(ハナビラクマノミ)、<i>Amphiprion ocellaris</i>(カクレクマノミ)、<i>Amphiprion clarkii</i>(クマノミ)、<i>Chromis</i></p>

<i>viridis</i> (デバスズメダイ)、 <i>Chromis xanthurus</i> (モンスズメダイ)、 <i>Dascyllus trimaculatus</i> (ミツボシクロスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon lacrymatus</i> (ルリホシスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon imparipennis</i> (イワサキスズメダイ)、 <i>Pomachromis richardsoni</i> (オキナワスズメダイ)、 <i>Plectroglyphidodon leucozonus</i> (ハクセンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera rex</i> (レモンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera cyanea</i> (ルリスズメダイ)、 <i>Chrysiptera unimaculata</i> (イチモンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera bicellata</i> (スジブチスズメダイ)、 <i>Chrysiptera brownriggii</i> (ミヤコキセンスズメダイ)、 <i>Chrysiptera glauca</i> (ネズスズメダイ)、 <i>Neoglyphidodon nigroris</i> (ヒレナガスズメダイ)、 <i>Pomacentrus chrysurus</i> (オジロスズメダイ)、 <i>Pomacentrus nagasakiensis</i> (ナガサキスズメダイ)、 <i>Stegastes nigricans</i> (クロソラスズメダイ)、 <i>Pseudodax moluccanus</i> (ブタエイペラ)、 <i>Choerodon fasciatus</i> (シチセンペラ)、 <i>Bodianus oxycephalus</i> (キツネザイ)、 <i>Bodianus bilunulatus</i> (キツネペラ)、 <i>Anampseseigraphicus</i> (ムシペラ)、 <i>Anampseseleagrides</i> (ホクトベラ)、 <i>Anampses twistii</i> (ホシヌキペラ)、 <i>Anampses caeruleopunctatus</i> (ブチススキペラ)、 <i>Cheilio inermis</i> (カマスペラ)、 <i>Gomphosus varius</i> (クギペラ)、 <i>Hemigymnus melapterus</i> (タレクチペラ)、 <i>Hemigymnus fasciatus</i> (シマタクチペラ)、 <i>Labroides bicolor</i> (ソメワケペラ)、 <i>Labroides dimidiatus</i> (ホントメワケペラ)、 <i>Pteragogus aurigarius</i> (オハグロペラ)、 <i>Stethojulis maculata</i> (スミツキカミナリペラ)、 <i>Stethojulis trilineata</i> (オニペラ)、 <i>Stethojulis strigiventer</i> (ハラスジペラ)、 <i>Stethojulis bandanensis</i> (アカオビペラ)、 <i>Stethojulis interrupta terina</i> (カミナリペラ)、 <i>Macropharyngodon meleagris</i> (ドグロペラ)、 <i>Thalassoma jansenii</i> (ヤンセンニシキペラ)、 <i>Thalassoma hardwicke</i> (セナスジペラ)、 <i>Thalassoma purpureum</i> (キヌペラ)、 <i>Thalassoma amblycephalum</i> (コガシラベラ)、 <i>Thalassoma quinquevittatum</i> (ハコペラ)、 <i>Thalassoma cupido</i> (ニシキペラ)、 <i>Halichoeres hortulanus</i> (トカラベラ)、 <i>Halichoeres scapularis</i> (セイテンペラ)、 <i>Halichoeres trimaculatus</i> (ミツボシキュウセン)、 <i>Halichoeres tenuispinis</i> (ホンベラ)、 <i>Halichoeres melanochir</i> (ムナテンベラ)、 <i>Halichoeres marginatus</i> (カノコベラ)、 <i>Halichoeres orientalis</i> (ツキベラ)、 <i>Halichoeres margaritaceus</i> (アカニジベラ)、 <i>Halichoeres nebulosus</i> (イナズマベラ)、 <i>Pseudocoris yamashiroi</i> (ヤマシロベラ)、 <i>Coris gaimard</i> (ツユベラ)、 <i>Coris picta</i> (ムスメベラ)、
--

<p><i>Hologymnosus annulatus</i> (ナメラベラ)、<i>Cirrhilabrus cyanopleura</i> (クロヘリイトヒキベラ)、<i>Epibulus insidiator</i> (ギチベラ)、<i>Pseudocheilinus hexataenia</i> (ニセモチノウオ)、<i>Cheilinus chlorourus</i> (アカテンモチノウオ)、<i>Cheilinus trilobatus</i> (ミツバモチノウオ)、<i>Oxycheilinus unifasciatus</i> (ヒトスジモチノウオ)、<i>Oxycheilinus bimaculatus</i> (タコベラ)、<i>Novaculichthys taeniourus</i> (オビテンスマドキ)、<i>Zanclus cornutus</i> (ツノダシ)、<i>Zebrasoma veliferum</i> (ヒレナガハギ)、<i>Paracanththus hepatus</i> (ナシヨウハギ)、<i>Gobiidae</i> (ハゼ科) 全種、<i>Ptereleotris evides</i> (クロユリハゼ)、<i>Blenniidae</i> (ソギンボ科) 全種、<i>Pterois lunulata</i> (ミノカサゴ)、<i>Oxymonacanthus longirostris</i> (テングカラワハギ)、<i>Ostracion cubicum</i> (ミナミハコフグ)、<i>Lactoria cornuta</i> (コノゴウフグ)、<i>Arothron nigropunctatus</i> (コクテンフグ)、<i>Canthigaster valentini</i> (シマキンチャクフグ)</p> <p>◆ 棘皮動物</p> <p><i>Certonardoa semiregularis</i> (アカヒトデ)、<i>Toxopneustes pileolus</i> (ラッハピュニ)、<i>Colobocentrotus mertensii</i> (ジンガサウニ)、<i>Heterocentrotus mammillatus</i> (ハイブウニ)</p> <p>◆ 刺胞動物</p> <p><i>Millepora</i> (アナサンゴモドキ属) 全種、<i>Tubipora</i> (クダサンゴ属) 全種、<i>Clavulariidae</i> (ウミヅタ科) 全種、<i>Xenidae</i> (ウミアザミ科) 全種、<i>Alcyoniidae</i> (ウミトサカ科) 全種、<i>Nephtheidae</i> (チヂミトサカ科) 全種、<i>Nidaliidae</i> (タイマツトサカ科) 全種、<i>Heliopora</i> (アオサンゴ属) 全種、<i>Anthothelidae</i> (ネジレヤギ科) 全種、<i>Subergorgiidae</i> (ヒラヤギ科) 全種、<i>Melithaeidae</i> (イソバナ科) 全種、<i>Parisididae</i> (トクサモドキ科) 全種、<i>Acanthogorgiidae</i> (トゲヤギ科) 全種、<i>Paramuriceidae</i> (フタヤギ科) 全種、<i>Plexauridae</i> (ホソヤギ科) 全種、<i>Ellisellidae</i> (ムチヤギ科) 全種、<i>Primnoidae</i> (オオキンヤギ科) 全種、<i>Isididae</i> (トクササンゴ科) 全種、<i>Veretillidae</i> (ウミサボテン科) 全種、<i>Echinoptilidae</i> (トゲウミサボテン科) 全種、<i>Kophobelemnidae</i> (コンボウミサボテン科) 全種、<i>Funiculinidae</i> (ムチウミサボテン科) 全種、<i>Virgulariidae</i> (ヤナギウミエラ科) 全種、<i>Pteroedidae</i> (トゲウミエラ科) 全種、<i>Discosomatidae</i> (ソギンチャクモドキ科) 全種、<i>Actiniidae</i> (ウメボシソギンチャク</p>
--

<p>科) 全種、Boloceroididae (オヨギイソギンチャク科) 全種、Thaliassianthidae (ケトイイソギンチャク科) 全種、Actinodendronidae (ハナブサイソギンチャク科) 全種、Phymanthidae (ニチリソギンチャク科) 全種、Stichodactylidae (ハタゴイソギンチャク科) 全種、Isophelliidae (イソフェリア科) 全種、Hormathiidae (クビカザリイソギンチャク科) 全種、Sagartiidae (ナゲナワイソギンチャク科) 全種、Diadumenidae (タジマイソギンチャク科) 全種、Stylocoeniella (ムカシサソゴ属) 全種、Pocillopora (ハナヤサイサンゴ属) 全種、Seriatopora (トゲサンゴ属) 全種、Stylophora (ショウガサンゴ属) 全種、Acropora (ミドリイシ属) 全種、Astreopora (アナサンゴ属) 全種、Montipora (コモンサンゴ属) 全種、Alveopora (アワサンゴ属) 全種、Goniopora (ハナガササンゴ属) 全種、Porites (ハマサンゴ属) 全種、Coscimarea (ヤスリサンゴ属) 全種、Psammocora (アミメサンゴ属) 全種、Coeloseris (ヨロンキクメイシ属) 全種、Leptoseris (センベイサンゴ属) 全種、Pachyseris (リュウモンサンゴ属) 全種、Pavona (シコロサンゴ属) 全種、Gardineroseris (ヒラフキサンゴ属) 全種、Ctenactis (トゲクサビライシ属) 全種、Cycloseris (マンジュウイシ属) 全種、Fungia (クサビライシ属) 全種、Herpolitha (キエウリイシ属) 全種、Lithophyllon (カララサンゴ属) 全種、Podabacia (ヤエヤマカララサンゴ属) 全種、Polyphyllia (シナマコ属) 全種、Sandalolitha (ヘルメットイシ属) 全種、Galaxea (アザミサンゴ属) 全種、Echinophyllia (キッカサンゴ属) 全種、Mycedium (ヴスカミサンゴ属) 全種、Oxypora (アナキッカサンゴ属) 全種、Physophyllia (ウミバラ属) 全種、Acanthastrea (オオトゲキクメイシ属) 全種、Australomussa (ヒラサンゴ属) 全種、Blastomussa (タバサンゴ属) 全種、Cynarina (コハナガタサンゴ属) 全種、Lobophyllia (ハナガタサンゴ属) 全種、Micromussa (コオオトゲキクメイシ属) 全種、Symphyllia (ダイノウサンゴ属) 全種、Hydnophora (イボサンゴ属) 全種、Merulina (サザナミサンゴ属) 全種、Scapophyllia (オオサザナミサンゴ属) 全種、Barabattoia (バラバットサンゴ属) 全種、Cyphastrea (トゲキクメイシ属) 全種、Favia (チャメイシ属) 全種、Favites (カメノコキクメイシ属) 全種、Echinopora (リュウキュウキッカサンゴ属) 全種、Goniastrea (コカメノコキクメイシ属) 全種、Leptastrea (ハリサンゴ属) 全種、Leptoria (ナガレサンゴ属) 全種、Montastrea (マルキクメイシ属) 全種、Oulastrea (キクメイシモドキ属) 全種、Oulophyllia (オオナガレサンゴ属) 全種、Platygyra (ノウサンゴ属) 全種、Plesiastrea (コマルキクメイシ属) 全種、Euphyllia (ナガレハナサンゴ属)</p>

	全種、 <i>Plerogyra</i> (ミズタマサンゴ属) 全種、 <i>Turbinaria</i> (シリバチサンゴ属) 全種、 <i>Zoanthidae</i> (スナギンチャク科) 全種、 <i>Antipathidae</i> (ウミカラマツ科) 全種、 <i>Cerianthidae</i> (ハナギンチャク科) 全種
--	---

(イ) 普通地域

普通地域の区域は次のとおりである。

(表 13 : 普通地域表)

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
鹿児島県	奄美市名瀬 大字根瀬部の一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>89</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>84</td></tr> <tr> <td></td><td>5</td></tr> </table>	国	89	公	0	私	0	不	84		5
国	89											
公	0											
私	0											
不	84											
	5											
	奄美市住用町 大字石原、大字神屋、大字西仲間及び大字役勝の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>252</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>3</td></tr> <tr> <td>不</td><td>74</td></tr> <tr> <td></td><td>175</td></tr> </table>	国	252	公	0	私	3	不	74		175
国	252											
公	0											
私	3											
不	74											
	175											
	大島郡瀬戸内町 大字阿室釜、大字嘉徳、大字小名瀬、大字薩川、大字実久、大字芝、大字諸数、大字諸鈍、大字武名及び大字渡連の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>169</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>89</td></tr> <tr> <td></td><td>80</td></tr> </table>	国	169	公	0	私	0	不	89		80
国	169											
公	0											
私	0											
不	89											
	80											
	大島郡龍郷町 大字秋名、大字安木屋場及び大字幾里の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>118</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>11</td></tr> <tr> <td></td><td>107</td></tr> </table>	国	118	公	0	私	0	不	11		107
国	118											
公	0											
私	0											
不	11											
	107											
	奄美大島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>628</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>3</td></tr> <tr> <td>不</td><td>258</td></tr> <tr> <td></td><td>367</td></tr> </table>	国	628	公	0	私	3	不	258		367
国	628											
公	0											
私	3											
不	258											
	367											

都道府県名	区 域	面積 (ha)										
	大島郡喜界町 大字阿伝、大字浦原、大字大朝戸、大字嘉鈍、大字川嶺、大字花良治、大字白水、大字滝川及び大字西目の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>622</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>126</td></tr> <tr> <td>不</td><td>77</td></tr> <tr> <td></td><td>419</td></tr> </table>	国	622	公	0	私	126	不	77		419
国	622											
公	0											
私	126											
不	77											
	419											
	喜界島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>622</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>126</td></tr> <tr> <td>不</td><td>77</td></tr> <tr> <td></td><td>419</td></tr> </table>	国	622	公	0	私	126	不	77		419
国	622											
公	0											
私	126											
不	77											
	419											
	大島郡徳之島町 大字金見の一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>7</td></tr> <tr> <td>公</td><td>0</td></tr> <tr> <td>私</td><td>0</td></tr> <tr> <td>不</td><td>0</td></tr> <tr> <td></td><td>7</td></tr> </table>	国	7	公	0	私	0	不	0		7
国	7											
公	0											
私	0											
不	0											
	7											
	大島郡伊仙町内 国有林鹿児島森林管理署 252 林班の一部 大島郡伊仙町 大字伊仙、大字犬田布、大字面繩、大字検福、大字小島、大字崎原、大字中山、大字馬根及び大字古里の各一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>311</td></tr> <tr> <td>公</td><td>97</td></tr> <tr> <td>私</td><td>6</td></tr> <tr> <td>不</td><td>54</td></tr> <tr> <td></td><td>154</td></tr> </table>	国	311	公	97	私	6	不	54		154
国	311											
公	97											
私	6											
不	54											
	154											
	徳之島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>国</td><td>318</td></tr> <tr> <td>公</td><td>97</td></tr> <tr> <td>私</td><td>6</td></tr> <tr> <td>不</td><td>54</td></tr> <tr> <td></td><td>161</td></tr> </table>	国	318	公	97	私	6	不	54		161
国	318											
公	97											
私	6											
不	54											
	161											

都道府県名	区 域	面積 (ha)												
	大島郡知名町 大字田皆の一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>1</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>1</td></tr> </table>	国	1	公	0	私	0	不	0		1		
国	1													
公	0													
私	0													
不	0													
	1													
	沖永良部島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>1</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>1</td></tr> </table>	国	1	公	0	私	0	不	0		1		
国	1													
公	0													
私	0													
不	0													
	1													
	大島郡与論町 大字麦屋の一部	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>1</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>1</td></tr> </table>	国	1	公	0	私	0	不	0		1		
国	1													
公	0													
私	0													
不	0													
	1													
	与論島小計	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>1</td></tr> <tr><td>公</td><td>0</td></tr> <tr><td>私</td><td>0</td></tr> <tr><td>不</td><td>0</td></tr> <tr><td></td><td>1</td></tr> </table>	国	1	公	0	私	0	不	0		1		
国	1													
公	0													
私	0													
不	0													
	1													
陸域合計		1,570												
陸域公園区域の地先海面の一部		31,958												
合 計		<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td>国</td><td>33,528</td></tr> <tr><td>公</td><td>97</td></tr> <tr><td>私</td><td>135</td></tr> <tr><td>不</td><td>389</td></tr> <tr><td>海</td><td>949</td></tr> <tr><td></td><td>31,958</td></tr> </table>	国	33,528	公	97	私	135	不	389	海	949		31,958
国	33,528													
公	97													
私	135													
不	389													
海	949													
	31,958													

工 面積内訳

(ア) 地域地区別土地所有面積

(表 14 : 地域地区別土地所有面積総括表)

(群島全体)

(単位 : 面積ha、比率%)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				P普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)	
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不				
鹿児島県	土地所有別面積	2,572	1,401	1,186	89	3,729	3,089	2,338	459	1,624	6,211	14,839	1,922	0	193	371	603	97	135	389	949	8,022	11,029	19,123	4,022
	地種区別面積 (比率)	5,248 (12.4)				9,615 (22.8)				24,596 (58.3)				1,167 (2.8)								9ヶ所 1,124	33,082		
	地域地区別面積 (比率)													35,378 (83.8)											
	地域別面積 (比率)													40,626 (96.3)				1,570 (3.7)				42,196 (100.0)		31,958	

(奄美大島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				P普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)	
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種											
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不				
鹿児島県	土地所有別面積	1,199	1,401	1,124	82	2,780	3,044	2,127	165	772	5,782	13,168	1,661	0	169	136	107	0	3	258	367	4,751	10,399	16,813	2,382
	地種区別面積 (比率)	3,806 (11.1)				8,116 (23.6)				21,383 (62.3)				412 (1.2)								5ヶ所 213	23,627		
	地域地区別面積 (比率)																	29,911 (87.1)							
	地域別面積 (比率)													33,717 (98.2)				628 (1.8)				34,345 (100.0)		23,414	

(喜界島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				P普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)		
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種												
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不					
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	0	1	151	108	0	0	0	0	0	0	52	40	0	126	77	419	0	127	280	567
	地種区別面積 (比率)	0 (0.0)				260 (26.7)				0 (0.0)				92 (9.4)								0ヶ所 0.0	1,164	1,164		
	地域地区別面積 (比率)																	352 (36.1)								
	地域別面積 (比率)													352 (36.1)				622 (63.9)				974 (100.0)		1,164		

(徳之島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)	
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種															
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不				
鹿児島県	土地所有別面積	1,373	0	62	7	949	35	58	92	852	254	1,664	211	0	5	63	179	97	6	54	161	3,271	300	1,901	650
	地種区分別面積 (比率)	1,442 (23.6)				1,134 (18.5)				2,981 (48.7)				247 (4.0)				4,362 (71.3)				0ヶ所 0.0			
	地域地区別面積 (比率)																								
	地域別面積 (比率)													5,804 (94.8)				318 (5.2)				6,122 (100.0)		3,423	3,423

(沖永良部島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)			
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種				普通地域 (陸域)									
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不						
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	0	9	1	65	0	175	7	50	0	0	109	216	0	0	0	1	0	184	117	332	
	地種区分別面積 (比率)	0 (0.0)				75 (11.8)				232 (36.7)				325 (51.3)				632 (99.8)				1 (0.2)					
	地域地区別面積 (比率)																										
	地域別面積 (比率)													632 (99.8)				633 (100.0)				2,142	0ヶ所 0.0	2,142			

(与論島)

地域区分		特別地域												普通地域 (陸域)				合計 (陸域)				普通地域 (海域)	海域公園 地区	合計 (海域)			
地種区分		特別保護地区				第1種				第2種				第3種				普通地域 (陸域)									
土地所有別		国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不	国	公	私	不						
鹿児島県	土地所有別面積	0	0	0	0	0	0	1	29	0	0	0	0	0	19	11	61	0	0	0	1	0	19	12	91		
	地種区分別面積 (比率)	0 (0.0)				30 (24.6)				0 (0.0)				91 (74.6)				121 (99.2)				1 (0.8)					
	地域地区別面積 (比率)																										
	地域別面積 (比率)													121 (99.2)				122 (100.0)				1,815	4ヶ所 911.0	2,726			

(表 15 : 地域地区別市町村別面積総括表)

(単位 : ha)

市町村名	地域地区	特別地域					普通地域 (陸域)	合計 (陸域)	普通地域 (海域)	海域公園地区	合計 (海域)
		特保	第1種	第2種	第3種	小計					
鹿児島県	奄美市	奄美市	2,453	3,562	6,514	355	12,884	341	13,225	9ヶ所	
		大和村	407	965	3,699	57	5,128	0	5,128		
		宇検村	153	1,940	2,065	0	4,158	0	4,158		
		瀬戸内町	793	1,610	6,683	0	9,086	169	9,255		
		龍郷町	0	39	2,422	0	2,461	118	2,579		
		喜界町	0	260	0	92	352	622	974		
		徳之島町	781	296	1,936	151	3,164	7	3,171		
		天城町	661	609	907	82	2,259	0	2,259		
		伊仙町	0	229	138	14	381	311	692		
		和泊町	0	52	0	0	52	0	52		
		知名町	0	23	232	325	580	1	581		
		与論町	0	30	0	91	121	1	122		
合計		5,248	9,615	24,596	1,167	40,626	1,570	42,196	31,958	1,124	33,082

3 事業計画
 (1) 施設設計画
 ア 保護施設設計画
 保護施設設計画を次のとおりとする。

(表 16 : 保護施設表)

番号	種類	位置	整備方針
1	自然再生施設	鹿児島県奄美市並びに大島郡大和村、宇検村、瀬戸内町及び龍郷町	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。
2	自然再生施設	鹿児島県大島郡徳之島町、天城町及び伊仙町	若齢照葉樹林等について、高齢照葉樹林への再生・誘導を図る。
3	自然再生施設	鹿児島県大島郡与論町	礁池内について、サンゴ群集等の再生を図る。

イ 利用施設計画

(ア) 集団施設地区

集団施設地区を次のとおりとする。

(表 17 : 集団施設地区表)

番号	名称	区域	計画目標	整備計画区 及び基盤施設	整備方針	面積 (ha)
1	住用	鹿児島県奄美市住用町 大字西中間の一部	<p>本地区は、住用川及び役勝川の河口に発達するマングローブに隣接し、国道 58 号沿線に位置するなど利用拠点としての立地に適している。</p> <p>マングローブや亜熱帯照葉樹林等における自然探勝をはじめとする適正利用を推進する拠点として、一体的な整備を図る。</p>	住用整備計画区	<p>隣接するマングローブの特徴的な景観を維持し、カヌーによる自然探勝など適正な利用を推進するため、博物展示施設を含めた拠点施設を整備する。</p> <p>展望に適した場所には展望施設や園地等を配置するとともに、利用状況等を踏まえ適正な規模の駐車場やトイレ等を確保する。</p> <p>施設の整備に当たっては、周囲の風致景観との調和を図るとともに、ユニバーサルデザインの導入等を推進する。</p>	11.0
面 積 計				国	公	私
				0.0	0.9	0.6
						9.5
						11.0

住用集団施設地区 計画図

仲
間

住
用
町
石
原

住用集団施設地区

道の駅

回り.1

山

2

35

3

4

住用町集団施設地区

1 - 2	道路敷(除)界
2 - 3	小班界
3 - 4	河川(含)界
4 - 1	河川低水敷界

1:5,000

0 50 100 150 200 250 m

- (イ) 単独施設
単独施設を次のとおりとする。
- (表 18 : 単独施設表)

番号	種類	位置	整備方針
1	園地	鹿児島県奄美市笠利町（蒲生崎）	笠利湾や笠利崎の展望や海岸林内の散策のため、展望台や園路を整備する。
2	園地	鹿児島県奄美市笠利町（あやまる岬）	笠利崎からあやまる岬まで連続する裾礁の景観展望や礁池内での自然観察等のために海岸植生の保護に留意して展望台等を整備する。
3	水泳場	鹿児島県奄美市笠利町（崎原海岸）	海水浴利用等のためのトイレ、シャワー等を整備する。
4	園地	鹿児島県奄美市笠利町（土盛海岸）	海水浴等のための駐車場、トイレ、シャワー等を、海鳥の繁殖地の保護に留意して整備する。
5	宿舎	鹿児島県奄美市笠利町（土盛海岸）	土盛海岸をはじめとする奄美大島北部海岸等の公園利用者の宿泊施設としてウミガメの生息に留意して整備する。
6	園地	鹿児島県奄美市笠利町（大瀬海岸）	干潟に飛来する鳥類の観察のためにトイレ、駐車場等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
7	園地	鹿児島県奄美市（大浜）	市街地から最も近い利用拠点としてトイレ、駐車場、休憩所等をウミガメの生息に留意して整備する。
8	野営場	鹿児島県奄美市（大浜）	海水浴利用やディキャンプ利用のために炊事場、野外炉、トイレ等をウミガメの生息に留意して整備する。
9	博物展示施設	鹿児島県奄美市（大浜）	大浜の公園利用者が奄美の海の自然について理解を深めることができるように解説・展示施設をウミガメの生息に留意して整備する。
10	園地	鹿児島県奄美市（金作原）	亜熱帯照葉樹林の景観を体験できるよう園路等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
11	園地	鹿児島県大島郡大和村（福元北）	亜熱帯照葉樹林の広がりを展望できる展望施設等を整備する。
12	園地	鹿児島県大島郡大和村（福元）	湯湾岳をはじめとする周辺の森林や河川等での自然体験利用の拠点施設として、また、手軽に奄美の森林地域の自然にふれあえる施設として動植物の生息・生育環境に留意して整備する。

番号	種類	位置	整備方針
13	野営場	鹿児島県大島郡大和村（福元）	森の中でゆっくりとくつろげる施設として、利用上の安全や動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
14	園地	鹿児島県大島郡宇検村（湯湾岳）	湯湾岳登山の出発地点として、トイレや休憩舎等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
15	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（油井岳）	大島海峡を展望する観点場として、展望台、トイレ等を整備する。
16	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（高知山）	大島海峡を展望する観点場として、展望台、トイレ等を整備する。
17	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町（ホノホシ海岸）	ホノホシ海岸利用者のために駐車場、トイレ、園路等を海岸植生の保護に留意して整備する。
18	宿舎	鹿児島県大島郡瀬戸内町（ヤドリ浜）	奄美大島南部地域等の公園利用者の宿泊施設として整備する。

番号	種類	位置	整備方針
19	水泳場	鹿児島県大島郡瀬戸内町(ヤドリ浜)	海水浴利用等のためのトイレ、シャワー等を整備する。
20	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町加計呂麻島 (安脚場)	大島海峡を展望する観点場として、展望台、園路、トイレ等を整備する。
21	園地	鹿児島県大島郡瀬戸内町加計呂麻島 (待網崎)	大島海峡を展望する観点場として、展望台、園路、トイレ等を整備する。
22	園地	鹿児島県大島郡龍郷町（長雲峰）	園路や笠利湾を展望する展望台等を動植物の生息・生育環境に留意して整備する。
23	博物展示施設	鹿児島県大島郡龍郷町（長雲峰）	畠穂帶照葉樹林の自然等を学ぶことができ、かつ森林地域の利用上の注意事項等の情報提供を行う「奄美の森林利用の玄関口」としての機能を有する施設を整備する。
24	園地	鹿児島県大島郡喜界町(志戸桶海岸)	志戸桶海岸をはじめとする北部海岸地域での公園利用者のためにトイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
25	園地	鹿児島県大島郡喜界町(百之台公園)	段丘斜面、耕作地、集落及び隆起裾礁の海岸が一望できる視点場として、展望台やトイレ等を整備する。
26	園地	鹿児島県大島郡喜界町(荒木海岸)	荒木海岸道路(歩道)の中間地点休憩場所として、トイレ等を整備する。
27	園地	鹿児島県大島郡喜界町(中西公園)	段丘斜面、耕作地、集落及び隆起裾礁の海岸が一望できる視点場として、利用者のために展望台、芝生広場、トイレ等を整備する。
28	園地	鹿児島県大島郡徳之島町(金見崎)	ソテツ群落の探勝や徳之島最北端からの展望を楽しむため、展望台、園路等を整備する。
29	園地	鹿児島県大島郡徳之島町(畦海岸)	海水浴や礁池内での自然観察等のため、駐車場、芝生広場、園路等を整備する。
30	野営場	鹿児島県大島郡徳之島町(畦海岸)	海水浴利用等のために炊事場、野外炉、トイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
31	園地	鹿児島県大島郡天城町（ムシロ瀬）	露出した花崗岩の海岸景観を展望するための園路、トイレ等を整備する。
32	園地	鹿児島県大島郡天城町（犬の門蓋）	周遊観光者が海食崖等の海岸景観を展望するための園路、トイレ等を整備する。
33	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（小原海岸）	周遊観光者が鍾乳洞や海食崖等の景観を展望するための園路、展望台、トイレ等を整備する。
34	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（犬田布岬）	周遊観光者が海食崖等の海岸景観を展望するための展望台、トイレ等を整備する。
35	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（義名山）	徳之島南部の森林地域での自然観察等のため、園路、トイレ等を整備する。
36	園地	鹿児島県大島郡伊仙町（喜念浜）	海水浴や礁池内での自然観察等のため、駐車場、園路等を整備する。
37	野営場	鹿児島県大島郡伊仙町（喜念浜）	海水浴利用等のために炊事場、野外炉、トイレ等を整備する。

番号	種類	位置	整備方針
38	園地	鹿児島県大島郡和泊町（フーチャ）	周遊観光者のため、園路、トイレ等を整備する。
39	園地	鹿児島県大島郡知名町（田皆岬）	周遊観光者のため、園路、トイレ等を整備する。
40	野営場	鹿児島県大島郡知名町（沖泊海岸）	ゆっくりと海水浴や礁池内での自然観察等を楽しむ利用者のため、炊事棟、トイレ、シャワー、広場等を整備する。
41	園地	鹿児島県大島郡知名町（昇龍洞）	鍾乳洞利用者のため、駐車場等を整備する。
42	園地	鹿児島県大島郡知名町（屋子母海岸）	周遊観光者のため、トイレ、東屋等を整備する。
43	園地	鹿児島県大島郡与論町（大金久海岸）	大金久海岸や百合が浜の利用者のため、駐車場、案内所等を整備する。
44	野営場	鹿児島県大島郡与論町（大金久海岸）	与論島の海域利用者等のため、テントサイト（簡易宿泊施設を含む）、トイレ、シャワー等を整備する。

(ウ) 道路

a 車道

車道を次のとおりとする。

(表 19 : 道路 (車道) 表)

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
1	笠利崎線	起点 - 鹿児島県奄美市 (笠利町用・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県奄美市 (笠利崎)	用海岸	奄美大島最北端である笠利崎や用海岸に至るルートとして、海岸部の風致維持に留意して整備・維持管理を図る。
2	大浜海浜公園線	起点 - 鹿児島県奄美市 (名瀬大浜・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県奄美市 (大浜)	大浜海岸	市街地である名瀬から最も近い利用拠点である大浜に至るルートとして、海岸部の風致維持に留意して整備・維持管理を図る。
3	金作原線	起点 - 鹿児島県奄美市 (知名瀬・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県奄美市 (里・国立公園境界)	金作原	森林部の主要な利用拠点である金作原に至るルートとして、動植物の生息・生育環境や自動車利用の適正化に留意して整備・維持管理・運用を図る。
4	朝戸網野子線	起点 - 鹿児島県奄美市 (朝戸・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県奄美市 (住用町和瀬・国立公園境界) 起点 - 鹿児島県奄美市 (住用町見里・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (網野子・国立公園境界)	住用マングローブ	中部の森林地域と南部の森林地域を結ぶルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
5	湯湾新村線	起点 - 鹿児島県奄美市住用町 (国道分岐) 終点 - 鹿児島県大島郡宇検村 (湯湾・国立公園境界)		太平洋側と東シナ海側を結ぶルートとして、路側帯からの展望景観、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
6	福元線	起点 - 鹿児島県大島郡大和村 (大棚・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県大島郡大和村 (福元)	小川岳	利用拠点である奄美フォレストポリスに至るルートとして、路傍からの展望、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
7	大棚湯湾線	起点 - 鹿児島県大島郡大和村 (大棚・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県大島郡大和村 (大棚・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県大島郡宇検村 (湯湾岳登山口) 終点 - 鹿児島県大島郡宇検村 (湯湾・国立公園境界)	湯湾岳	森林部の利用拠点である湯湾岳に至るルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
8	篠川下福線	起点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (県道 85 号分岐) 終点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (篠川・国立公園境界)		中南部の森林地域と大島海峡地域を結ぶルートとして、希少な動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
9	油井岳高知山線	起点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (地蔵峠・国立公園境界) 終点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (高知山) 終点 - 鹿児島県大島郡瀬戸内町 (油井岳)	油井岳、高知山	大島海峡の主要な視点場である油井岳及び高知山に至るルートとして路側帯の視点場からの展望に留意して整備・維持管理を図る。

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
10	奄美自然観察の森 線	起点－鹿児島県大島郡龍郷町（瀬留・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡龍郷町（奄美自然観察の森） 起点－鹿児島県大島郡龍郷町（嘉渡・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡龍郷町（久場・長雲峠十字分岐点）	奄美自然観察の森	奄美自然観察の森に至るルートとして、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。
11	百之台線	起点－鹿児島県大島郡喜界町（川嶺・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（滝川・国立公園境界） 起点－鹿児島県大島郡喜界町（花良治・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（中西公園分岐点）	百之台	百之台段丘斜面上の展望台等の利用拠点や夫婦ガジュマルをはじめとする興味地点へ至るルートとして、視点場からの展望に留意して整備・維持管理を図る。

b 歩道

歩道を次のとおりとする。

(表 20 : 道路 (歩道) 表)

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
1	金作原線	起点－鹿児島県奄美市（知名瀬林道終点） 終点－鹿児島県奄美市（金作原）	金作原国有林	奄美大島中南部の亜熱帯照葉樹林の核心部を通過するルートで、亜熱帯照葉樹林の景観を堪能できる歩道として、動植物の生息・生育環境に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
2	宮古崎線	起点－鹿児島県大島郡大和村（国直・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡大和村（宮古崎）		国直集落から宮古崎に至る歩道として、宮古崎のササ原の景観等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
3	湯湾岳登山線	起点－鹿児島県大島郡宇検村（登山口） 終点－鹿児島県大島郡大和村宇検村（湯湾岳山頂） 終点－鹿児島県大島郡大和村（登山口）	湯湾岳	奄美大島の森林地域の核心部の一つである湯湾岳登山のための歩道として、奄美大島の森林地域の自然を堪能・学習できるよう、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：登山道等】
4	荒木海岸線	起点－鹿児島県大島郡喜界町（中里） 終点－鹿児島県大島郡喜界町（荒木集落・国立公園境界）	荒木海岸	荒木海岸の隆起珊瑚礁原と後背植生地を通る歩道として、喜界島の海岸の地形や植生の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：探勝歩道】
5	松原線	起点－鹿児島県大島郡天城町（登山口・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡天城町（天城岳山腹）		徳之島の森林地域の核心部の一つである天城岳山腹を探勝するための歩道として、徳之島の森林地域の自然を堪能・学習できるよう、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。 【歩道分類：登山道】
6	三京線	起点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林入口） 終点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林）		オキナワウラジロガシ等で構成される高齢の亜熱帯照葉樹林を探勝する歩道として、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。【歩道分類：探勝歩道】
7	林道三京線	起点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林・国立公園境界） 終点－鹿児島県大島郡天城町（三京国有林）		ガイド同伴による自然観察等を行うための歩道として、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。【歩道分類：探勝歩道】

番号	路線名	区間	主要 経過地	整備方針
8	林道剥岳線	起点－鹿児島県大島郡天城町（剥岳東詰） 終点－鹿児島県大島郡天城町（剥岳西詰）		ガイド同伴による自然観察等を行うための歩道として、動植物の生息・生育環境の保護等に留意して整備・維持管理を図る。【歩道分類：探勝歩道】

4 参考事項

(1) 過去の経緯

ア 公園区域

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の指定（環境省告示第 12 号）

イ 保護規制計画

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の公園計画の決定（環境省告示第 13 号）

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の特別地域の指定（環境省告示第 14 号）

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の特別保護地区の指定（環境省告示第 15 号）

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の海域公園地区の指定（環境省告示第 16 号）

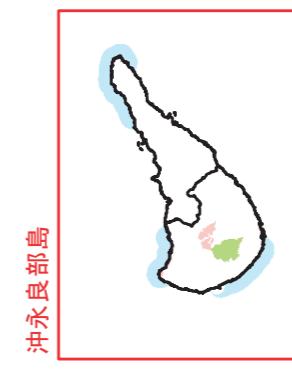
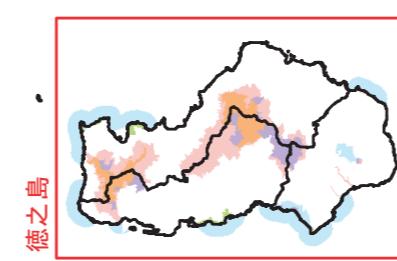
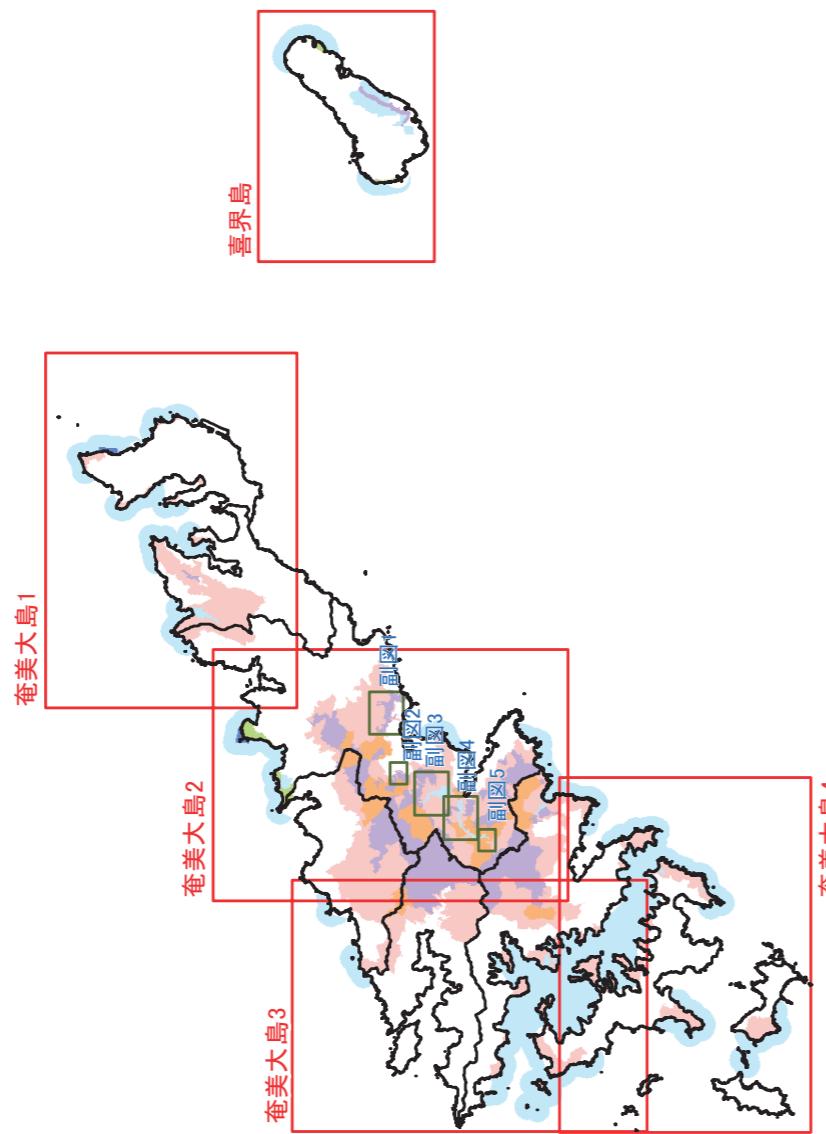
ウ 利用施設計画

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の公園計画の決定（環境省告示第 13 号）

平成 29 年 3 月 7 日 奄美群島国立公園の集団施設地区の指定（環境省告示第 17 号）

奄美群島国立公園区域及び公園計画図位置図

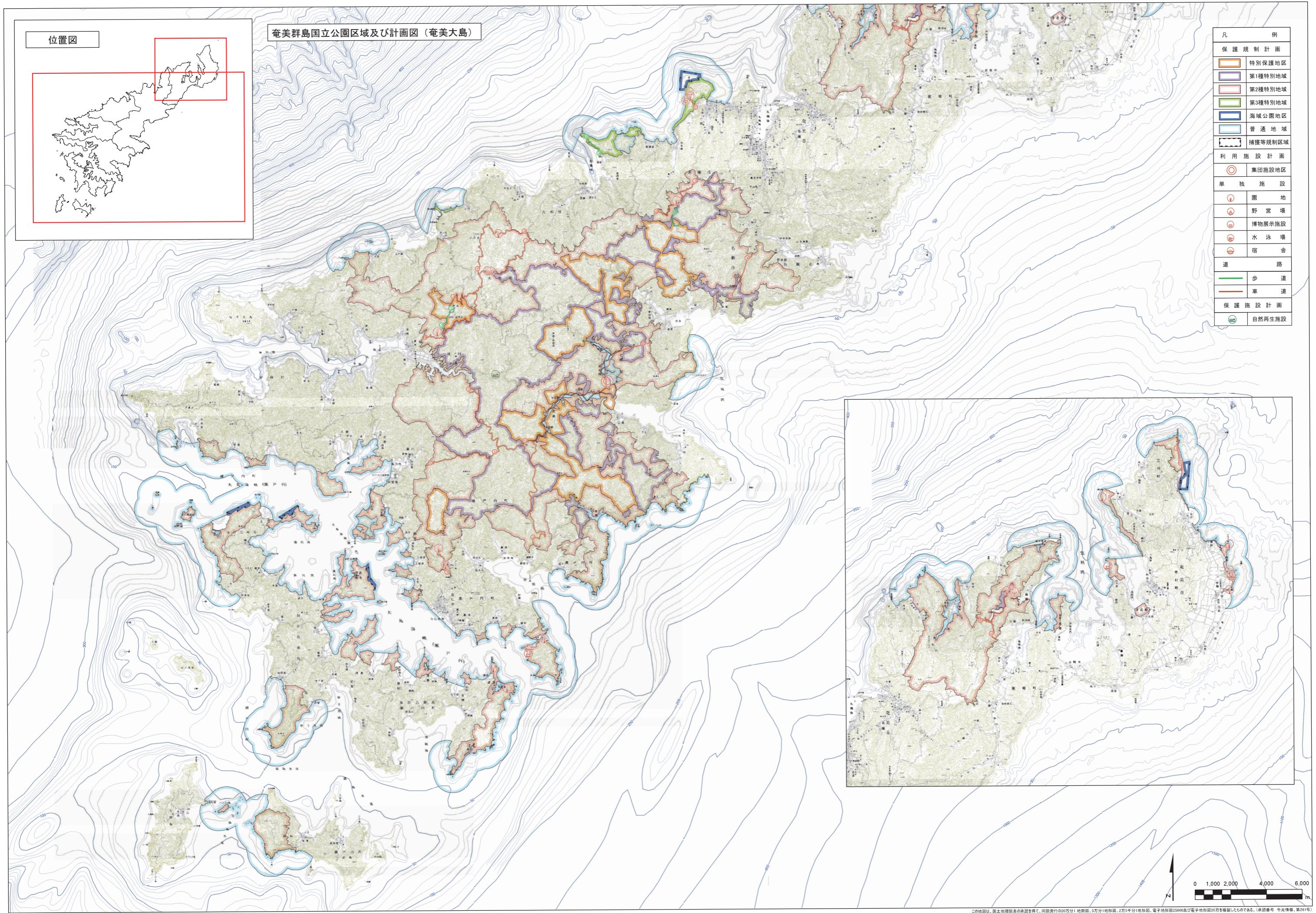
凡 例	保 護 規 制 計 画
	特別保護地区
	第1種特別地域
	第2種特別地域
	第3種特別地域
	海域公園地区
	普通地域



喜界島

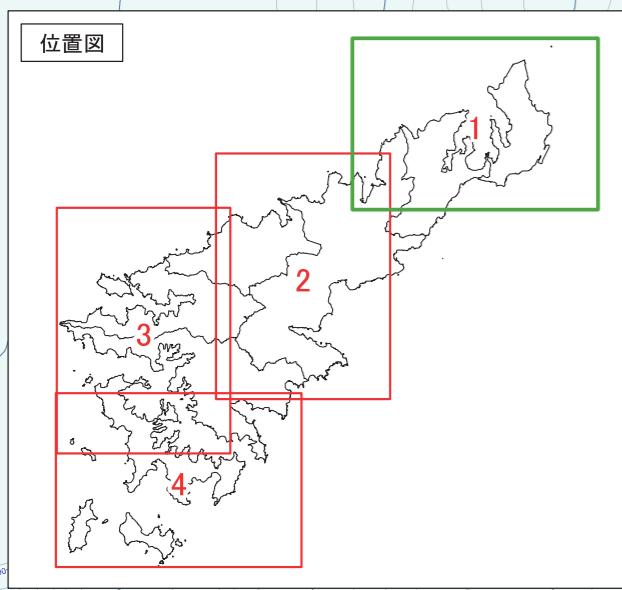
0 10 20 40 km

N

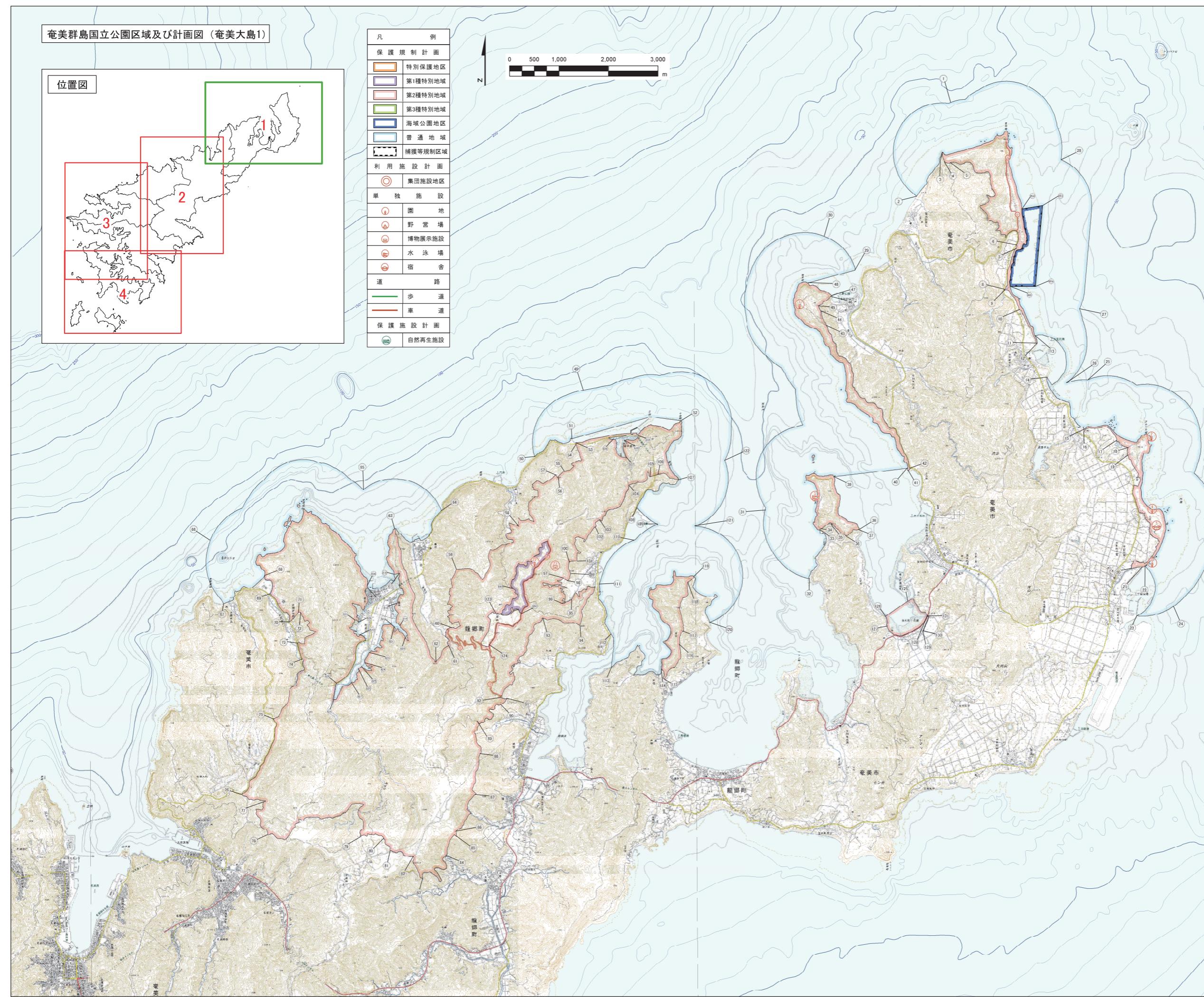
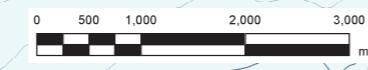


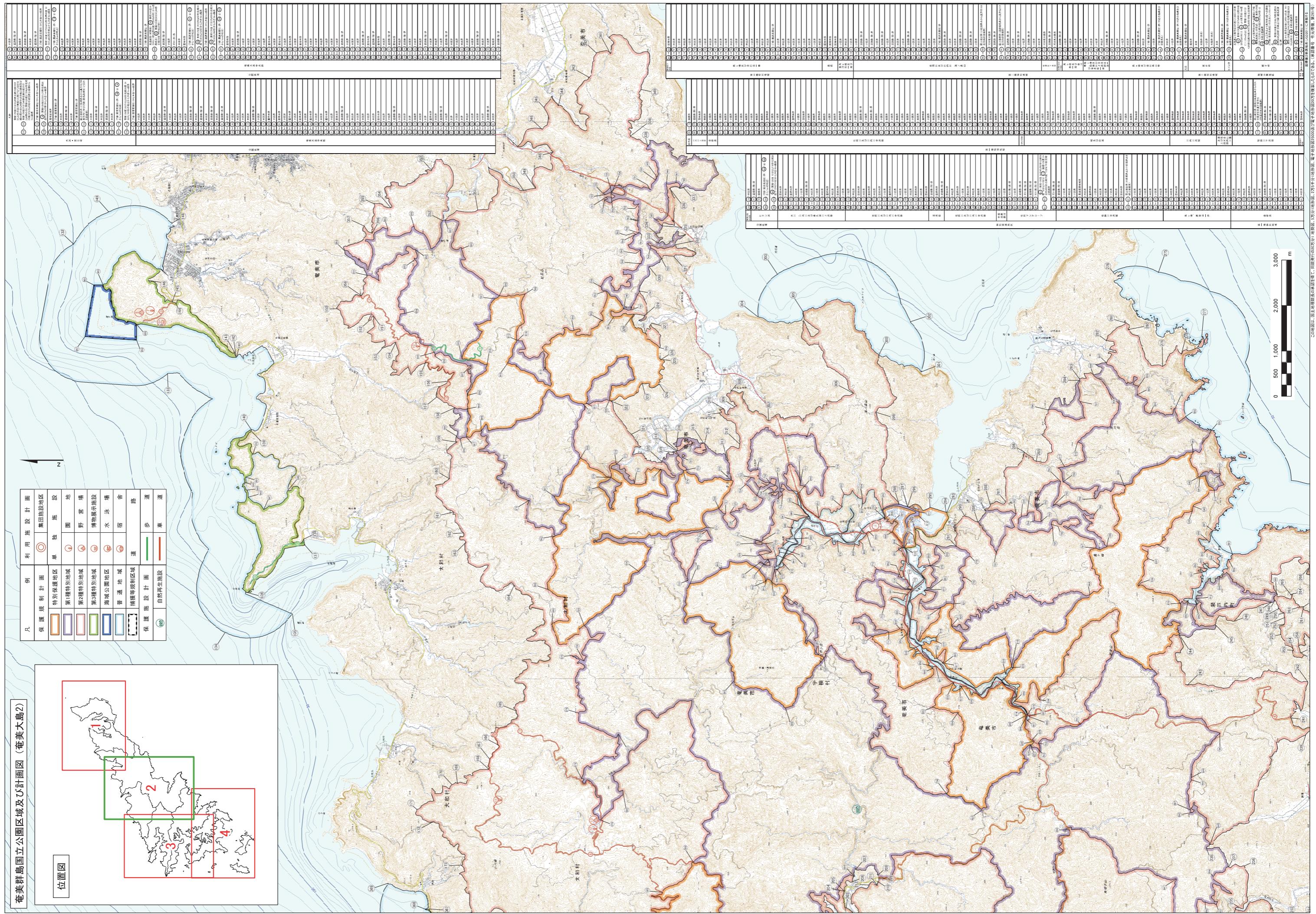
奄美群島国立公園区域及び計画図（奄美大島1）

位置図



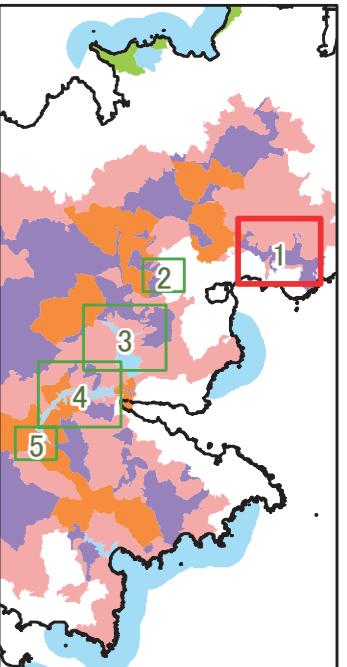
凡	例
保 護	規 制 計
	特別保護
	第1種特別
	第2種特別
	第3種特別
	海域公園
	普通地
	捕獲等規制
利 用	施 設 計
	集團設施
單 独 施	
	園
	野 嘗
	博物展示
	水 泳
	宿
道	
	步
	車
保 護	施 設 計
	自然再生



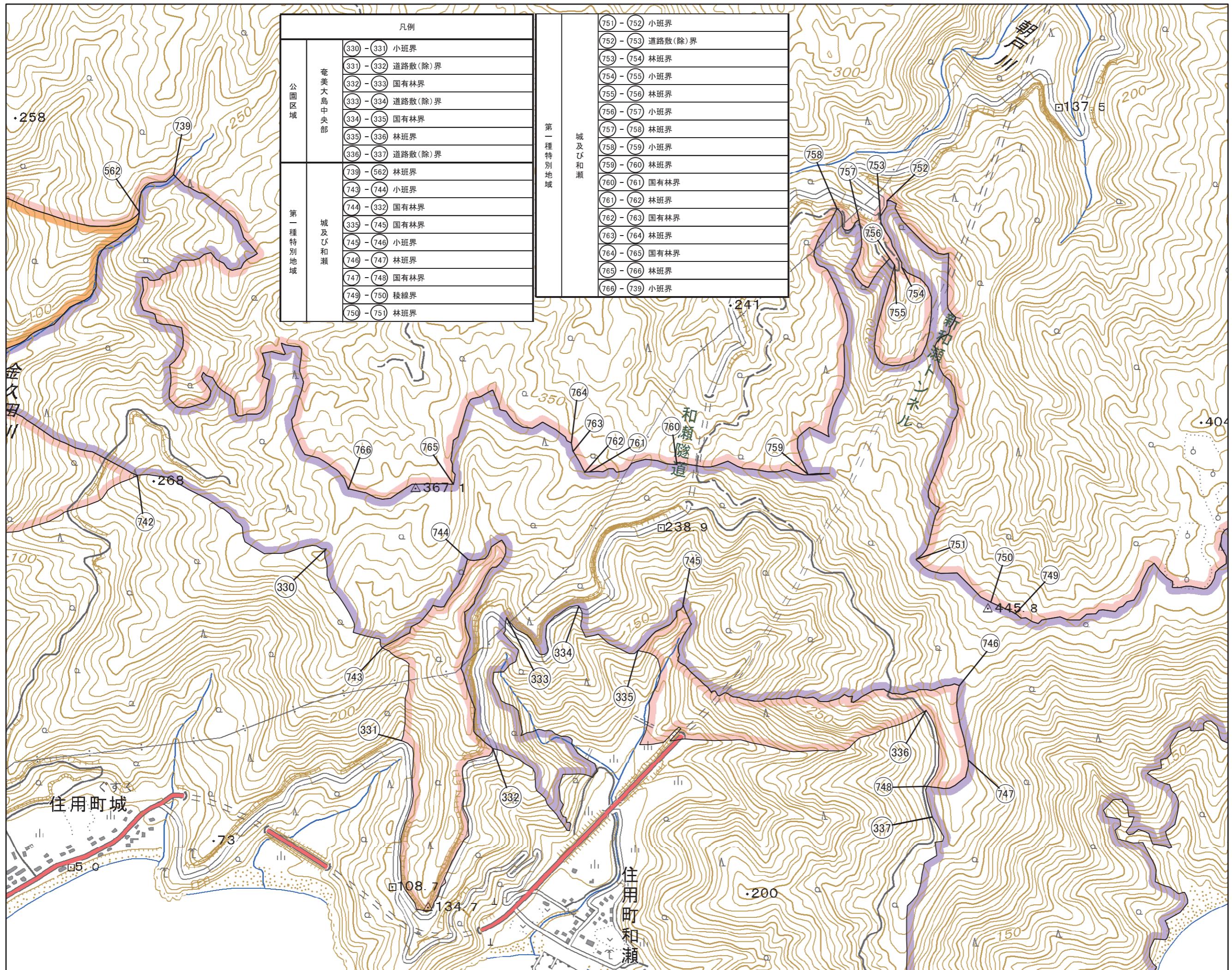


奄美群島国立公園区域
及び計画図(奄美大島2)

N



凡 例	
保護規制計画	
特別保護地区	
第1種特別地域	
第2種特別地域	
第3種特別地域	
海域公園地区	
普通地域	



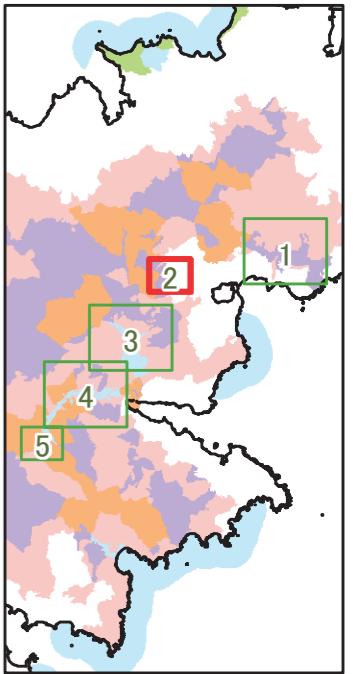
副図1

1:10,000

0 100 200 300 400
m

奄美群島国立公園区域
及び計画図(奄美大島2)

N



凡例

奄美大島中央部	313 - 314	国有林界
	314 - 315	林班界
	315 - 316	国有林界
	316 - 317	小班界
	317 - 318	国有林界
	318 - 319	小班界
	319 - 320	国有林界
	320 - 321	小班界
特別保護地区	572 - 573	国有林界
	573 - 574	林班界
	574 - 575	国有林界
	575 - 576	小班界
第一種特別地域	320 - 575	国有林界
	574 - 573	国有林界
	314 - 315	国有林界
	316 - 317	国有林界
	318 - 319	国有林界
	767 - 767	国有林界
川内川流域	768 - 768	国有林界
	768 - 768	国有林界

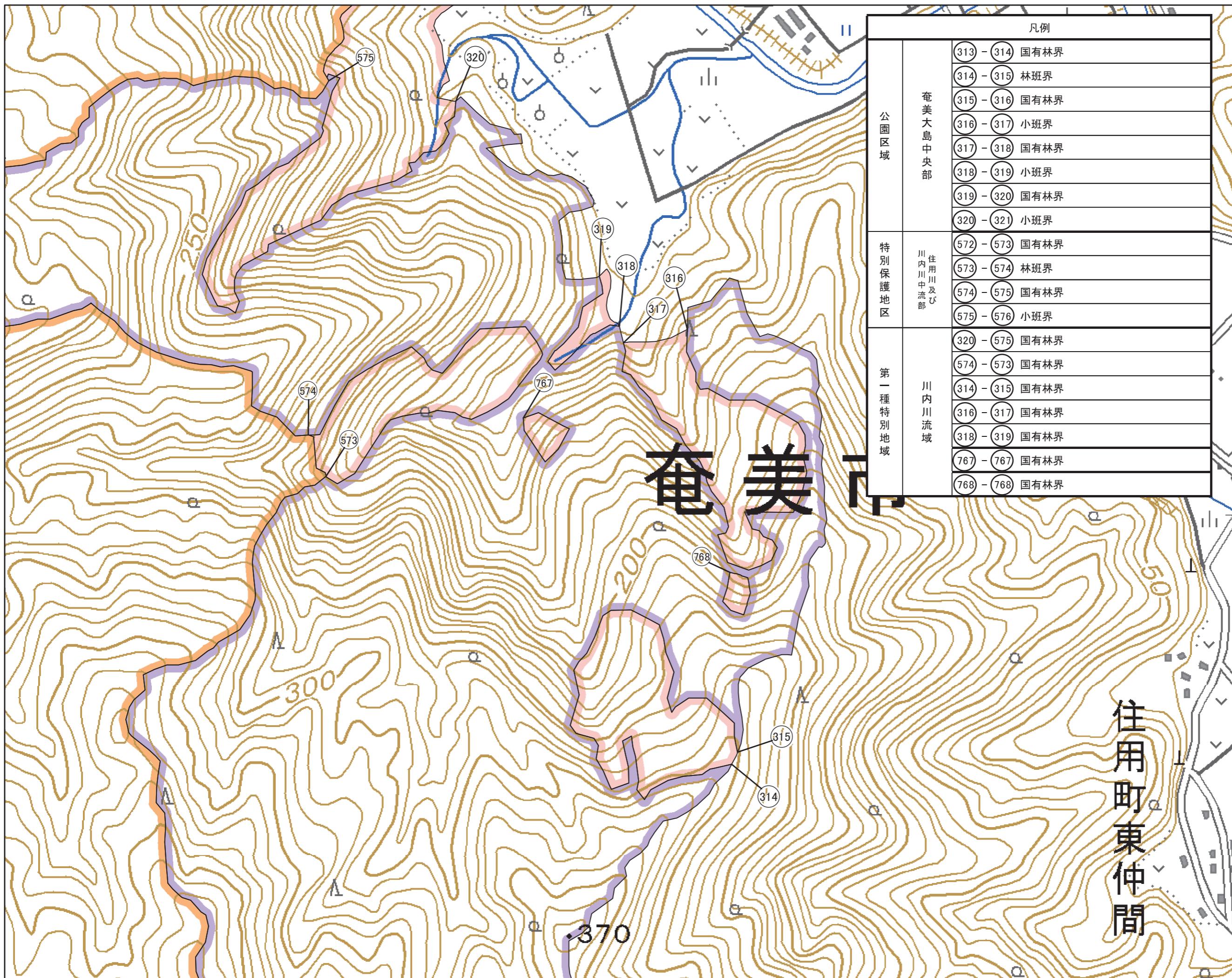
奄美

住用町東仲間

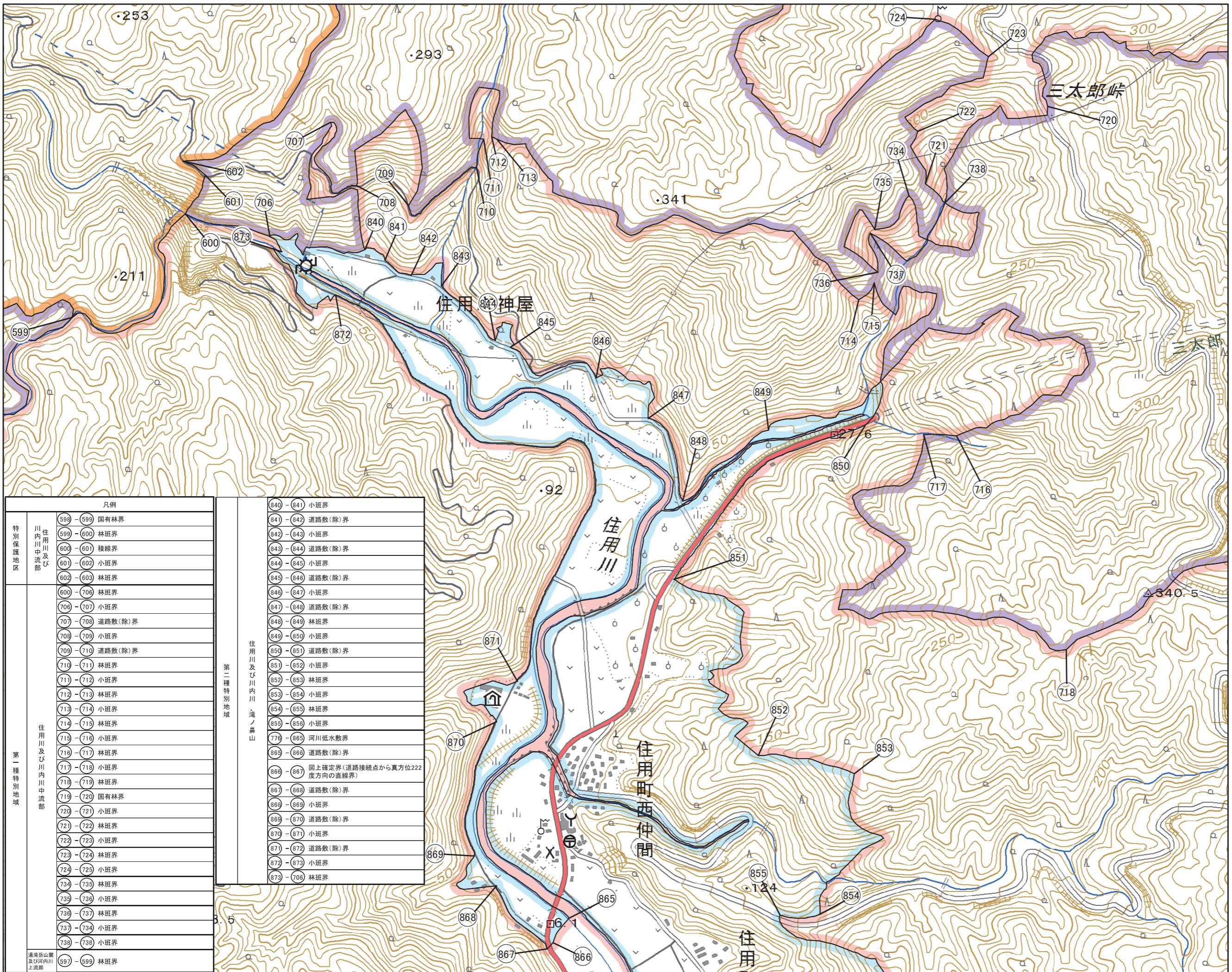
副図2

1:5,000

0 100 200
m



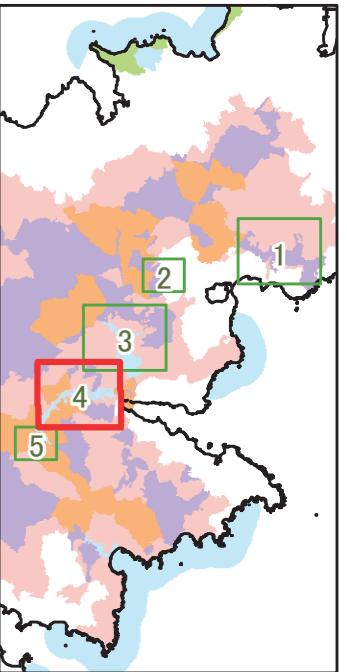
奄美群島国立公園区域
及び計画図(奄美大島2)



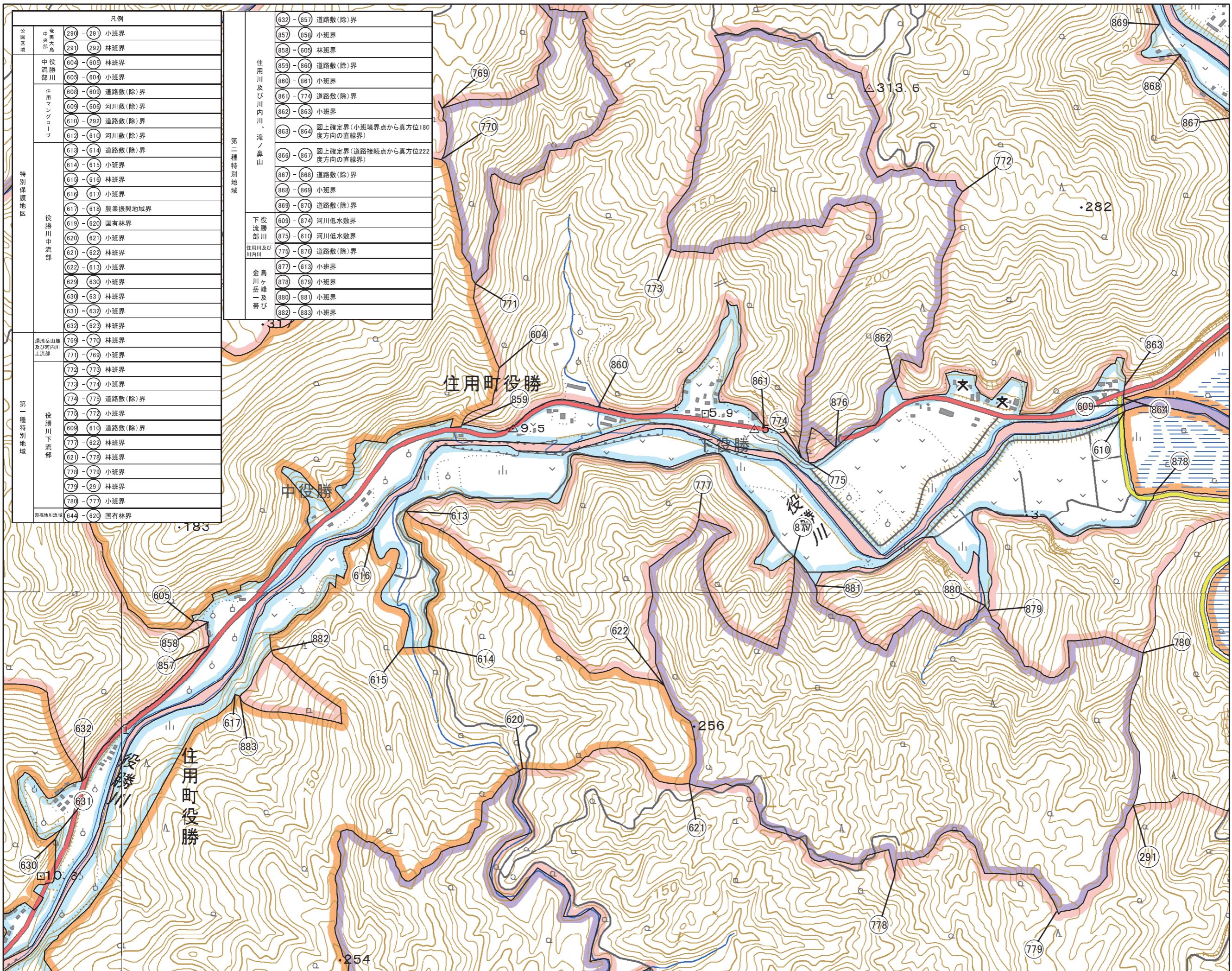
- 126 -

奄美群島国立公園区域
及び計画図(奄美大島2)

N

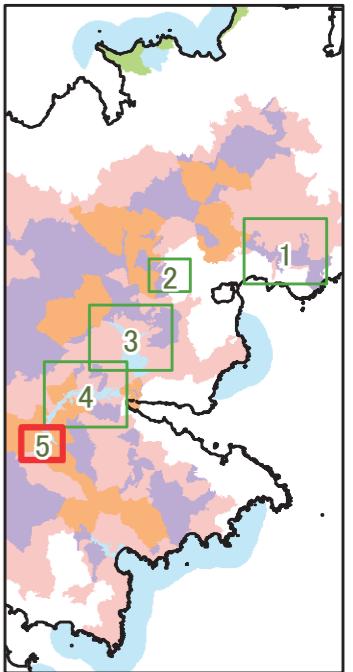


凡 例	
保 護 規 制 計 画	
■	特別保護地区
■	第1種特別地域
■	第2種特別地域
■	第3種特別地域
■	海域公園地区
■	普通地

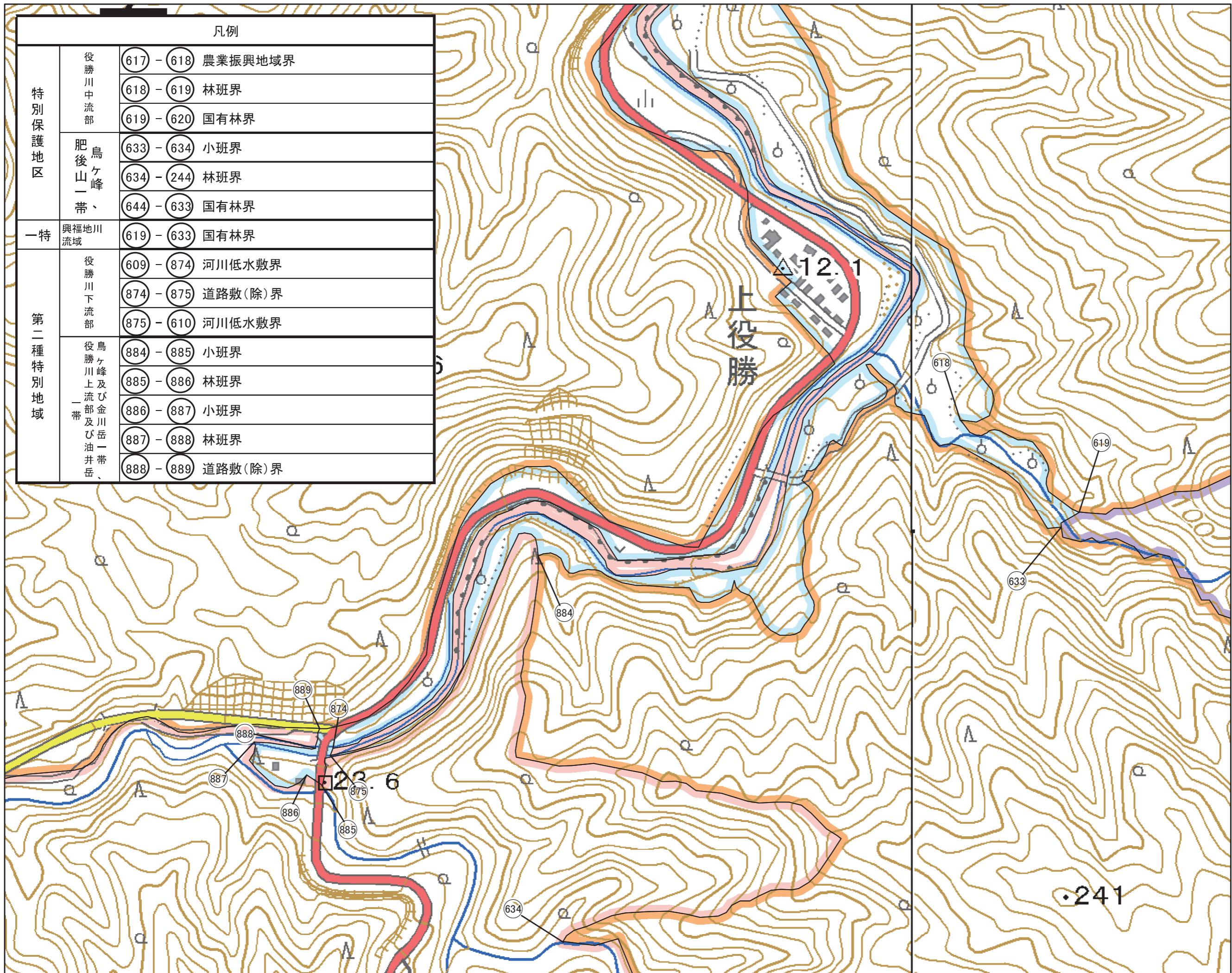


奄美群島国立公園区域
及び計画図(奄美大島2)

N



凡 例	
保 護 規 制 計 画	
特別保護地区	特別保護地区
第一種特別地域	第1種特別地域
第二種特別地域	第2種特別地域
第三種特別地域	第3種特別地域
海域公園地区	海域公園地区
普通地域	普通地域

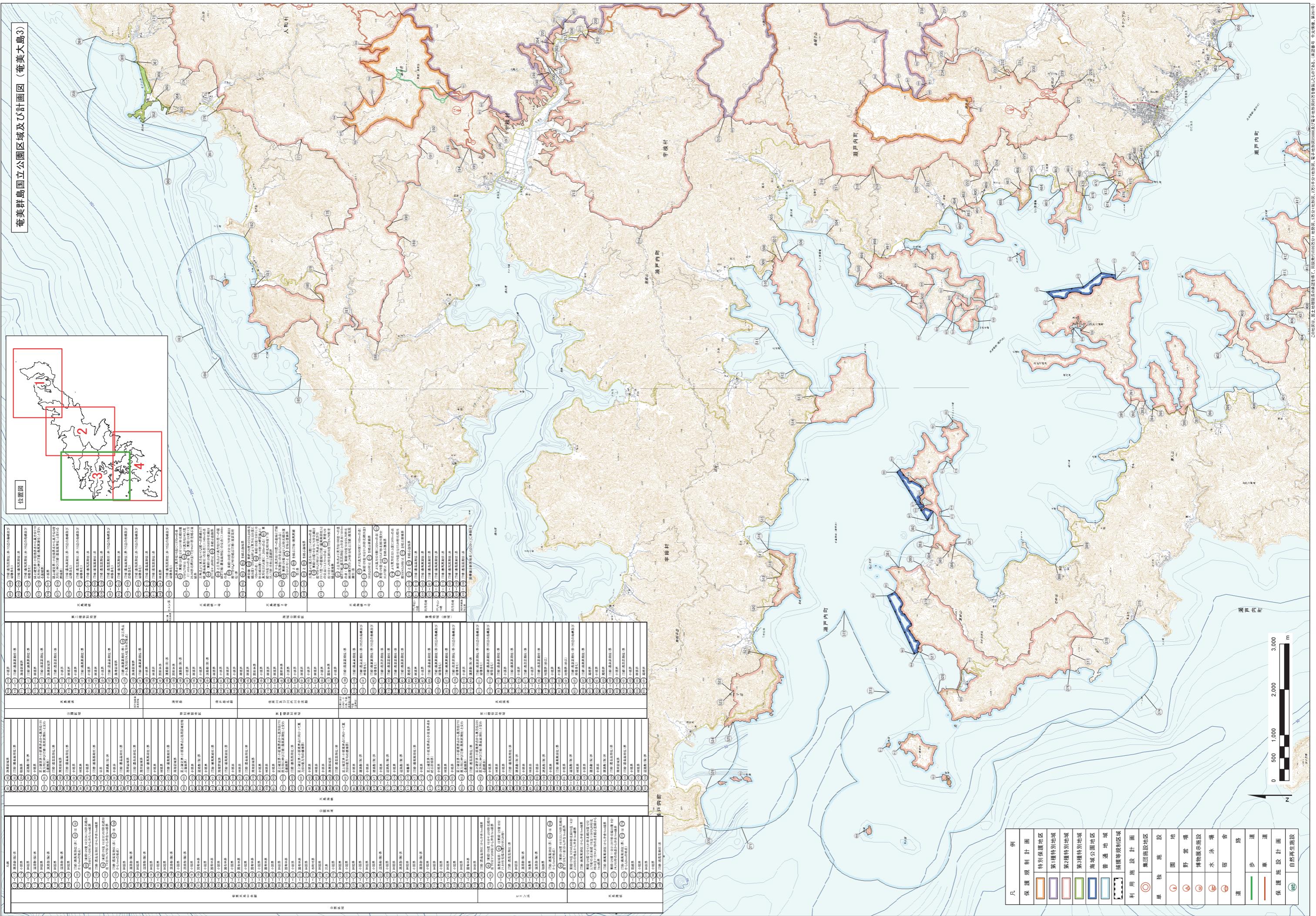


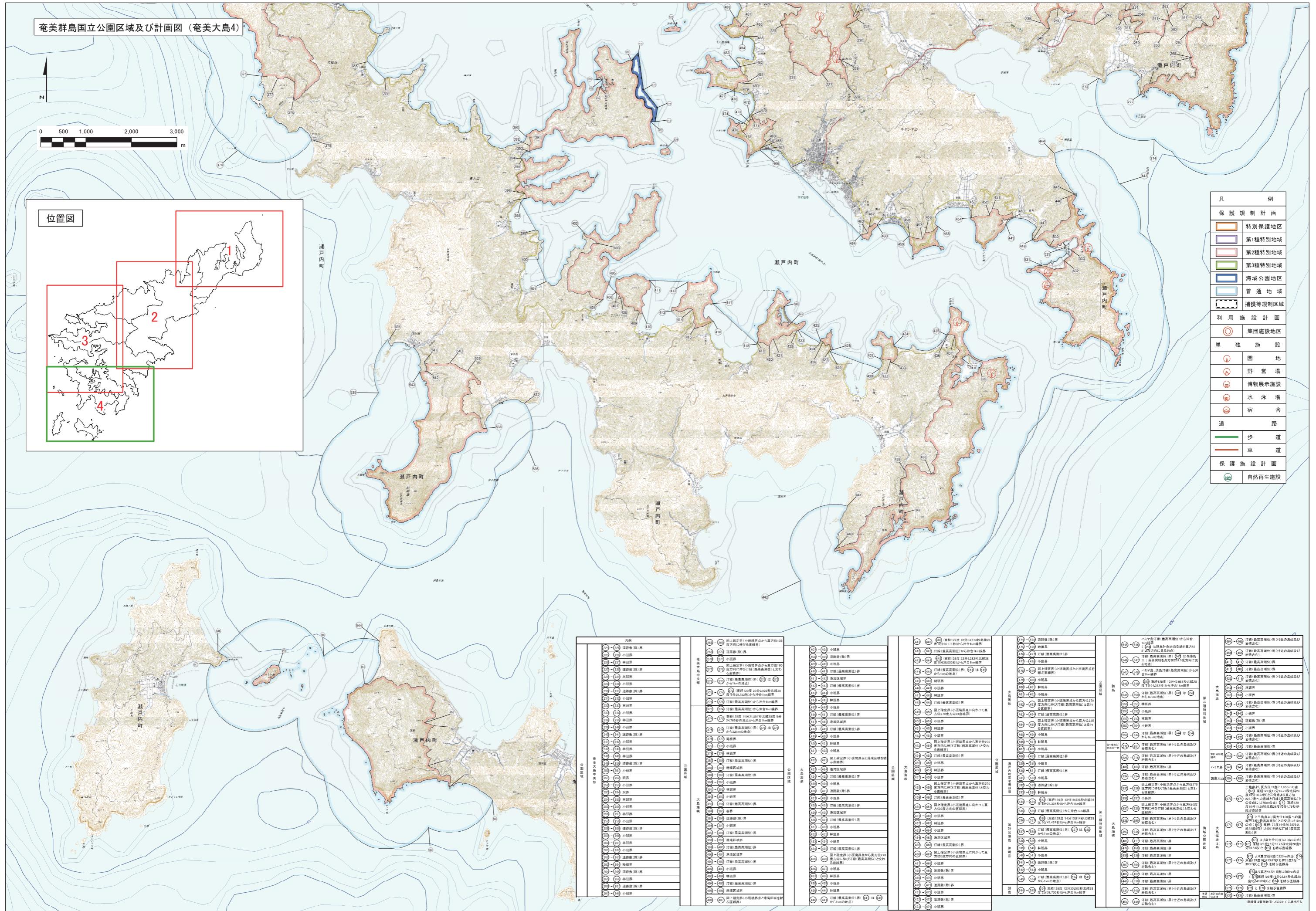
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1 地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 令元情複、第261号)

副図5

1:5,000

0 100 200
m





この地図は、國土地理院長の承認を得て、同所発行の20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 令元情権、第281号)

奄美群島国立公園区域及び公園計画図（喜界島）

凡例	
公園区域	① - ② 道路敷(除)界 ② - ③ 工作物界(堤防) ③ - ④ 道路敷(除)界 ④ - ⑤ 圖上確定界(道路終点と汀線を結ぶ最短距離の直線界) ⑤ - ⑥ 汀線(最高高潮位)界(⑥は⑤から1kmの地点) ⑥ - ⑦ ⑤(東経130度1分21.68秒北緯28度20分53.2秒)から沖合1km線界 ⑦ - ⑧ 汀線(最高高潮位)から沖合1km線界 ⑧ - ⑨ ①(東経130度0分56.18秒北緯28度22分38.28秒)から沖合1km線界 ⑨ - ⑩ 汀線(最高高潮位)界(⑨は①から1kmの地点) ⑩ - ⑪ 道路敷(除)界 ⑪ - ⑫ 圖上確定界(道路交差地点と湾最奥部を結ぶ直線界) ⑫ - ⑬ 汀線(最高高潮位)界 ⑬ - ⑭ 歩道(除)界 ⑭ - ⑮ 道路敷(除)界 ⑮ - ⑯ 尾根界 ⑯ - ⑰ 東経129度55分3.07秒北緯28度19分1.73秒の地点から沖合1km線界 ⑰ - ⑱ 汀線(最高高潮位)から沖合1km線界 ⑱ - ⑲ 東経129度54分55.43秒北緯28度17分46.62秒の地点から沖合1km線界 ⑲ - ⑳ 渔港区域界(⑲は東経129度55分18.23秒北緯28度17分16.98秒の点) ⑳ - ㉑ 汀線(最高高潮位)界 ㉑ - ㉒ 圖上確定界(道路分歧点から真方位180°方向に伸び汀線(最高高潮位)と交わる直線界) ㉒ - ㉓ 歩道(除)界 ㉓ - ㉔ 小班界 ㉔ - ㉕ 道路敷(除)界 ㉕ - ㉖ 圖上確定界(湾最奥部から真方位180°方向の直線界) ㉖ - ㉗ 汀線(最高高潮位)界(㉖は㉖から1kmの地点)
第一種特別地域	㉗ - ㉘ 河川(除)界 ㉘ - ㉙ 汀線(最高高潮位)界 ㉙ - ㉚ 道路敷(除)界 ㉚ - ㉛ 道路敷(除)界 ㉛ - ㉜ 道路敷(除)界 ㉜ - ㉝ 汀線(最高高潮位)界 ㉝ - ㉞ 步道(除)界 ㉞ - ㉟ 道路敷(除)界 ㉟ - ㉟ 第三種特別地域 ㉟ - ㉟ 志戸浦海岸 ⑤ - ㉘ 汀線(最高高潮位)界

※座標系はJGD2011に準拠する

凡　例

保　護　規　制　計　画

■ 第1種特別地域

■ 第3種特別地域

■ 普　通　地　域

利　用　施　設　計　画

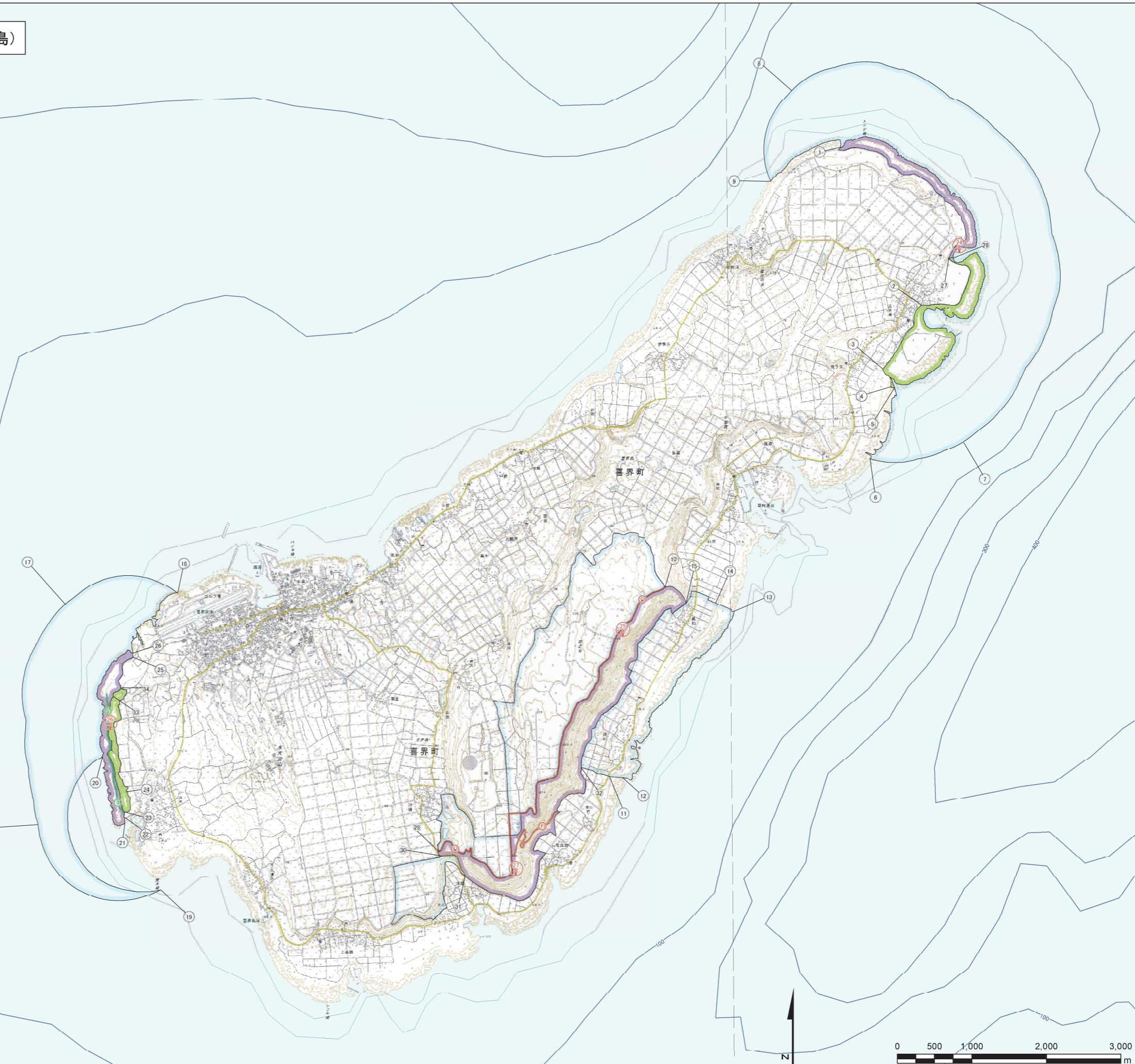
単　独　施　設

○ 園　地

道　路

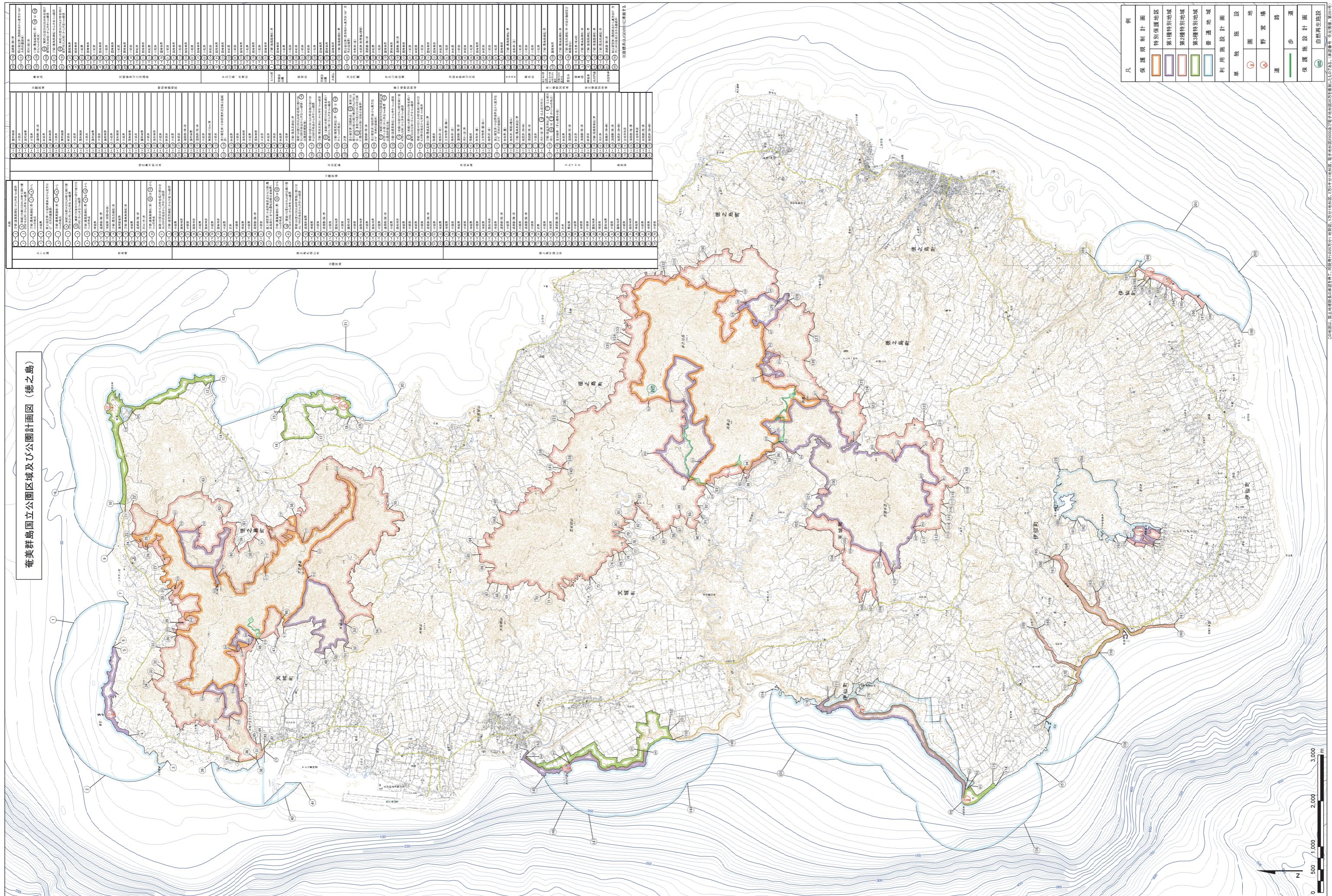
— 畑　道

— 車　道

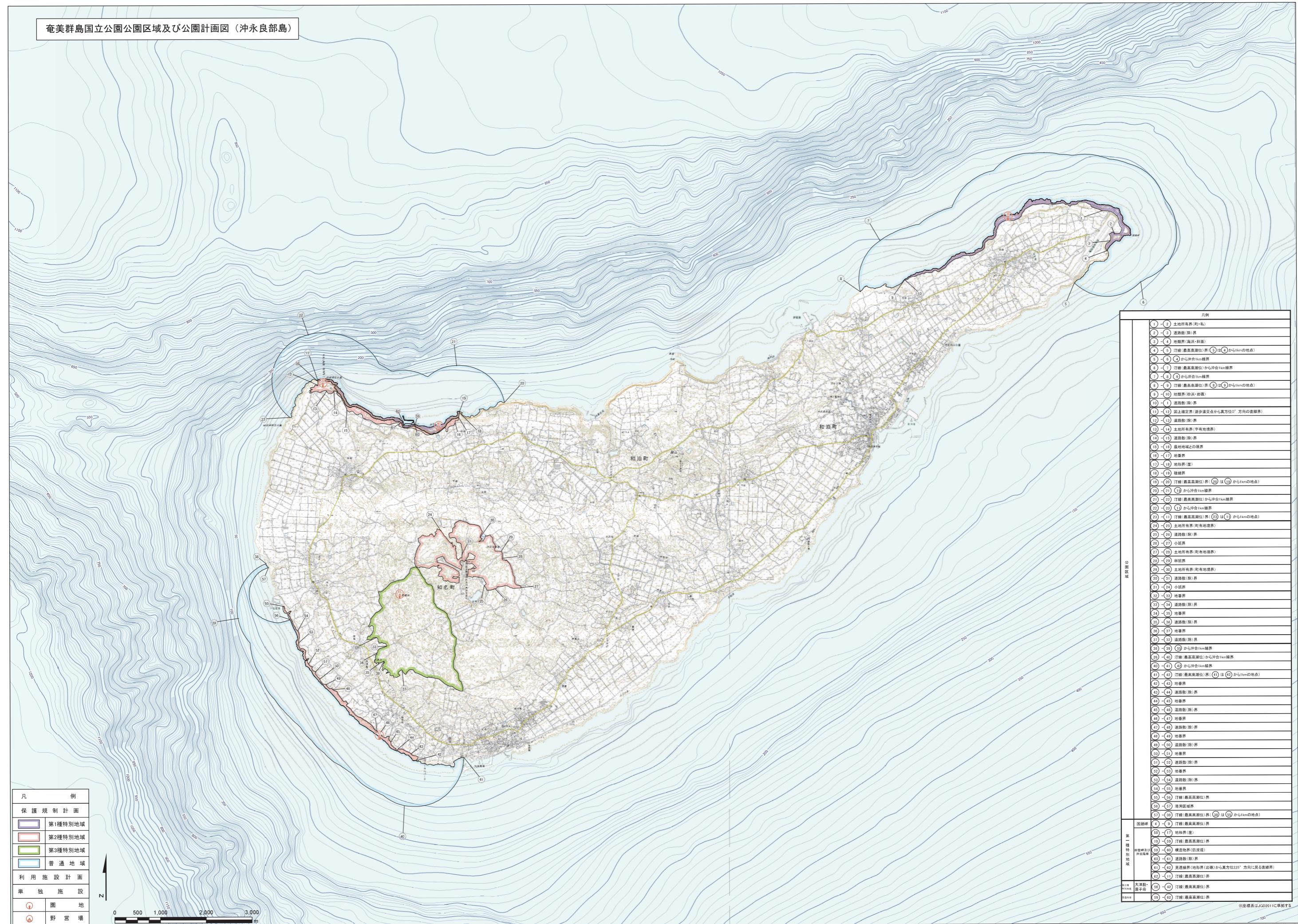


この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図、電子地形図250万及び電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 令元情復、第261号)

奄美群島國立公園区域及び公園計画図（徳之島）



奄美群島国立公園公園区域及び公園計画図（沖永良部島）



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図、5万分1地形図、2万5千分1地形図、電子地形図25000及び電子地形図20万を複製したものである。（承認番号 令元情復、第261号）

